あきた公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画

【施設の存廃による県民生活への影響が認められる公共施設】

平成２９年８月
秋　　田　　県

（平成２９年８月３１日策定）

（平成３０年３月３０日更新）

（平成３１年３月２９日更新）

（令和２年３月３１日更新）

（令和３年３月３１日更新）

（令和４年３月３１日更新）

（令和５年３月３１日更新）

目　　次

1　総務部所管施設

1）	【総括表】防災備蓄倉庫	総　1
	・　県北地区防災備蓄倉庫	総　2
	・　中央地区防災備蓄倉庫	総　4
	・　県南地区防災備蓄倉庫	総　6
2）	消防防災航空隊	総　8
3）	消防学校	総　10
4）	自治研修所	総　12

2　あきた未来創造部所管施設

1）	【総括表】地域振興局	あ　1
	・　鹿角地域振興局庁舎	あ　2
	・　北秋田地域振興局庁舎	あ　4
	・　北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	あ　6
	・　山本地域振興局庁舎	あ　8
	・　由利地域振興局庁舎	あ　10
	・　仙北地域振興局庁舎	あ　12
	・　平鹿地域振興局庁舎	あ　14
	・　雄勝地域振興局庁舎	あ　16
	・　鹿角地域振興局職員会館	あ　18
	・　北秋田地域振興局職員会館	あ　20
	・　山本地域振興局職員会館	あ　22
	・　由利地域振興局職員会館	あ　24
	・　仙北地域振興局職員会館	あ　26
	・　平鹿地域振興局職員会館	あ　28
	・　雄勝地域振興局職員会館	あ　30
2）	ゆとり生活創造センター（遊学舎）	あ　32
3）	児童会館	あ　34
4）	子ども博物館	あ　36

3　観光文化スポーツ部所管施設

1）	【総括表】オートキャンプ場	観　1
	・　八幡平オートキャンプ場	観　2
	・　男鹿オートキャンプ場	観　4
	・　宮沢海岸オートキャンプ場	観　6
	・　由利高原オートキャンプ場	観　8
	・　田沢湖オートキャンプ場	観　10
2）	大潟スポーツ宿泊センター（サンルーラル大潟）	観　12
3）	秋の宮山荘	観　14
4）	鳥海観光宿泊センター（フォレスタ鳥海）	観　16
5）	十和田観光宿泊センター（十和田ホテル）	観　18
6）	秋田ふるさと村	観　20
7）	新玉川地区リゾート整備基盤施設	観　22
8）	田沢湖スキー場	観　24
9）	男鹿水族館	観　26
１０）	総合プール	観　28
１１）	スケート場	観　30
１２）	武道館	観　32
１３）	体育館	観　34
１４）	総合射撃場（ライフル射撃場）	観　36
１５）	田沢湖スポーツセンター	観　38
１６）	スポーツ科学センター	観　40
１７）	能代山本スポーツリゾートセンター	観　42
１８）	大館地区多目的ドーム	観　44
１９）	向浜運動広場	観　46
２０）	新屋運動広場	観　48
２１）	野球場	観　50
２２）	鹿角トレーニングセンター	観　52
２３）	総合食品研究センター	観　54
２４）	あきた芸術劇場（ミルハス）	観　56
２５）	総合生活文化会館（アトリオン）	観　58

4　健康福祉部所管施設
１）　【総括表】地域振興局福祉環境部　福　1
・　北秋田地域振興局大館福祉環境部　福　2
・　北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部　福　4
・　山本地域振興局福祉環境部　福　6
・　秋田地域振興局福祉環境部　福　8
・　由利地域振興局福祉環境部　福　10
・　仙北地域振興局福祉環境部　福　12
・　平鹿地域振興局福祉環境部　福　14
・　雄勝地域振興局福祉環境部　福　16
２）　社会福祉会館　福　18
３）　福祉相談センター　福　20
４）　総合保健センター　福　22
５）　中央児童相談所　福　24
６）　千秋学園　福　26
７）　母子福祉総合センター　福　28
８）　衛生看護学院　福　30
９）　【総括表】老人福祉総合エリア　福　32
・　北部老人福祉総合エリア　福　33
・　中央地区老人福祉総合エリア　福　35
・　南部老人福祉総合エリア　福　37
・　能代山本老人福祉総合エリア　福　39
・　南部老人福祉総合エリア（軽費老人ホーム）　福　41
・　南部老人福祉総合エリア（養護老人ホーム）　福　43
１０）　点字図書館　福　45
１１）　健康増進交流センター（ユフォーレ）　福　47
１２）　心身障害者コロニー　福　49
１３）　身体障害者更生訓練センター　福　51

5　生活環境部所管施設
１）　環境保全センター　生　1
２）　動物愛護センター（浜田）　生　3
３）　動物愛護センター（雄和）　生　5
４）　食肉衛生検査所　生　7
５）　健康環境センター　生　9
６）　鳥獣保護センター（傷病鳥獣救護・野生化訓練棟）　生　11
７）　【総括表】鳥海国定公園　生　13
・　鳥海国定公園（鉾立ビジターセンター）　生　14
・　鳥海国定公園（祓川休憩所）　生　16
８）　秋田白神県立自然公園（素波里ふるさと自然公園センター）　生　18
９）　総合射撃場（狩猟技術訓練施設）　生　20
１０）　【総括表】環境と文化のむら　生　22
・　環境と文化のむら（文化の館）　生　23
・　環境と文化のむら（自然ふれあいセンター）　生　25
・　環境と文化のむら（愛鳥山荘）　生　27
１１）　新玉川温泉健康保養基地（玉川温泉ビジターセンター）　生　29
１２）　【総括表】奥森吉青少年野外活動基地　生　31
・　奥森吉青少年野外活動基地（野外活動センター）　生　32
・　奥森吉青少年野外活動基地（親子キャンプ場サニタリー）　生　34
１３）　秋田駒ヶ岳情報センター　生　36
１４）　能代産業廃棄物処理センター　生　38

6　農林水産部所管施設
１）　山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所）　農　1
２）　農業試験場（雄和）　農　3
３）　【総括表】果樹試験場　農　5
・　果樹試験場　農　6
・　果樹試験場天王分場　農　8
４）　かづの果樹センター　農　10
５）　畜産試験場　農　12
６）　【総括表】水産振興センター　農　14
・　水産振興センター　農　15
・　水産振興センター内水面試験池　農　17
７）　林業研究研修センター　農　19

８）　【総括表】家畜保健衛生所　農　21
・　北部家畜保健衛生所　農　22
・　中央家畜保健衛生所　農　24
・　南部家畜保健衛生所　農　26
９）　秋田県種苗センター　農　30
１０）　秋田県種苗センター（神岡）　農　32
１１）　森林学習交流館（プラザクリプトン）　農　36

７　産業労働部所管施設

１）　計量検定所　産　1
２）　【総括表】産業技術センター　産　3
・　産業技術センター本館　産　4
・　産業技術センター高度技術研究館　産　6
３）　勤労身体障害者スポーツセンター　産　8
４）　【総括表】技術専門校　産　10
・　鷹巣技術専門校　産　11
・　秋田技術専門校　産　13
・　大曲技術専門校　産　15
５）　職業訓練センター　産　17
６）　金属鉱業研修技術センター　産　19

８　建設部所管施設

１）　県立北欧の杜公園オートキャンプ場管理棟　建　1
２）　【総括表】県立中央公園（スポーツ施設）　建　3
・　県立中央公園トレーニングセンター　建　4
・　県立中央公園スカイドーム　建　6
・　県立中央公園庭球場メインスタンド　建　8
・　県立中央公園球技場メインスタンド　建　10
・　県立中央公園陸上競技場メインスタンド　建　12
・　県立中央公園野球場メインスタンド　建　14
・　県立中央公園フィールドアスレチック管理棟　建　16
３）　【総括表】県営住宅　建　18
・　県営萩の台住宅　建　20
・　県営獅子ヶ森住宅　建　22
・　県営花岡改良住宅　建　24
・　県営芝童森住宅　建　26
・　県営旭南住宅　建　28
・　県営新屋住宅　建　30
・　県営大野住宅　建　32
・　県営手形山住宅　建　34
・　県営松崎住宅　建　36
・　県営イサノ住宅　建　38
・　県営桜ガ丘住宅　建　40
・　県営土崎港住宅　建　42
・　県営御野場住宅　建　44
・　県営矢留改良住宅　建　46
・　県営新屋改良住宅　建　48
・　県営将軍野改良住宅　建　50
・　県営船越内子住宅　建　52
・　県営追分長沼住宅　建　54
・　県営南ヶ丘住宅　建　56
・　県営高森住宅　建　58
・　県営梵天住宅　建　60
・　県営船場町住宅　建　62
・　県営吉沢住宅　建　64
・　県営朝日が丘住宅　建　66
・　県営倉内住宅　建　68
４）　【総括表】県立中央公園（スポーツ施設を除く）　建　70
・　県立中央公園休憩所（ファミリーピクニックゾーン）　建　71
・　県立中央公園宿泊棟　建　73
５）　【総括表】県立小泉潟公園　建　75
・　県立小泉潟公園事務所　建　76
・　県立小泉潟公園休憩所　建　78
６）　【総括表】県立北欧の杜公園（オートキャンプ場管理棟を除く）　建　80
・　県立北欧の杜公園中央休憩所　建　81
・　県立北欧の杜公園パークセンター　建　83
７）　秋田空港　建　85
８）　大館能代空港　建　87

９）　南ヶ丘ニュータウン事務所　建　89

９　出納局所管施設

１）　【総括表】県庁舎等　出　1
・　秋田県庁舎　出　2
・　秋田地方総合庁舎　出　4
・　秋田県庁第二庁舎　出　6
２）　【総括表】職員公舎（一定規模を超える施設）　出　8
・　職員公舎（矢留）　出　9
・　職員公舎（川尻）　出　11

１０　警察本部所管施設

１）　【総括表】警察施設等　警　1
・　警察本部庁舎、第二庁舎　警　2
・　運転免許センター庁舎　警　4
・　警察本部別館（交通機動隊）　警　6
・　航空隊庁舎　警　8
・　警察学校道場　警　10
・　警察学校体育館　警　12
・　機動隊屋内訓練場（道場）　警　14
・　鹿角警察署　警　16
・　大館警察署　警　18
・　北秋田警察署　警　20
・　能代警察署　警　22
・　五城目警察署　警　24
・　男鹿警察署　警　26
・　秋田臨港警察署　警　28
・　秋田中央警察署　警　30
・　秋田東警察署　警　32
・　由利本荘警察署　警　34
・　大仙警察署　警　36
・　由利本荘警察署　にかほ幹部交番　警　38
・　仙北警察署　警　40
・　横手警察署　警　42
・　湯沢警察署　警　44
・　北秋田警察署　森吉幹部交番　警　46
・　北秋田警察署　合川駐在所　警　48
・　能代警察署　二ツ井交番　警　50
・　秋田東警察署　城東交番　警　52
・　由利本荘警察署　矢島幹部交番　警　54
・　由利本荘警察署　仁賀保駐在所　警　56
・　大仙警察署　協和交番　警　58
・　大仙警察署　美郷交番　警　60
・　横手警察署　増田幹部交番　警　62
・　機動捜査センター　警　64

１１　教育委員会所管施設

１）　【総括表】高等学校　教　1
・　花輪高等学校　教　3
・　十和田高等学校　教　5
・　小坂高等学校　教　7
・　大館鳳鳴高等学校　教　9
・　大館鳳鳴高等学校（定時制）　教　11
・　大館国際情報学院中学校・高等学校　教　13
・　大館桂桜高等学校　教　15
・　秋田北鷹高等学校　教　17
・　能代高等学校　教　19
・　能代高等学校（定時制）　教　21
・　能代松陽高等学校　教　23
・　能代科学技術高等学校　教　25
・　旧能代西高等学校校舎　教　27
・　五城目高等学校　教　29
・　男鹿海洋高等学校　教　31

・　男鹿工業高等学校　教　33
・　金足農業高等学校　教　35
・　秋田西高等学校　教　37
・　秋田高等学校　教　39
・　秋田北高等学校　教　41
・　秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部　教　43
・　秋田中央高等学校　教　45
・　秋田工業高等学校　教　47
・　秋田明徳館高等学校　教　49
・　新屋高等学校　教　51
・　本荘高等学校　教　53
・　由利高等学校　教　55
・　由利工業高等学校　教　57
・　矢島高等学校　教　59
・　西目高等学校　教　61
・　仁賀保高等学校　教　63
・　西仙北高等学校　教　65
・　大曲農業高等学校　教　67
・　大曲農業高等学校太田分校　教　69
・　大曲高等学校　教　71
・　大曲工業高等学校　教　73
・　角館高等学校　教　75
・　角館高等学校（定時制）　教　77
・　六郷高等学校　教　79
・　横手高等学校　教　81
・　横手高等学校（定時制）　教　83
・　横手城南高等学校　教　85
・　横手清陵学院中学校・高等学校　教　87
・　平成高等学校　教　89
・　雄物川高等学校　教　91
・　増田高等学校　教　93
・　湯沢高等学校　教　95
・　旧湯沢高等学校稲川分校体育館　教　97
・　湯沢翔北高等学校　教　99
・　湯沢翔北高等学校雄勝校　教　101
・　羽後高等学校　教　103
2）　【総括表】特別支援学校　教　105
・　視覚支援学校　教　106
・　聴覚支援学校　教　108
・　比内支援学校　教　110
・　比内支援学校たかのす校　教　112
・　比内支援学校かづの校　教　114
・　能代支援学校　教　116
・　栗田支援学校　教　118
・　大曲支援学校　教　120
・　大曲支援学校せんぼく校　教　122
・　横手支援学校　教　124
・　稲川支援学校　教　126
・　ゆり支援学校　教　128
・　天王みどり学園　教　130
・　秋田きらり支援学校　教　132
3）　【総括表】教育機関　教　134
・　総合教育センター　教　135
・　自然体験活動センター　教　137
・　青少年交流センター　教　139
・　県立美術館　教　141
・　近代美術館　教　143
・　博物館　教　145
・　奈良家　教　147
・　埋蔵文化財センター　教　149
・　農業科学館　教　151
・　図書館・公文書館　教　153
・　あきた文学資料館　教　155
・　生涯学習センター　教　157
・　大館少年自然の家　教　159
・　保呂羽山少年自然の家　教　161
・　岩城少年自然の家　教　163

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	総務部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（防災備蓄倉庫）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県北地区防災備蓄倉庫	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	中央地区防災備蓄倉庫	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	県南地区防災備蓄倉庫	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

県として大規模災害発生時に必要な救援物資を確保するため、県内各地に分散備蓄しているものであることから、各備蓄倉庫に優先順位はない。

なお、修繕が必要になった際には、各備蓄倉庫の状況を勘案して対応する。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	県北地区防災備蓄倉庫

1 施設の概要

施設名称	県北地区防災備蓄倉庫	所在地	北秋田市脇神字ハケノ下
施設面積	840.00 ㎡	建設年	平成10年
構造･階数	鉄骨造・１階	台帳価格	66,494,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

災害対策基本法等に基づき、県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であるため、必要不可欠な防災施設である。
また、建物の健全性に大きな問題がないことから、機能維持のための予防保全を実施しながら存続させる。

※　集約・複合化の検討について

大規模災害発生時に倉庫自体の被害や交通網の遮断リスクを分散させるため現体制となっていることから、防災上、集約・複合化は検討していない。

※　公民連携の検討について

県の備蓄計画における公助については、発災初期に必要な物資の供給が滞らないよう、行政による現物備蓄と民間事業者等による流通備蓄で確保することとしている。そのため、災害時には県の応急活動に必要不可欠な機能を果たすことから、公民連携は検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県の防災行政に必要不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡については検討していない。

※　市町村協働の検討について

県の備蓄計画では、県と市町村の備蓄数量に関する役割分担を定めており、災害対策基本法等において、県は市町村の業務を救援する責務があることから、県は応急対策に必要な物資を備蓄し、整備し、点検・管理することとしている。よって、市町村協働は検討していない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

構造上の耐久性等に問題はないが、築後25年を経過しているため、施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕を実施し、施設全体の長寿命化を図る。一方で、修繕費用が著しく高額となった場合等には、更新を検討する。

4　管理上の課題等

施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要であること。

5　管理に関する実施方針

大規模災害発生時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。
なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は３０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

県北地区防災備蓄倉庫に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	375,900	386,640	386,640	
運用コスト	42,143	29,141	38,880	
修繕コスト	35,700	75,060	0	
その他				
(合計)	453,743	490,841	425,520	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	該当事項なし

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	施設の性質上、利用者ないしそれに類する指標は

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	中央地区防災備蓄倉庫

1 施設の概要

施設名称	中央地区防災備蓄倉庫	所在地	秋田市雄和椿川字山籠地内
施設面積	480.00 ㎡	建設年	平成14年
構造･階数	鉄骨造・1階	台帳価格	33,916,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

災害対策基本法等に基づき、県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であるため、必要不可欠な防災施設である。
また、建物の健全性に大きな問題がないことから、機能維持のための予防保全を実施しながら存続させる。

※　集約・複合化の検討について

大規模災害発生時に倉庫自体の被害や交通網の遮断リスクを分散させるため現体制となっていることから、防災上、集約・複合化は検討していない。

※　公民連携の検討について

県の備蓄計画における公助については、発災初期に必要な物資の供給が滞らないよう、行政による現物備蓄と民間事業者等による流通備蓄で確保することとしている。そのため、災害時には県の応急活動に必要不可欠な機能を果たすことから、公民連携は検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県の防災行政に必要不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡については検討していない。

※　市町村協働の検討について

県の備蓄計画では、県と市町村の備蓄数量に関する役割分担を定めており、災害対策基本法等において、県は市町村の業務を救援する責務があることから、県は応急対策に必要な物資を備蓄し、整備し、点検・管理することとしている。よって、市町村協働は検討していない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

構造上の耐久性等に問題はないが、築後21年を経過しているため、施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕を実施し、施設全体の長寿命化を図る。一方で、修繕費用が著しく高額となった場合等には、更新を検討する。

4　管理上の課題等

施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要であること。

5　管理に関する実施方針

大規模災害発生時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。
なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は３０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

中央地区防災備蓄倉庫に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	10,500	10,800	10,800	
運用コスト	―	―	―	光熱水費等は消防防災航空隊に含むため、個別に計上できない
修繕コスト	0	0	0	
その他				
(合計)	10,500	10,800	10,800	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	該当事項なし

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	施設の性質上、利用者ないしそれに類する指標は

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	県南地区防災備蓄倉庫

1 施設の概要

施設名称	県南地区防災備蓄倉庫	所在地	横手市赤坂字館ノ下
施設面積	801.24 ㎡	建設年	平成10年
構造･階数	鉄骨造・1階	台帳価格	60,214,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

災害対策基本法等に基づき、県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であるため、必要不可欠な防災施設である。
また、建物の健全性に大きな問題がないことから、機能維持のための予防保全を実施しながら存続させる。

※　集約・複合化の検討について

大規模災害発生時に倉庫自体の被害や交通網の遮断リスクを分散させるため現体制となっていることから、防災上、集約・複合化は検討していない。

※　公民連携の検討について

県の備蓄計画における公助については、発災初期に必要な物資の供給が滞らないよう、行政による現物備蓄と民間事業者等による流通備蓄で確保することとしている。そのため、災害時には県の応急活動に必要不可欠な機能を果たすことから、公民連携は検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県の防災行政に必要不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡については検討していない。

※　市町村協働の検討について

県の備蓄計画では、県と市町村の備蓄数量に関する役割分担を定めており、災害対策基本法等において、県は市町村の業務を救援する責務があることから、県は応急対策に必要な物資を備蓄し、整備し、点検・管理することとしている。よって、市町村協働は検討していない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

構造上の耐久性等に問題はないが、築後24年を経過しているため、施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕を実施し、施設全体の長寿命化を図る。一方で、修繕費用が著しく高額となった場合等には、更新を検討する。

4　管理上の課題等

施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要であること。

5　管理に関する実施方針

大規模災害発生時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。
なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は３０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

県南地区防災備蓄倉庫に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	289,380	270,000	270,000	
運用コスト	37,203	38,378	39,485	
修繕コスト	0	0	0	
その他				
(合計)	326,583	308,378	309,485	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	該当事項なし

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	施設の性質上、利用者ないしそれに類する指標は

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	総務部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（消防防災航空隊）

1 施設の概要

施設名称	消防防災航空隊		所在地	秋田市雄和椿川	
施設面積	1,166.01	㎡	建設年	平成11年	
構造･階数	鉄骨造・２階		台帳価格	135,292,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県の消防防災航空隊の活動拠点であり、必要不可欠な行政施設である。建物の健全性についても大きな問題はないことから、機能維持の観点から予防保全型の管理を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

既に消防防災航空隊基地と警察航空隊基地の機能を集約させた施設であり、さらなる集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

全県域を対象とする航空消防防災業務や警察業務を行うための施設であり、民間等の県以外の主体によるサービス代替性はないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

全県域を対象とする航空消防防災業務や警察業務を行うための施設として、県行政の不可欠な機能を果たしており、利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

市町村に類似施設はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕などを実施することにより施設全体の長寿命化を図り、６０年使用することを目標とする。修繕費用が著しく高額となった場合などには、施設全体の更新を検討する。

4 管理上の課題等

・施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要である。
・老朽化が進み既に不具合が生じている箇所の早期の修繕が必要である。
・予防保全型の高額修繕の実施が必要である。

5　管理に関する実施方針

自隊のみならず、県内で発生した大規模災害時に全国から集う緊急消防援助隊の活動拠点施設として完全に機能を果たせるよう、建物、機械設備、電気設備及び外構設備について、営繕課等の専門的知識を持った職員や外部の専門家の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を続けていく。

建物の駆体保護のための屋根及び外壁の防水塗装の周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

消防防災航空隊施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	航空保安維持のための警戒センサー設置	16,568	築後１８年経過
	格納庫泡消火設備維持のための修繕　ほか	11,098	
30	屋根・外壁の修繕	33,804	築後１９年経過
	航空燃料給油施設維持のための修繕	1,627	
	格納庫オーバードア動作不良のための修繕	1,242	
	エアコン冷媒配管修繕　ほか	2,407	
31	航空保安維持のための監視カメラの設置	20,163	築後２０年経過
	不良鉄製扉の交換	2,621	
	埋設電気ケーブルの交換　ほか	2,020	
R2～3	非常用発電設備交換	34,177	築後２１年経過
4～5	消火設備修繕	16,935	築後２３年経過
5	エプロン・取付誘導路改修　ほか	12,683	築後２４年経過
6	正面ゲート腐食に伴う修繕	5,000	築後２５年経過
	基地地盤沈下防止対策、排水路改修	10,000	
	オーバードア修繕	8,000	
	航空燃料給油施設修繕　ほか	12,000	
7	受水導水、電話引込線、ガス設備更新、立入禁止柵改修	26,500	築後２６年経過
	（　合　計　）	216,845	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,400	3,400	3,400	
運用コスト	2,600	2,600	2,600	
修繕コスト	2,000	26,000	37,200	
その他				
（合計）	8,000	32,000	43,200	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	総務部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（消防学校）

1 施設の概要

施設名称	消防学校	所在地	由利本荘市岩城内道川字築館１－１
施設面積	8,910.82 ㎡	建設年	平成2年
構造･階数	管理研修棟（ＲＣ造3階）他10棟	台帳価格	545,128,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

消防組織法により県に設置が義務づけられている行政施設である。建物の健全性については、大きな問題はないものの、老朽化が進んでおり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

建替等の計画はなく、他に類似施設もないことから、集約・複合化の検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

消防職員等の教育機関としての機能上、民間等の県以外の主体によるサービス代替性がないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

消防職員等の教育機関として県行政の不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

消防組織法により県に設置が義務づけられた施設であり、市町村に類似施設はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

構造上の耐久性及び耐震性に問題は無いが、各種設備の老朽化や交換部品供給の停止が懸念されており、消防学校としての機能を維持するための必要な修繕を行いながら、さらに20年以上使用する予定。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過した設備が多く、計画的な更新が必要である。
老朽化により外壁にひびが入る等、コンクリート片落下の危険性のある箇所が多い。また、壁からの浸水、屋根からの漏水も確認されており、継続して手当が必要である。

5　管理に関する実施方針

屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とし、教育訓練環境の維持を図る。
また、大規模災害時の緊急消防援助隊集結施設に指定されていることから、同隊の救助活動等拠点施設としての機能維持・強化のための修繕を計画的に実施する。

6　管理に関する実施計画

消防学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	火災報知設備更新	35,942	
R4	管理研修棟冷房設備更新	69,156	
R4	宿泊棟給湯用温水ボイラー更新	8,019	
R5	管理研修棟暖房用温水ボイラー更新	16,766	
R5	管理研修棟自家発電設備更新（設計）	1,406	
R5	電気引込電柱修繕	3,000	
R6	管理研修棟自家発電設備更新（工事）	35,013	
R6	管理研修棟トイレ等修繕	689	
R6	エントランスポーチ屋根修繕	3,300	
R6	車庫・備蓄倉庫オーバースライダー更新	12,000	
R6	主訓練塔建具・金物等修繕	1,000	
R6	フェンス修繕	12,413	敷地周辺
R7	宿泊棟給湯用貯湯槽更新	8,000	
R7	第１補助塔建具・金物等修繕	1,000	
R7	訓練施設舗装	28,500	
	（　合　計　）	236,204	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,697	4,262	4,188	
運用コスト	8,297	9,689	8,291	
修繕コスト	56,908	15,510	8,269	H25屋内訓練場西側屋根改修 H26放水訓練場舗装改修 H27宿泊棟厨房空調更新
その他	0	0	0	
(合計)	68,902	29,461	20,748	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,136	16,071	11,562	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	総務部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（自治研修所）

1 施設の概要

施設名称	自治研修所		所在地	潟上市天王	
施設面積	7,057.00	㎡	建設年	平成7年	
構造･階数	鉄筋コンクリート造・４階		台帳価格	1,170,797,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県職員及び市町村職員の公務員としての資質の向上を図るための研修所であり、必要不可欠な行政施設である。建物の健全性についても大きな問題がないことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

建替等の計画はなく、他に類似施設がないことから集約・複合化は検討していない。
なお、県教育委員会所管の総合教育センターと設備の共有や一体的管理を行っており、今後も施設・設備の修繕や更新に当たっては、県教育委員会との連携が必要である。

※ 公民連携の検討について

県及び市町村職員の研修機関としての機能上、民間等の県以外の主体によるサービス代替性はないことから公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

職員の研修所として県行政の不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

既に県職員及び市町村職員の合同研修所として機能しており、市町村施設との集約は、現在のところ想定できない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

構造上の耐久性及び耐震性に問題はないが、築後３０年弱経過しており、各種設備の老朽化や交換部品供給の停止が懸念される。職員の研修施設としての機能を維持・向上させるために必要な修繕を実施しながら、目標使用年数の６０年使用する予定。

4 管理上の課題等

老朽化が顕著である自動火災報知設備、誘導灯、自動制御設備等の設備機器・非常警報設備等については、早急な修繕が必要である。実施に当たっては、各年度における研修が年間を通して予定されていることから、研修のスケジュールと実施時期との調整が必要になる。
また、修繕の実施に当たっては、設備を共有する県教育委員会（総合教育センター）ともスケジュールや予算の調整が必要である。

5　管理に関する実施方針

研修所としての研修環境を維持・向上させるため、直近では、自動火災報知設備や誘導灯、研修所設備を制御・監視する自動制御設備及び中央監視装置の更新が急務である。その他の施設・設備についても、営繕課等の専門的知見を持った職員や外部の専門家に判断を仰ぎながら、老朽化の診断を実施し、時期を逸することなく、修繕・更新を続けていく必要がある。

6　管理に関する実施計画

自治研修所に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	自動火災報知設備更新	33,946	教育ｾﾝﾀｰ折半
R5	防災設備（誘導灯）：管理棟、宿泊棟	7,458	自治研271、教育ｾﾝﾀｰ7,187
R6	照明設備改修	39,697	自治研16,172、教育ｾﾝﾀｰ23,525
R7	自動制御設備更新	236,109	自治研101,907、教育ｾﾝﾀｰ134,202
	（　合　計　）	317,210	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	14,640	14,582	15,071	
運用コスト	3,922	4,095	2,991	
修繕コスト	601	668	1,772	
その他				
(合計)	19,163	19,345	19,834	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	11,112	13,037	13,963	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,975	5,890	4,945	

【総括表】

部局(庁)名	あきた未来創造部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（地域振興局）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鹿角地域振興局庁舎	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
2	北秋田地域振興局庁舎	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	大館市	存続	大規模修繕を実施
4	山本地域振興局庁舎	能代市	存続	大規模修繕を実施
5	由利地域振興局庁舎	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
6	仙北地域振興局庁舎	大仙市	存続	大規模修繕を実施
7	平鹿地域振興局庁舎	横手市	存続	大規模修繕を実施
8	雄勝地域振興局庁舎	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
9	鹿角地域振興局職員会館	鹿角市	廃止	集約化（従）を実施
10	北秋田地域振興局職員会館	北秋田市	廃止	集約化（従）を実施
11	山本地域振興局職員会館	能代市	廃止	集約化（従）を実施
12	由利地域振興局職員会館	由利本荘市	廃止	集約化（従）を実施
13	仙北地域振興局職員会館	大仙市	廃止	集約化（従）を実施
14	平鹿地域振興局職員会館	横手市	廃止	集約化（従）を実施
15	雄勝地域振興局職員会館	湯沢市	廃止	集約化（従）を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	鹿角地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	鹿角地域振興局庁舎	所在地	鹿角市花輪字六月田１
施設面積	5,511.23　㎡	建設年	S40
構造･階数	鉄筋コンクリート造　３階建	台帳価格	100,750,012　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。
・設置目的にも合致した使用状況となっている。

※　集約・複合化の検討について

・職員数の減少により地域振興局庁舎に生じた余剰スペースを活用、オフィススタンダードの推進により空きスペース等を確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎との集約を検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4　管理上の課題等

・耐震改修も終了し、概ね本体の安全性は確保しているが、設備の老朽化が進んでいる。
・空調設備等の耐久性は低いが、大規模修繕により対応可能。
・職員数の減少による効率性の低下は、課室の再配置により対応予定。

5　管理に関する実施方針

・躯体保護のための屋上防水の２０年を目標とし（前回平成７年施工）、経年劣化状況に応じて外壁塗装の改修等も実施する。
・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

鹿角地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷温水発生機他機器	40,060	
R03	空調自動制御設備更新	26,644	
R05	屋上防水改修（設計）	1,730	
R06	屋上防水改修	15,316	
	（　合　計　）	83,750	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,611	5,611	5,620	
運用コスト	8,054	8,044	6,637	
修繕コスト	30	0	6	
その他				
(合計)	13,695	13,655	12,263	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				利用者未集計

【個別票】

更新日：R5.3.31

2	施設名	北秋田地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局庁舎	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	5,288.51 ㎡	建設年	Ｓ４６
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	135,573,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修が行われ、概ね建物本体の安全性等は確保している。
・空調設備は、２０年以上経過し、全体的に発錆が見られるため、更新の検討が必要である。

5　管理に関する実施方針

・空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

北秋田地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	煙突改修	31,838	
R5	屋上の防水改修	44,740	
R6	冷温水発生機改修	65,000	
	（　合　計　）	141,578	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,768	6,768	6,768	
運用コスト	7,896	7,896	7,896	
修繕コスト	2,000	2,000	2,000	
その他	316	316	316	
(合計)	16,980	16,980	16,980	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				不明

【個別票】

更新日：R5.3.31

3	施設名	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	所在地	大館市片山町三丁目
施設面積	800.73 ㎡	建設年	Ｓ６０
構造･階数	W造・１階	台帳価格	138,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・多くの設備の老朽化が進行しており、改修が必要となっている。

5　管理に関する実施方針

・暖房、冷房設備更新、給排水配管等更新、照明器具更新を行い、併せて省エネ化を図る。

6　管理に関する実施計画

北秋田地域振興局大館地区総合庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	暖房設備更新工事	5,000	
R6	冷房設備更新工事	5,000	
R6	給排水管等更新工事	5,000	
R6	照明器具等更新工事	1,000	
	（　合　計　）	16,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	943	943	943	
運用コスト	1,089	1,089	1,089	
修繕コスト	300	300	300	
その他	77	77	77	
(合計)	2,409	2,409	2,409	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				不明

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	山本地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局庁舎		所在地	能代市御指南町	
施設面積	6,324.05	㎡	建設年	S44	
構造･階数	RC３階		台帳価格	109,878,007	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※　集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4　管理上の課題等

・水道管は昭和４４年に配管されたものであり、老朽化により度々水漏れが発生している状態である。
・埋設ガス管は敷設から３０年以上経過しており、腐食部分からガス漏れのおそれがあるため、経済産業省より更新するよう強く要請されている。

5　管理に関する実施方針

オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

山本地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備改修	1,193	
H30	冷温水発生機	61,665	
H31	外壁改修等	8,188	
R4	外壁パネル交換	21,681	
R5	埋設ガス管耐震化	12,950	
R6	柱形パネル交換	4,517	
R6	パネル溝シーリング加工	4,911	
R6	自家発電装置更新	7,249	
	（　合　計　）	122,354	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,602	6,879	7,143	
運用コスト	9,675	9,725	8,232	
修繕コスト	1,867	2,958	1,957	
その他				
(合計)	18,144	19,562	17,332	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	由利地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局庁舎	所在地	由利本荘市水林
施設面積	5,933.36 ㎡	建設年	Ｓ３８
構造･階数	鉄筋コンクリート造・３階	台帳価格	133,555,012 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※　集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4　管理上の課題等

・耐震改修が行われ、概ね建物本体の安全性等は確保している。
・空調設備は、製造（平成７年）から２５年以上経過し、全体的に発錆が見られるため、更新の検討が必要である。

5　管理に関する実施方針

・空調設備の改修周期は２０年を目標とする。
・オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

由利地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	受変電設備更新	1,553	
R2	受変電設備更新	44,864	
R3	照明ＬＥＤ化改修	12,617	
R6	冷温水発生機	71,500	
R6	太陽光発電設備改修	5,819	
	（　合　計　）	136,353	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,750	6,752	6,757	
運用コスト	8,882	8,378	6,590	
修繕コスト	1,779	1,218	1,012	
その他				
(合計)	17,411	16,348	14,359	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				把握困難

【個別票】

更新日：R5.3.31

6	施設名	仙北地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局庁舎		所在地	大仙市大曲上栄町	
施設面積	6,556.27	㎡	建設年	Ｓ４２	
構造･階数	ＲＣ３階		台帳価格	134,097,008	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ｉ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※　集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数　【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・目標使用年数を６０年とした場合、局庁舎はあと５年で耐用年数が満了となる。
・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修も終了し、概ね本体の安全性等は確保しているが、設備の老朽化が進んでいる。
・大規模水害が発生した場合、非常用電源及び高圧受電設備等が浸水し、長期にわたり電源供給ができなくなるため、早期の対策が必要となる。
・早期に冷暖房設備の更新、防火シャッターの更新等が必要となる。
・職員会館の機能を集約するに当たって、壁、ドア等の大規模改修が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・空調等機械設備の改修にあたっては、２０年周期を目標とする。
・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

仙北地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	冷温水発生機改修（設計）	3,060	
R6	自家発電、受変電設備更新	94,405	
R6	特殊車両車庫等屋根塗装	7,850	
R6	太陽光発電設備改修	5,000	
R6	電話設備更新	20,000	
R6	冷温水発生機改修	137,909	
R6	会議室空調設備等更新	9,207	
	（　合　計　）	274,371	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,225	6,296	6,513	
運用コスト	13,090	12,713	10,799	
修繕コスト	2,144	1,099	2,369	
その他				
(合計)	21,459	20,108	19,681	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

7	施設名	平鹿地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局庁舎	所在地	横手市旭川
施設面積	5,666.45 ㎡	建設年	Ｓ４５
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	154,710,005 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ｉ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・横手市との機能合体により庁舎内の余剰スペースはほとんどなく、行政庁舎として代替性はないことから、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※　集約・複合化の検討について

・横手市との機能合体分野の拡大で、平成２５年度から庁舎の一部機能を職員会館へ移管済み。オフィススタンダードの推進により、福祉環境部の庁舎も含め、更なる機能の集約・複合化の検討を行う。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の推進のため有効利用する。

3　目標使用年数　　【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・屋根防水、耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。
※屋根防水:H30完成、耐震工事：H22完成

4　管理上の課題等

・庁舎敷地内の水道配管が老朽化により漏水する事例がある。
・トイレ汚水管から漏水の事例がある。
・自家発電装置の浸水対応が未整備である。

5　管理に関する実施方針

・必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

平鹿地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	屋根防水改修	12,243	
H31	冷暖房設備設計	3,546	
R2	冷温水発生機	102,115	
R2	非常灯更新工事	5,577	
R3	煙突断熱材改修（実施設計）	1,371	
R4	煙突アスベスト改修	52,203	
	（　合　計　）	177,055	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,845	6,282	5,517	PCB処理(H26)
運用コスト	10,099	10,656	9,235	
修繕コスト	39,624	2,243	20,533	鉄塔更新(H27)、太陽光(H25)
その他				
(合計)	56,568	19,181	35,285	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	150	150	150	50(来客駐車場)×3回転程度か

【個別票】　　更新日：R5.3.31

8	施設名	雄勝地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局庁舎	所在地	湯沢市千石町
施設面積	5,382.86 ㎡	建設年	S41
構造･階数	RC造・3階	台帳価格	111,256,006 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。

※　集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【長寿命化を図りながら今後２０年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4　管理上の課題等

・早期に冷暖房設備の更新が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6　管理に関する実施計画

雄勝地域振興局庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
Ｒ４	庁舎照明ＬＥＤ改修化工事	7,194	
Ｒ６	冷温水発生機	65,000	
	（　合　計　）	72,194	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,892	5,018	5,320	
運用コスト	7,843	5,948	5,315	電力料金、ガス料金、冷暖房用燃料、上下水道料金
修繕コスト	2,915	1,260	1,345	25年度照明器具修繕実施
その他				
(合計)	15,650	12,226	11,980	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,500	4,500	4,500	推計値

【個別票】　　更新日：R5.3.31

9	施設名	鹿角地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	鹿角地域振興局職員会館	所在地	鹿角市花輪字六月田１
施設面積	265.05　㎡	建設年	S40
構造･階数	鉄筋コンクリート造　２階建	台帳価格	9,920,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。

※　集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4　管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

鹿角地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				利用者未集計

【個別票】　　更新日：R5.3.31

10	施設名	北秋田地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局職員会館	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	270.54 ㎡	建設年	Ｓ４７
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	10,547,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。

※　集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4　管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。
・煙突内石綿対策（撤去若しくは封じ込め）工事が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

北秋田地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	煙突アスベスト改修	13,360	
	（　合　計　）	13,360	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	54	54	54	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	54	54	54	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	※本来目的として使用できない

【個別票】

11	施設名	山本地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局職員会館	所在地	能代市御指南町
施設面積	271.44 ㎡	建設年	S47
構造･階数	RC２階	台帳価格	11,124,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

山本地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	9	10	10	
修繕コスト				
その他				
(合計)	9	10	10	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

更新日：R5.3.31

12	施設名	由利地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局職員会館	所在地	由利本荘市水林
施設面積	265.05 ㎡	建設年	Ｓ４６
構造･階数	鉄筋コンクリート造・２階	台帳価格	9,920,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

由利地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	庁舎に含む
運用コスト	－	－	－	庁舎に含む
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				把握困難

【個別票】　　更新日：R4.3.31

13	施設名	仙北地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局職員会館	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	271.44 ㎡	建設年	Ｓ４７
構造･階数	ＲＣ２階	台帳価格	1,534,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・食堂及び理髪室は現在も利用されているが、それ以外では会議での利用がほとんどである。施設は、老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、会議室及び書庫などに有効利用を検討する。

※　集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室及び書庫など有効利用の検討を行う。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3　目標使用年数　　【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4　管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。
・地域振興局庁舎との集約化に当たっては、屋根防水、内部改装等大規模改修が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

仙北地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				振興局庁舎に一括記載
運用コスト				振興局庁舎に一括記載
修繕コスト				振興局庁舎に一括記載
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

14	施設名	平鹿地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局職員会館	所在地	横手市旭川
施設面積	270.54 ㎡	建設年	S47
構造･階数	ＲＣ造、２階建	台帳価格	10,547,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、倉庫、書庫などの有効利用を検討する。

※　集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

・横手市との機能合体により一部が市の倉庫として使用されている。地域振興局庁舎のオフィススタンダードにより生じた余剰スペースは有効利用する。

3　目標使用年数　　【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4　管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化（現在は使用を禁止）、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

平鹿地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	煙突断熱材改修（実施設計）	1,371	
R4	煙突アスベスト改修	52,203	振興局庁舎と合算の金額
	（　合　計　）	53,574	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	103	102	90	
修繕コスト	126	31	200	H25内部改修(機能合体) H27漏水
その他				
(合計)	229	133	290	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

更新日：R5.3.31

15	施設名	雄勝地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局職員会館	所在地	湯沢市千石町
施設面積	271.44 ㎡	建設年	S48
構造･階数	RC造・2階	台帳価格	11,272,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6　管理に関する実施計画

雄勝地域振興局職員会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	煙突断熱材改修（実施設計）	1,678	
R4	煙突アスベスト改修	8,514	
	（　合　計　）	10,192	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	庁舎に含む
運用コスト	34	38	40	ガス料金、上下水道料金 電気料金は庁舎に含む
修繕コスト	0	0	20	
その他				
(合計)	34	38	60	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	20	35	20	25年度は推計値

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	あきた未来創造部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 秋田県ゆとり生活創造センター ）

1 施設の概要

施設名称	秋田県ゆとり生活創造センター	所在地	秋田市上北手荒巻字堺切２４－２
施設面積	3,521.60 ㎡	建設年	平成１４年
構造･階数	木造平屋建	台帳価格	389,967,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

木造で、令和４年度末時点において築２１年となっており、老朽化が進んでいる。
今後、目標使用年数を定め、大規模修繕などにより予防保全型（未然に劣化・損傷等を防止）の管理を基本とする長寿命化対策を図る。それまでの間は小規模修繕により対応する。
（類似施設もなく、複合化・集約化になじまないため、単独で存続）

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数４０年】

施設を存続することとし、適切な維持管理を心掛けるとともに、平成２９～令和７年にかけて建築物及び設備の修繕を計画的に実施する。

4 管理上の課題等

経年劣化により、暖房設備、自動ドアモーター、太陽光発電パネル、外壁等の修繕交換等が必要となっている。

5　管理に関する実施方針

大規模修繕等により、予防保全型の管理による長寿命化を図る。それまでの間は小規模修繕により対応する。
また、躯体保護のため、木造の外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田県ゆとり生活創造センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	暖房設備更新（バコティンヒータ等）	22,930	
R7	自動ドアモーター交換等	4,884	
	（　合　計　）	27,814	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,492	6,461	6,688	
運用コスト	14,204	13,923	13,992	
修繕コスト	1,500	1,838	2,602	
その他	0	0	0	
(合計)	22,196	22,222	23,282	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	5,587	5,793	5,656	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109,457	110,292	115,432	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	あきた未来創造部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（児童会館）

1 施設の概要

施設名称	児童会館		所在地	秋田市山王中島町	
施設面積	3,614.00	㎡	建設年	S55	
構造･階数	RC造・地上４階地下１階		台帳価格	223,009,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県内唯一の大型児童館で、県民のニーズが高いことから、引き続きサービス提供を行っていく必要がある。
建物については、構造体は問題ないものの、設備の老朽化が目立っていることから、設備の大規模修繕を計画的に行っていくものとする。

※ 集約・複合化の検討について

現時点では集約・複合化は検討していないが、隣接している生涯学習センターと建替時期が同時期となることから、合築等であれば、当該センターとの集約について検討可能と考えられる。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済。それまで減少傾向にあった利用者数が、同制度導入後は増加に転じるなど、効果が現れている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県内唯一の大型児童館として、県内児童館の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有していることから、譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県内唯一の大型児童館として、県内児童館の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有していることから、市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

子ども博物館部分の国庫補助に係る処分制限期間が６０年とされており、それまでの間は使用する。

4 管理上の課題等

建物の構造体の大規模修繕は必要ないものの、舞台設備や自動ドア装置の劣化など、通常想定される設備の耐用年数の超過に伴う不具合が生じ、来館者へ影響があることから、できる限り早い対応が望まれる。

5　管理に関する実施方針

劇場舞台設備の不具合箇所が多いことから、順次修繕を行っていくものとする。
また、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。（屋根防水改修時期2029年、外壁塗装改修時期2039年）

6　管理に関する実施計画

児童会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
3	空調設備更新	126,606	
3	劇場空調設備（ダンパー等）修繕工事	5,811	
3	ガラス壁面雨漏り修繕工事	5,588	
5～	緞帳更新工事	10,982	
5～	絞り緞帳更新工事	10,852	
5～	舞台幕等更新工事	22,774	
5～	舞台床張替工事	63,019	
5～	劇場排水設備工事	9,900	
5～	劇場熱交換器修繕工事	6,000	
5～	自動ドア装置交換修繕工事	2,640	
6～	第一展示室展示物更新	19,000	
6～	レクリエーションホール展示物更新	21,000	
11～	屋根防水改修工事		
21～	外壁塗装改修工事		
	（　合　計　）	304,172	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,424	9,691	9,691	
運用コスト	12,459	12,294	10,583	
修繕コスト	3,118	11,035	3,505	
その他				
（合計）	25,001	33,020	23,779	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,487	8,974	8,869	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	122,246	125,484	134,398	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	あきた未来創造部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 子ども博物館 ）

1 施設の概要

施設名称	子ども博物館		所在地	秋田市山王中島町	
施設面積	2,058.70	㎡	建設年	S55	
構造･階数	RC造・地上４階地下１階		台帳価格	122,131,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

博物館法に基づく博物館相当施設であるが、機能は児童会館に一元化されている。利用者数も増加しており県民のニーズが高いことから、引き続きサービス提供を行っていく必要がある。
建物については、構造体は問題ないものの、設備の老朽化が目立っていることから、設備の大規模修繕を計画的に行っていくものとする。

※ 集約・複合化の検討について

現時点では集約・複合化は検討していないが、隣接している生涯学習センターと建替時期が同時期となることから、合築等であれば、当該センターとの集約について検討可能と考えられる。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済。それまで減少傾向にあった利用者数が、同制度導入後は増加に転じるなど、効果が現れている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

児童会館と一元化されており、譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

児童会館と一元化されており、市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

国庫補助に係る処分制限期間が６０年とされており、それまでの間は使用する。

4 管理上の課題等

建物の構造体の大規模修繕は必要ないものの、レクリエーションホールや展示ルームの展示物が陳腐化しており、新たな展示物等を望む声も高く、できるだけ早い更新が望まれる。

5　管理に関する実施方針

児童会館全体の修繕の進捗状況を踏まえ、科学展示物のあり方を検討する。 また、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。（屋根防水改修時期2029年、外壁塗装改修時期2039年）

6　管理に関する実施計画

子ども博物館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	児童会館の修繕に含まれる		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,424	9,691	9,691	
運用コスト	12,459	12,294	10,583	
修繕コスト	3,118	11,035	3,505	
その他				
（合計）	25,001	33,020	23,779	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,487	8,974	8,869	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	122,246	125,484	134,398	

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（オートキャンプ場）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	八幡平オートキャンプ場	鹿角市	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
2	男鹿オートキャンプ場	男鹿市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	宮沢海岸オートキャンプ場	男鹿市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	由利高原オートキャンプ場	由利本荘市	廃止	R3.4.1 用途廃止（施設残存）
5	田沢湖オートキャンプ場	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

（１）施設の存続
　○点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設
　○利用需要の継続した実績及び今後の見込みがあり、必需性の高い施設
　などは利用者の安全確保を第一に考え修繕等を実施

（２）施設の廃止
　○老朽化が著しく、事故防止の観点から安全確保に支障がある施設
　○利用者が少なく、今後も増加が見込めない施設
　などは廃止した上で除却処分等を実施

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	八幡平オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	八幡平オートキャンプ場	所在地	鹿角市八幡平字切留平
施設面積	2,395.08　㎡	建設年	H4
構造･階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	207,998,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）

「基本的な方針の考え方」

・利活用策を募集したが、いずれも県の設備投資が多額に上ること等から、提案の実現は、事実上難しいものと判断した。
・当面の間、施設は存続し、適切な時期に解体除却する。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・利活用策の募集（平成27､28年度）を実施済

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【令和６年度頃に除却】

・公売を実施し、売却できない場合は除却するよう手続きを進める。

4　管理上の課題等

・機能は廃止しているものの管理棟などの施設は残存しているため、事故防止等に努める必要がある。

5　管理に関する実施方針

・地元関係機関の協力を得ながら定期的にパトロール等を実施する。

6　管理に関する実施計画

八幡平オートキャンプ場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	327	－	
運用コスト	1,503	1,011	－	
修繕コスト	552	0	－	
その他				
(合計)	2,627	1,338	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,251	3,558	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,329	2,059	－	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	男鹿オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	男鹿オートキャンプ場	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山
施設面積	1,308.91　㎡	建設年	H11
構造･階数	木造・2階	台帳価格	51,247,005　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4　管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5　管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成26年度高圧気中開閉器を交換

6　管理に関する実施計画

男鹿オートキャンプ場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	トイレ洋式化修繕	5,984	
R4	換気機能付き空調設備改修	6,215	
R6	電気機器交換	22,220	
R6	ガス給湯器改修	4,730	
	（　合　計　）	39,149	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	506	514	482	
運用コスト	1,933	2,388	1,937	
修繕コスト	332	1,011	500	26高圧気中開閉器更新550
その他				
（合計）	2,771	3,913	2,919	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,244	10,311	10,665	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,774	6,041	6,041	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	宮沢海岸オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	宮沢海岸オートキャンプ場	所在地	男鹿市野石字大場沢下
施設面積	314.67　㎡	建設年	H12
構造･階数	木造・2階	台帳価格	8,361,003　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【今後１０年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・民間等への譲渡を検討し、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4　管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5　管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、
　今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成27年度高圧気中開閉器を交換

6　管理に関する実施計画

宮沢海岸オートキャンプ場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	炊事棟照明器具改修	1,056	
R4	炊事棟流し台給水管修繕	880	
R6	センターハウスデッキ改修	7,079	
R6	炊事場カウンター修繕	7,369	
	（　合　計　）	16,383	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	415	427	427	
運用コスト	410	451	423	
修繕コスト	30	0	694	27高圧気中開閉器更新608
その他				
（合計）	855	878	1,544	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,477	3,027	3,452	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,428	2,108	2,344	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	由利高原オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	由利高原オートキャンプ場	所在地	由利本荘市西沢字南由利原
施設面積	247.75　㎡	建設年	H3
構造･階数	木造・1階	台帳価格	568,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	R3.4.1 用途廃止（施設残存）

「基本的な方針の考え方」

・利活用策について検討していく。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【令和２年度に廃止】

・利活用策について検討していく。

4　管理上の課題等

・機能は廃止しているものの管理棟などの施設は残存しているため、事故防止等に努める必要がある。

5　管理に関する実施方針

・地元関係機関の協力を得ながら定期的にパトロール等を実施する。

6　管理に関する実施計画

由利高原オートキャンプ場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	165	180	180	
運用コスト	282	282	268	
修繕コスト	165	42	19	
その他				
(合計)	612	504	467	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	272	234	191	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	559	242	475	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	田沢湖オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前
施設面積	367.07　㎡	建設年	H12
構造･階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	48,246,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・仙北市に対し、意向調査を実施

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4　管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5　管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成25年度木柵改修及び平成26年度高圧気中開閉器を交換

6　管理に関する実施計画

田沢湖オートキャンプ場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	トイレ洋式化修繕	1,903	
R4	フリーサイト土壌修繕	1,320	
R4	木柵修繕（炊事場）	590	
R6	木柵修繕（場内全体）	14,520	
R6	照明器具修繕	6,111	
	（　合　計　）	24,444	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	125	130	142	
運用コスト	931	818	966	
修繕コスト	538	627	54	25木柵改修538 26高圧気中開閉器更新573
その他				
(合計)	1,594	1,575	1,162	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,920	5,668	5,753	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,766	5,414	5,585	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（大潟スポーツ宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	大潟スポーツ宿泊センター（サンルーラル大潟）	所在地	南秋田郡大潟村字北
施設面積	6,706.30 ㎡	建設年	H8
構造･階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・8階	台帳価格	941,344,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・大潟村に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大潟スポーツ宿泊センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	7,903	
H30	外壁等改修	6,062	
H31	外壁等改修（展望風呂）	11,371	
H31	客室風呂改修	26,189	
H31	照明改修	19,010	
R2	パーティション改修	4,235	
R2	空調設備（換気）改修	3,366	
R3	浴場設備改修	11,721	
R3	床内装改修	50,087	
R3	空調設備（換気）改修	3,630	
R3	トイレ非接触改修	1,892	
R4	地下ピット内配管等改修	17,347	
R4	外壁改修（設計）	1,840	
R4	排風機修繕	1,985	
R4	真空温水ヒーター修繕	1,298	
R5	外壁改修	135,350	
R5	照明設備改修	9,267	
R5	展望浴場空調設備改修	2,500	
R6	浴場ポンプ修繕	1,001	
R6	機械室設備改修	4,883	
R6	内装改修	67,964	
R6	ハンガードア修繕	684	
R6	昇降機改修	1,209	
R7	厨房床改修	5,705	
R7	自家発電等電気設備更新	963	
R7	空調設備改修	139,040	
R7	屋外避難階段外部改修	14,344	
R7	パーティション改修	1,053	
	（　合　計　）	551,898	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,023	9,764	10,270	
運用コスト	41,299	34,968	31,802	
修繕コスト	5,027	23,261	4,476	26自動火災報知設備更新 21,531
その他				
（合計）	58,349	67,993	46,548	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	140,617	140,860	138,713	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	31,259	30,398	28,984	宿泊者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋の宮山荘）

1 施設の概要

施設名称	秋の宮山荘	所在地	湯沢市秋ノ宮字殿上
施設面積	4,936.16 ㎡	建設年	H8
構造･階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	711,103,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・湯沢市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋の宮山荘に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	18,146	
H29	冷温水発生機改修	15,473	
H30	電気設備改修	6,850	
H30	ポンプ類更新	7,415	
H31	屋根改修	2,473	
H31	浴場関係設備改修	13,131	
H31	風除室及び自動ドア改修	16,155	
R2	大浴場換気扇改修	1,749	
R3	屋根改修	52,283	
R3	床内装改修	51,261	
R3	トイレ手洗器自動水栓更新	3,597	
R3	客室換気扇等修繕	2,244	
R4	電気設備更新修繕	2,400	
R4	自動制御設備改修（設計）	1,126	
R4	エレベーター改修	1,636	
R5	外壁改修（実施設計）	2,330	
R6	照明省エネ修繕（ＬＥＤ化）	11,880	
R6	自動制御設備改修（工事）	70,229	
R6	厨房機械設備改修	3,436	
R6	大浴場シャワー修繕	2,871	
R6	冷温水発生器修繕	5,005	
R6	外壁改修	10,000	
R7	客室窓交換	1,448	
R7	給湯用仕切弁取替修繕	7,480	
R7	熱交換器取替工事	25,217	
R7	宴会場　内装改修	2,130	
	（　合　計　）	337,965	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,727	7,287	6,620	
運用コスト	24,136	23,824	19,446	
修繕コスト	1,482	5,051	2,615	
その他				
（合計）	33,345	36,162	28,681	H27.12～H28.3休業

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	231,431	207,600	144,858	H27.12～H28.3休業

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,423	12,778	8,724	宿泊者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（鳥海観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	鳥海観光宿泊センター（フォレスタ鳥海）	所在地	由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前
施設面積	7,861.00 ㎡	建設年	H8
構造･階数	鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階	台帳価格	1,148,040,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

鳥海観光宿泊センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	25,280	
H30	直流電源装置等更新	20,546	
H31	外壁等改修	5,677	
H31	配電設備更新	8,111	
H31	空調設備ポンプ類更新	12,162	
R2	計装設備・給排水衛生設備更新	38,000	
R2	空調設備改修	8,800	
R3	合併浄化槽改修	795	
R3	受変電設備変圧・電話設備等更新	43,784	
R3	床内装改修	44,986	
R3	西側外気処理空調機改修	2,772	
R4	照明制御設備等更新	12,705	
R4	エレベーター改修	36,300	
R4	東側外気処理空調機改修	2,431	
R4	防火ダンパー取替	750	
R4	誘導灯設備修繕	1,320	
R5	照明設備更新	59,500	
R5	冷却塔改修	10,000	
R5	中央監視装置更新（設計）	794	
R6	小宴会場外調機修繕	1,034	
R6	中央監視装置更新	22,056	
R6	放送設備更新	4,286	
R6	浴場修繕	1,227	
R6	冷凍機器更新	2,577	
R6	非常用発電機修繕	1,232	
R6	排風機等修繕	7,334	
R7	外壁改修	31,569	
R7	衛生設備等更新	14,597	
R7	貯湯槽設備更新	22,033	
R7	冷暖房配管等設備更新	24,972	
R7	屋外排水管等設備更新	6,842	
R7	動力分電盤等設備更新	59,818	
R7	窓枠等改修	108,243	
R7	消防設備更新	20,330	
	（　合　計　）	662,863	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,462	24,124	25,071	
運用コスト	22,817	23,196	17,100	
修繕コスト	5,260	56,509	2,475	26冷温水発生機等更新54,211
その他				
（合計）	52,539	103,829	44,646	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	216,743	198,816	206,108	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,140	11,716	13,077	宿泊者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（十和田観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	十和田観光宿泊センター（十和田ホテル）	所在地	鹿角郡小坂町十和田湖字鉛山
施設面積	8,724.24　㎡	建設年	H10
構造･階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,041,021,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4　管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

十和田観光宿泊センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷却塔等更新	41,338	
H30	外壁等改修	6,660	
H31	空調機器改修	9,978	
R2	エレベーター制御盤交換	13,530	
R2	大浴場洗い場仕切り設置工事	1,826	
R3	自動ドア装置交換	1,097	
R3	ガス強制気化装置改修	1,804	
R3	床内装改修	99,851	
R3	トイレ手洗器自動水栓更新	3,410	
R4	空調設備（ＧＨＰ）改修	10,428	
R4	ボイラー及び全自動操作盤取替修繕	1,650	
R5	浴場ろ過装置制御盤等改修工事	22,914	
R5	照明設備修繕	17,800	
R5	電話交換機・電話機更新　実施設計	2,015	
R6	電話交換機・電話機更新	12,799	
R6	空調設備（ＡＨＵ）改修	1,672	
R6	屋根改修	22,000	
R7	窓ガラス交換	37,240	
	（　合　計　）	308,012	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,472	17,340	17,172	
運用コスト	23,380	24,184	21,806	
修繕コスト	32,770	2,951	21,028	25中央監視装置更新32,148 27冷温水発生機改修17,660
その他				
（合計）	71,622	44,475	60,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	208,807	216,480	211,344	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	12,327	13,447	13,055	宿泊者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋田ふるさと村）

1 施設の概要

施設名称	秋田ふるさと村	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	18,167.05　㎡	建設年	H5
構造･階数	鉄筋コンクリート造・地上2階地下1階	台帳価格	2,556,556,006　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・年間60万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4　管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田ふるさと村に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	直流電源装置等更新	11,950	
H30	ドーム劇場屋上防水改修	2,056	
H30	非常用照明修繕	5,402	
H31	屋上防水改修	31,611	
H31	ワンダーキャッスル屋根改修	13,560	
H31	中央監視装置更新	3,478	

R2	中央監視装置更新	70,576	
R2	ドーム劇場電動式観覧席制御盤改修	7,865	
R2	外壁打診調査	2,047	
R2	ドーム劇場照明改修	83,735	
R2	トイレ洋式化修繕	5,885	
R3	郷土料理館屋根改修実施設計	470	
R3	トイレ洋式化修繕	20,020	
R3	レストハウス等改修修繕	847	
R4	郷土料理館屋根改修	24,406	
R4	工芸工房屋根改修	9,834	
R4	外壁改修（設計）	2,050	
R4	換気窓改修	6,380	
R4	非常放送設備改修	2,453	
R5	ドーム劇場ワイヤレス音響設備更新	7,590	令和4年度繰越
R5	外壁改修等	40,320	
R5	ガス気化設備等更新	18,336	
R5	給水ポンプユニット更新	53,566	
R5	消防設備更新	1,850	
R6	エネルギー棟設備更新	43,766	
R6	ドーム劇場舞台設備改修	143,278	
R6	高圧遮断機更新	8,785	
R6	電源装置改修	14,157	
R6	屋外舗装及び排水路等修繕	12,456	
R6	自動ドア装置改修	4,035	
R6	監視カメラ装置更新	117,583	
R6	手作り体験工房　空調設備更新	22,421	
R6	エレベーター改修	118,580	
R6	電気機器更新	20,691	
R6	照明設備修繕	26,983	
R7	屋上防水層改修	13,087	
R7	屋根及び外装修繕	24,665	
R7	角型冷却塔更新	17,096	
R7	非常放送設備改修	29,911	
R7	高圧区分開閉器（ＰＡＳ）更新	1,452	
R7	直焚二重効用吸収式温水器更新	70,026	
R7	外構整備改修	16,500	
R7	ドーム劇場設備更新	153,173	
R7	スペーシア設備更新	3,449	
R7	ガスメーター更新	1,129	
R7	ワンダーキャッスル設備更新	1,595	
R7	ガス漏れ警報器更新	338	
R7	屋内消火栓ホース更新	2,142	
	（　合　計　）	1,293,584	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	108,259	106,730	107,686	
運用コスト	84,685	82,927	78,229	
修繕コスト	252,524	15,189	9,834	25遊具改修　20,952 25ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ改修　114,285 25空調照明等改修113,604
その他				
（合計）	445,468	204,846	195,749	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	274,438	306,897	323,386	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	583,948	583,634	614,155	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（新玉川地区リゾート整備基盤施設）

1 施設の概要

施設名称	新玉川地区リゾート整備基盤施設	所在地	仙北市田沢湖玉川字柳沢
施設面積	1,086.15　㎡	建設年	H10
構造･階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	465,541,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。

4　管理上の課題等

・給排水施設の修復については、㈱玉川サービスが県との覚書に基づき、費用の積立等を実施している。確実な費用の積み立てが課題である。

5　管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

新玉川地区リゾート整備基盤施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	屋根改修（多目的屋内広場）	22,290	
	（　合　計　）	22,290	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,111	6,111	6,111	
運用コスト	5,602	6,767	6,124	
修繕コスト	4,670	16,552	5,725	26転落防止柵等更新 14,582 27ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ更新5,725
その他				
(合計)	16,383	29,430	17,960	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（田沢湖スキー場）

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スキー場	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,359.14 ㎡	建設年	H9
構造･階数	鉄骨造・2階	台帳価格	422,249,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・年間約8万人のスキー客が利用しており本県への冬季誘客における重要な施設と位置づけている。また、全国規模の各種大会等にも利用されている。
・耐用年数を迎えるリフト設備等を改修・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、リフト設備等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・リフト設備等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

田沢湖スキー場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	スキーセンター改修及びラウンジ新設	303,296	平成28年度繰越
H29	銀嶺クワッドリフト等索受装置改修	24,192	
H29	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,832	
H30	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,184	
H30	銀嶺クワッドリフト搬器改修	43,200	
H31	かもしかクワッドリフト山麓押送駆動輪整備	3,197	
H31	銀嶺第１リフト改修	22,907	
R2	銀嶺クワッドリフト通信ケーブル更新	29,260	
R2	黒森山リフト油圧緊張シリンダー更新	3,850	
R2	かもしかクワッドリフト握索装置オーバーホール	16,390	
R2	管理センター改修	25,096	
R3	銀嶺クワッドリフト　制動装置オーバーホール	8,580	
R3	銀嶺第３リフト油圧緊張装置オーバーホール	5,060	
R3	銀嶺第３リフト制動装置オーバーホール	5,940	
R3	かもしかクワッドリフト山頂押送駆動輪、拡索輪整備	5,225	
R3	トイレ水栓自動化等修繕	14,157	
R3	管理センター地下タンク修繕	1,612	
R4	銀嶺クワッドリフト支えい索更新	35,519	
R4	かもしかクワッドリフト支えい索更新	14,476	
R4	かもしかクワッドリフト油圧緊張装置更新	16,610	
R4	かもしかハウス屋根修繕	2,447	
R4	換気機能付き空調設備修繕	16,907	
R5	スキーセンターレラ非常用発電機修繕	1,100	
R5	ぎんれいハウストイレ改修工事	7,807	
R5	銀嶺クワッドリフト搬機フード開閉ケーブル交換	18,150	
R5	かもしかクワッドリフト搬機フード開閉ケーブル交換	11,266	
R5	照明省エネ修繕（ＬＥＤ化）	47,560	
R5	スキーセンターレラ共用トイレ多様性改修（実施設計）	3,000	
R6	スキーセンターレラ共用トイレ多様性改修	11,241	
R6	ぎんれいハウス屋根修繕	6,760	
R6	スキーセンターレラ浄化槽ブロワ交換修繕	927	
R6	かもしかクワッドリフト座板用ウォームシート交換	4,859	
R6	銀嶺ハウス厨房設備等更新	6,130	
R6	かもしかハウス厨房設備等更新	3,590	
R7	銀嶺第１、銀嶺第３、黒森山リフト搬器座板等改修	43,258	
R7	銀嶺クワッドリフト山頂部油圧緊張装置オーバーホール	19,312	
R7	銀嶺クワッドリフト山頂部無線制御装置設置	1,210	
R7	スキーセンターレラ屋上防水改修	11,440	
R7	スキーセンターレラ外部鉄部筋交い修繕	7,039	
R7	スキーセンターレラボイラー設備交換	17,500	
	（　合　計　）	806,547	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,689	2,770	3,414	
運用コスト	24,307	21,606	18,044	
修繕コスト	53,686	43,960	57,238	25ﾘﾌﾄ改修　44,401 26ﾘﾌﾄ改修　34,800 27ﾘﾌﾄ改修　49,453
その他				
（合計）	80,682	68,336	78,696	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	147,388	147,077	133,144	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	98,030	100,039	86,441	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（男鹿水族館）

1 施設の概要

施設名称	男鹿水族館	所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢
施設面積	8,968.75　㎡	建設年	H16
構造･階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,640,850,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・年間20万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。

4　管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

男鹿水族館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	取水ポンプ室防潮扉等更新	15,094	
H30	ブラインチラー設備等更新	30,871	
H31	自家用発電機更新基本設計	2,177	
H31	空調設備更新	27,116	
R2	冷温水発生機　実施設計	1,111	
R2	電気設備部品交換	5,225	
R2	冷暖房空調設備改修	15,147	
R3	冷温水発生機改修	55,461	
R4	冷温水発生機改修	47,293	
R4	非常用電源装置更新　実施設計	3,559	
R4	中央監視装置更新　基本設計	290	
R4	大水槽上部排煙ダクト修繕	5,066	
R5	非常用自家発電機更新	239,106	
R5	二酸化炭素消火器ボンベ更新	18,007	
R6	照明設備修繕	34,400	
R6	展示水槽用冷水自動弁修繕	748	
R6	防災設備更新	27,456	
R6	大水槽漏水停止改修	22,880	
R7	昇降機改修	744,705	
R7	ＧＨＰ更新	83,804	
R7	飼育用冷凍冷蔵庫改修	6,385	
R7	中央監視装置更新	200,000	
R7	生物展示場修繕	2,200	
R7	外壁等改修	13,640	
R7	給排水設備更新	1,914	
R7	館内建具更新	4,556	
R7	電気室等電気設備改修	10,202	
R7	飼育室空調機等設備改修	124,938	
R7	圧力式ろ過機オーバーホール	55,000	
	（　合　計　）	1,798,351	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,688	32,813	37,255	
運用コスト	87,165	83,663	73,202	
修繕コスト	18,875	6,517	34,497	27ｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ改修15,364 27空調機更新　6,650
その他				
（合計）	154,728	122,993	144,954	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	224,801	169,931	167,205	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	318,148	226,990	228,241	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合プール）

1 施設の概要

施設名称	総合プール	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,160.15 ㎡	建設年	H12
構造･階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	4,980,502,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・全国規模の大会開催や国内トップ選手の合宿を受入可能な設備を有する県内唯一の施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

総合プールに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	軒天井補強、蓄電池交換	19,468	
H30	2号井戸設置	17,623	
H30	吊り天井改修工事　実施設計	8,581	
H30	排気ファン修繕	1,500	
H30	照明設備LED改修	68,564	
H31	吊り天井改修	479,014	
H31	濾過制御装置修繕	4,510	
H31	LED改修工事	36,588	
R2	大規模改修工事（設備）　実施設計業務	6,416	
R3	大規模改修工事（設備）	103,004	中央監視装置、ジャグジー装置、消毒薬注入ポンプ、濾過量水器等
R3	放送室・計算室エアコン修繕	4,950	
R3	可動床装置修繕	6,385	
R3	冷却塔及び空調機更新	18,927	
R3	自動ドア更新	2,367	
R3	温水ヒーター更新	1,542	
R3	水質監視装置更新	27,060	
R4	濾材交換	45,702	
R4	空調用塩害除去中性能フィルター更新	4,059	
R4	熱交換器更新	21,398	
R4	貯湯層系統密閉式膨脹タンク更新	3,036	
R4	濾過ポンプ交換修繕	3,956	
R4	フート弁更新	798	
R4	男女更衣室床張り替え	2,466	
R4	床材滑り止め修繕	9,515	
R4	換気窓改修工事	10,403	実施設計含む
R4	照明制御装置交換修繕	17,655	
R5	空調機外気側ダンパー等修繕	6,876	
R6	ダイビングボード修繕	1,650	
R6	メイン・ダイビングプール音響設備改修	15,096	
R6	競泳競技リザルトシステム更新	29,421	
R6	水球競技表示システム更新	42,818	
R6	エレベーター修繕	6,000	
R6	マンホール修繕	2,108	
R6	雨水浸透桝修繕	550	
R6	施設内監視カメラ更新	8,869	
R6	照明リモコンスイッチ更新	30,411	
	（　合　計　）	1,069,285	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,827	3,048	2,799	
運用コスト	104,357	101,412	81,765	
修繕コスト	4,183	12,718	17,286	
その他				
（合計）	111,367	117,178	101,850	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	27,978	28,994	27,839	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	152,221	161,542	157,801	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（スケート場）

1 施設の概要

施設名称	スケート場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,064.28　㎡	建設年	S46
構造･階数	鉄骨造・1階	台帳価格	31,831,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」
- 県内唯一のスケート場であり、アスリート育成及び競技力向上、また、冬季における貴重な運動・レクリエーション施設として位置付けている。
- 建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成19年度に屋根改修、平成26年度に照明設備改修を実施している。
- 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能年数を目標使用年数とした。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4　管理上の課題等

・その他の設備機器等についても耐用年数を迎えたため、計画的な修繕・更新を実施する。
・防水屋根シート（2007年度施工）の耐用年数（13年）経過により、リンク上で雨漏りが発生していることから、改修が必要である。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

スケート場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	汚水管更新	8,388	
H30	井戸掘削工事	34,090	
H30	冷凍機更新（実施設計、機器製作、仮設工事）	351,154	
H31	冷凍機更新（設計監理、機器設置工事）	169,156	
R2	ホッケーリンク床コンクリート・冷却配管更新	156,478	
R4	ゴムフロア張り替え	2,095	
R4	屋根防水工事　実施設計	3,503	
R4	ブラインポンプ４号機モーター修繕	3,009	
R5	トップライトシーリング修繕	2,948	
R5	氷上整備車更新	33,055	
R7	サッシ取替	101,848	
	（　合　計　）	865,724	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,795	1,841	1,868	
運用コスト	30,578	25,593	18,337	
修繕コスト	1,573	52,511	7,815	26冷凍機修繕　19,872 26照明LED化　26,482
その他				
（合計）	33,946	79,945	28,020	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	40,626	36,493	35,646	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	78,348	69,398	67,224	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（武道館）

1 施設の概要

施設名称	武道館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	18,744.00　㎡	建設年	H16
構造･階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	2,754,285,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県内唯一の総合的な武道競技施設であり、全国規模の大会の開催等によりスポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、年間を通じた武道の競技力向上、武道を通じた青少年の健全育成に寄与する重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4　管理上の課題等

・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

武道館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	蓄電池交換、気中開閉器交換、照明設備改修	79,391	
H30	雨水排水管洗浄業務委託	800	
H31	トランス絶縁油交換業務委託	2,530	
H31	吊り天井改修	335,771	
R2	冷温水発生機修繕（４号機）	7,997	
R3	ＫＨＰエアコン改修工事	35,059	基本・実施設計含む
R4	大道場天井修繕（雨漏り対策）	21,089	実施設計含む
R4	大道場換気窓改修工事	26,589	実施設計含む
R4	冷温水発生機修繕（３号機）	8,657	
R4	冷却塔（クーリングタワー）修繕	2,156	
R4	近的弓道場安土改修	1,870	
R4	各道場扉修繕	2,789	
R4	正面玄関自動ドア修繕	1,584	
R4	軒天換気用給気ダクト改修	1,925	
R6	空調フィルター交換	11,101	
R6	中央監視装置更新	103,400	
R6	冷温水発生機修繕（１号機、２号機）	25,902	
R7	大道場床修繕	12,111	
	（　合　計　）	680,721	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,747	12,244	11,525	
運用コスト	32,866	33,265	29,408	
修繕コスト	754	2,431	2,719	
その他				
（合計）	45,367	47,940	43,652	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,937	14,506	13,759	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	230,362	225,945	230,598	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（体育館）

1 施設の概要

施設名称	体育館	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	7,636.90 ㎡	建設年	S43
構造･階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	235,449,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	複合化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」
- 県内有数の観客席を有しており、全国規模の大会開催やコンサート、イベントの開催により交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
- 建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成26年度にトイレ洋式化改修、平成27年度に照明設備改修を実施している。
- 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・建替えのうえ、アリーナ機能の追加及びスポーツ科学センターとの複合化を検討する。

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能期間を今後10年以上とする。
・目標使用年数経過にあわせ、建替えを実施する。
・建替えまでは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

・耐用年数を迎える設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施する。
・熱中症対策として、大体育場及び小体育場に空調（冷房）設備の設置を検討する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

体育館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	避雷設備修繕	2,262	
H31	空調設備改修工事	15,343	
H31	スプリンクラー設備修繕	10,792	
H31	吊り天井改修工事　設計業務	8,126	
R2	吊り天井改修	236,560	
R4	天井耐震化推進工事	395,795	天井改修2期工事
R4	屋根防水等工事設計業務委託	2,969	
R5	屋根防水等工事	46,885	設計管理含む
R5	高圧気中開閉器及び非常発電用蓄電池更新	2,519	
R6	大規模改修工事（設備）　設計業務委託	9,431	
R6	控え室エアコン設置工事	6,219	
R6	オイルサービスタンク設置	2,615	
R6	物置換気室設置工事	2,475	
R6	入口玄関タイル修繕	7,200	
R6	暖房用ボイラー修繕	54,673	
R6	非常用発電機修繕	37,115	
R7	駐車場舗装工事	27,995	
	（　合　計　）	840,979	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,241	6,581	6,771	
運用コスト	12,056	12,035	8,904	
修繕コスト	861	15,554	41,709	26トイレ洋式化 14,958 27照明LED化 39,800
その他				
（合計）	19,158	34,170	57,384	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	11,236	13,415	14,854	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	121,933	131,104	134,387	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（総合射撃場（ライフル射撃場））

1 施設の概要

施設名称	総合射撃場（ライフル射撃場）	所在地	由利本荘市岩城道川字新田沢
施設面積	2,449.49 ㎡	建設年	H7
構造･階数	鉄骨造・2階	台帳価格	148,063,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県内で唯一競技大会が開催可能な施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、ジュニア選手の強化拠点としても重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。
・鉛弾による環境保全上の問題を生じさせないよう鉛害防止対策を実施する。

6　管理に関する実施計画

総合射撃場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	真空遮断器交換	1,550	
H30	ライフル射撃場側壁修繕	28,294	
H30	飛散防止ネット実施設計	37,196	
H31	ライフル棟屋根・外壁防水塗装工事	32,024	
H31	防護ネット工事他	687,401	
R2	ライフル射撃場エアコン設置	829	
R2	舗装工事	84,271	
R6	ライフル棟弾回収器修繕	810	
R6	ビームライフル室エアコン設置	1,430	
	（　合　計　）	873,805	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	797	820	820	
運用コスト	1,521	1,582	1,436	
修繕コスト	81	49	3,137	
その他				
(合計)	2,399	2,451	5,393	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	546	542	557	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,127	1,210	1,168	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（田沢湖スポーツセンター）

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スポーツセンター	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,421.73 ㎡	建設年	H18
構造･階数	鉄骨造・3階	台帳価格	628,935,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・体育館、サッカー・ラグビー・陸上競技場等を併設し、県外からも合宿を受け入れている施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・熱中症対策として、体育館及び宿泊棟に空調（冷房）設備の設置を検討する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・経年劣化による腐食が進んでいる浴室壁や給水設備の修繕・交換
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

田沢湖スポーツセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	浴室壁等改修	8,494	
R4	事務室・食堂系統空調設備改修工事	57,830	基本･実施設計含む
R4	自動給水装置	2,232	
R4	電気給湯器更新	1,405	
R4	宿泊棟等ＬＥＤ化修繕	30,496	
R5	体育館等ＬＥＤ化修繕	29,795	
R6	客室雨漏り修繕	8,000	
R6	宿泊棟空調設備更新	50,820	
R7	体育館屋根・外壁改修	55,700	
R7	宿泊棟外壁改修	46,900	
	（　合　計　）	291,672	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,571	1,905	2,315	
運用コスト	18,200	17,477	15,463	
修繕コスト	1,883	2,491	2,035	
その他			91,022	27陸上競技場ﾄｲﾚ整備 13,262 27ジャッジハウス整備 77,760
(合計)	22,654	21,873	110,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	48,713	45,342	48,391	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	38,700	36,591	39,313	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（スポーツ科学センター）

1 施設の概要

施設名称	スポーツ科学センター	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	6,506.79 ㎡	建設年	S54
構造･階数	鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	台帳価格	339,383,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

・秋田県スポーツ推進計画に基づき、スポーツ指導者の養成並びにスポーツに関する研修及び医科学的研究を行うことによりスポーツの普及振興及び競技力向上を図る重要な施設と位置付けている。
・今後、体育館との複合化（従）を検討する。

※ 集約・複合化の検討について

・今後、体育館との複合化（従）を検討する

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能年数を目標使用年数とした。
・複合化（従）となった場合の建物の扱いについては、今後検討する。
・目標使用年数経過までは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・熱中症対策として、各階運動場に空調（冷房）設備の設置を検討する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

スポーツ科学センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	吊り天井改修	41,366	
H31	地下雑排水設備更新	2,145	
R4	避難器具更新	1,000	
R6	耐震改修	4,672	
	（　合　計　）	49,183	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,139	4,239	4,101	
運用コスト	7,713	7,650	6,875	
修繕コスト	1,754	1,695	199,580	27大規模機械設備改修 198,337
その他			31,500	27太陽光発電設置 31,500
（合計）	13,606	13,584	242,056	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,336	7,046	7,222	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	54,084	54,008	52,628	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（能代山本スポーツリゾートセンター）

1 施設の概要

施設名称	能代山本スポーツリゾートセンター	所在地	能代市落合字下台
施設面積	9,013.70　㎡	建設年	H7
構造･階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,184,477,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・各種スポーツ大会を開催しているほか、スポーツ合宿を受け入れており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。
・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっても建替えを実施しない。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・能代山本広域市町村圏組合に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっても建替を実施しない。

4　管理上の課題等

・プール設備について大規模修繕が必要である。
・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・熱中症対策として、アリーナに空調（冷房）設備の設置を検討する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・経年劣化のため効率が低下しているプール濾過装置の濾材交換及びポンプの修繕
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

能代山本スポーツリゾートセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	自家発電用蓄電池交換	1,600	
R4	プール用熱交換器修繕	5,940	
R4	直流電源装置修繕	4,572	
R5	屋根・外壁防水工事実施設計	6,495	
R5	自動力率盤更新	8,110	
R6	プールろ過装置改修	18,700	
R6	プール集毛器更新	5,500	
R6	自動制御機器更新	6,600	
R6	屋根・外壁防水工事	510,070	
R6	アリーナ空調設備新設工事	123,200	
R7	アリーナ照明LED改修工事	45,196	
R7	アリーナ床材補修	14,281	
	（　合　計　）	750,264	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,867	9,963	10,196	
運用コスト	45,823	51,424	44,958	
修繕コスト	4,880	4,755	7,140	
その他				
(合計)	57,570	66,142	62,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	139,074	147,840	145,315	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179,355	201,058	206,779	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（大館地区多目的ドーム）

1 施設の概要

施設名称	大館地区多目的ドーム	所在地	大館市上代野字稲荷台
施設面積	23,515.39　㎡	建設年	H9
構造･階数	ＲＣ造（一部木造）・2階	台帳価格	3,566,613,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。
・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっても建替えを実施しない。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・大館市に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっても建替を実施しない。

4　管理上の課題等

・膜屋根及び電気設備について大規模修繕が必要である。
・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・経年劣化により不作動の恐れがある電気設備の交換・修繕
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大館地区多目的ドームに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	8,892	
H30	発電機修繕	14,600	
H30	照明灯設備改修	25,165	
H30	ボイラー内水管群交換修繕	10,411	
H31	膜屋根修繕	27,573	
H31	電光掲示板システム改修	13,179	
R4	膜屋根修繕	6,708	
R4	多目的室天井修繕	3,093	
R4	膜屋根点検用フック交換修繕	17,335	
R5	自動火災報知設備改修工事実施設計	1,626	
R6	電波障害設備撤去	12,000	
R6	自動火災報知設備改修工事	26,323	
	（　合　計　）	166,905	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	10,844	12,637	12,643	
運用コスト	28,726	31,153	26,237	
修繕コスト	16,283	14,627	38,730	H25年　雑用水設備更新（12,303円） H27年　中央監視装置更新（17,167円） H27年　外部柱修繕（11,069円）
その他				
（合計）	55,853	58,417	77,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	18,103	31,284	23,356	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,315	296,427	298,810	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（向浜運動広場）

1 施設の概要

施設名称	向浜運動広場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	544.29　㎡	建設年	S55
構造･階数	鉄骨造・2階	台帳価格	14,902,003　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・テニスコートは、野球場及びスケート場とともに、向浜総合スポーツゾーンを形成する施設であり、対象となるテニスコート倉庫兼観客席は、住民が主体的に参加できる地域スポーツ施設を維持する施設と位置付けている。
・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、今後は必要最小限の修繕を行い、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
・利用者等の安全確保を第一に考え、必要最小限の修繕を行い、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4　管理上の課題等

・経年劣化により土質の悪化しているクレーコートの改修を検討する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

向浜運動広場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	駐車場補修	11,373	
R5	４面球場ナイター照明ＬＥＤ化実施設計	2,601	
R6	４面球場ナイター照明ＬＥＤ化工事	399,300	
R6	テニスコート電気設備キュービクル改修	17,160	
R6	テニスコートフェンス復旧	17,479	
	（　合　計　）	447,913	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	113	112	54	
運用コスト	72	83	81	電気料金は野球場に含む
修繕コスト	50	73	80	
その他				
(合計)	235	268	215	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,917	3,231	3,423	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	37,254	36,710	39,081	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（新屋運動広場）

1 施設の概要

施設名称	新屋運動広場	所在地	秋田市豊岩石田坂字館野
施設面積	259.50 ㎡	建設年	H元
構造･階数	鉄骨造・2階	台帳価格	4,416,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県内トップスポーツチームの練習場として使用されているほか、子供から高齢者まで生涯スポーツの拠点として重要な施設と位置付けている。
・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・球切れ及び生産が終了している既存照明設備（水銀灯）の改修が必要である。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

新屋運動広場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	3,084	
H31	トイレ洋式改修	583	
H31	監視塔及び物置撤去・新設工事　設計業務	1,154	
R2	浄化槽制御装置修繕	4,291	
R4	監視塔及び物置撤去・新設工事	16,682	設計監理含む
R4	屋根防水塗装修繕	1,439	
R4	空調設備改修	4,760	
R5	投光器ＬＥＤ改修工事実施設計	2,601	
R6	温水器改修	1,276	
R6	投光器ＬＥＤ改修工事	187,660	
	（　合　計　）	223,530	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	405	417	417	
運用コスト	4,418	3,262	2,956	
修繕コスト	892	1,711	95	
その他				
（合計）	5,715	5,390	3,468	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	837	627	688	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,711	17,143	18,749	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（野球場）

1 施設の概要

施設名称	野球場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	5,666.51　㎡	建設年	H15
構造･階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	2,919,148,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」
・県内で唯一プロ野球開催可能なナイター照明設備を有しているほか、県内おける主要な大会を開催しており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
・建物については、平成29年度に観客席膜屋根鉄骨改修、付属設備についても同年度にナイター照明塔及びグラウンド改修実施予定。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4　管理上の課題等

・潮風の影響により金属部分は通常より早く錆・腐食が生じるためきめ細かな点検が必要である。
・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

野球場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	膜屋根改修、照明改修及びグラウンド改修等	1,153,438	
H30	自動火災報知設備更新	909	
R4	エレベーター改修	14,932	
R4	ヒートポンプエアコン改修工事	38,815	実施設計含む
R4	ガス管及び給湯器等修繕	1,735	
R4	ＥＸＰ．ジョイントカバー修繕	1,639	
R5	内野スタンド防水改修工事実施設計	3,545	
R6	内野スタンド防水改修工事	771,100	
R6	新井戸設置工事	15,293	
R6	電話設備修繕	1,925	
R6	消防設備改修	1,860	
R7	ＩＴＶカメラ設備更新	11,435	
R7	スコアボード更新	328,570	
	（　合　計　）	2,345,196	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,077	2,781	2,577	
運用コスト	16,026	16,765	16,613	
修繕コスト	16,159	1,689	12,120	25スピーカー更新 15,645 27ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ設備更新 10,768
その他				
(合計)	35,262	21,235	31,310	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	9,124	9,125	9,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	132,939	151,479	132,831	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（鹿角トレーニングセンター）

1 施設の概要

施設名称	鹿角トレーニングセンター	所在地	鹿角市花輪字百合沢
施設面積	6,910.88　㎡	建設年	H7
構造･階数	鉄筋コンクリート造・地上4階	台帳価格	1,360,893,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。
・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっても建替えを実施しない。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・なし

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・鹿角市に対し意向調査を実施している。今後は付属構築物であるジャンプ台等含め、譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっても建替を実施しない。

4　管理上の課題等

・建物と一体で管理している構築物（ジャンプ台）について改修が必要である。
・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・設置後25年が経過した既存空調設備（宿泊棟暖冷房）の改修が必要である。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
・基礎の亀裂が生じているジャンプ台の改修
・経年劣化によるジャンプ台滑走路の更新
・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

鹿角トレーニングセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	吊り天井改修工事	36,475	
H31	ジャンプ台滑走路改修工事　設計業務	6,812	
H31	屋根防水改修工事　設計業務	1,010	
R2	ジャンプ台滑走路改修工事	240,130	
R2	選手控え室改修工事　設計業務	9,761	
R2	屋根防水改修	23,858	
R3	選手控え室改修工事	119,002	
R6	宿泊棟冷暖房設備改修	325,548	
R6	キュービクル改修工事	33,696	
R6	エレベータ修繕	13,176	
R7	ジャンプ台電算システム改修	21,466	
R7	ジャンプ台スロープカーレール更新	43,059	
	（　合　計　）	873,993	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,731	21,104	21,104	
運用コスト	33,154	30,900	26,987	
修繕コスト	5,604	3,161	23,858	27屋根雪害復旧　13,824
その他				
(合計)	60,489	55,165	71,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	45,698	53,984	58,279	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,867	71,685	146,597	

【個別票】

更新日:R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（総合食品研究センター）

1 施設の概要

施設名称	総合食品研究センター	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	7,570.64　㎡	建設年	H7
構造･階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,015,962,001　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・当該施設は目標使用年数60年の想定建物であり、21年目の平成28年に以下の大規模修繕を実施した。すなわち、設備では冷暖房設備、受変電設備、照明LED化、電話交換機、警備システムの更新および相談機能と研究機能の再編に伴う建物レイアウト変更である。
・平成29年度はクーリングタワー（熱交換ユニット）を更新し、平成30年度についても冷凍庫、冷蔵庫、恒温室などプレハブ式温度調節施設機器を更新した。今後少なくとも20年程度は設備関係については大規模な修繕を行う必要なく運営できると考えられる。

※　集約・複合化の検討について

・すでに平成28年度から30年度において大規模修繕を実施し、研究機関としての機能を果せることから集約等については検討しない。

※　公民連携の検討について

・県内食品事業者への技術支援や食品関係試験研究を設置目的としており、指定管理者制度やアウトソーシングについてはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・建物、施設の譲渡（一部を含む）の対象ではない。

※　市町村協働の検討について

・市町村協働の対象となる機能は存在しない。

3　目標使用年数　　【　目標使用年数60年　】

・当該施設は、目標使用年数60年を想定する建物であり長寿命化対策の適宜実施により今後40年以上は使用できると考えている。

4　管理上の課題等

・扉腐食や建物シール類劣化が進行しているため駆体に影響を及ぼす前に計画的な修繕を実施していく必要がある。
・非常放送設備など耐用年数を経過した設備の更新が遅れているため優先順位の高いものから計画的に更新していく必要がある。

5　管理に関する実施方針

・平成28年度の大規模修繕によりセンター主要部については、ほぼ機能更新を実施した。
・29年度以降もプレハブ式冷凍冷蔵施設（熱交換ユニット含む）とドラフトチャンバー（実験用局所排気装置）の更新を実施し、今後20年以上大規模修繕を行わずともセンターの機能は維持できるものと判断している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

総合食品研究センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新	24,933	
H30	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新等	84,552	
R4	ガス漏れ警報器の更新	1,518	
R6	整流器盤の更新	15,851	
R6	非常放送設備の更新	4,213	
R7	給水設備・給湯設備・特殊排水処理施設の修繕	17,317	
R7	鋼製建具・シャッター取替	11,011	
	（　合　計　）	131,067	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,607	16,844	16,990	
運用コスト	24,532	25,604	23,981	
修繕コスト	4,038	5,976	5,258	
その他	132	175	273	
(合計)	45,309	48,599	46,502	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,873	1,365	21	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,942	1,686	1,524	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（あきた芸術劇場）

1 施設の概要

施設名称	あきた芸術劇場（ミルハス）	所在地	秋田市千秋明徳町
施設面積	13,026.00　㎡	建設年	令和４年
構造･階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上6階地下１階	台帳価格	7,687,158,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果		
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

・人口減少を見据えた施設の集約化や財政面での負担軽減などから、県と市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館それぞれの機能を継承する文化施設を整備した。

※　集約・複合化の検討について

・県と市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館を一つに集約化を実施した。

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済
・文化施設における運営組織について、運営管理計画で方針を定めている。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・県・市協働プロジェクトとして、令和４年６月に開館し、運営管理も共同で行うこととしている。

3　目標使用年数　　【目標使用年数50年】

・建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

・建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

5　管理に関する実施方針

・建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

6　管理に関する実施計画

あきた芸術劇場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（あきた芸術劇場整備事業　※秋田県民会館と秋田市文化会館の集約）		
H29	基本設計等	232,308	
H30	解体費、実施設計費等	1,818,726	補償費等含む
H31～R4	建設費等	21,166,327	
	（　合　計　）	23,217,361	県及び秋田市の負担合計額

（参考：県民会館維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,404	4,519	4,595	
運用コスト	24,371	23,491	22,483	
修繕コスト	2,975	5,507	1,904	
その他	0	0	0	
（合計）	31,750	33,517	28,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	51,871	55,803	52,236	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	276,066	290,410	281,094	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（総合生活文化会館）

1 施設の概要

施設名称	総合生活文化会館（アトリオン）	所在地	秋田市中通
施設面積	13,375.15　㎡	建設年	H元
構造･階数	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造・地上12階地下3階	台帳価格	1,387,061,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・国内でも最高水準の音響条件を備えた音楽ホールを有し、芸術文化や観光スポットとして県民に親しまれているほか、地域の産業・生活・文化に渡り広く活動が行われる複合的機能を持つ拠点施設であるため、存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成29年度に共用部の長期修繕計画（10年間）を策定したうえで、計画的な改修・更新し、施設を維持する。

4　管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を経過しているため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5　管理に関する実施方針

・施設利用者の安全を確保するとともに、資産を保全するため修繕工事等を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

総合生活文化会館（アトリオン・共用部）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自家発電設備等改修	45,083	
30	空調機自動制御設備修繕 等	31,676	
31	エレベーター改修　等	48,084	
R2	エレベーター改修　等	46,895	
R2	天井改修工事設計	12,487	営繕課対応
R3	受変電設備改修、エレベーター改修　等	65,950	
R4	外壁修繕、受変電設備改修、直流電源設備改修　等	100,014	天井改修35,234千円含む
R5	受変電設備改修、エレベーター改修　等	179,554	天井改修105,644千円含む
R6	受変電設備改修　等	55,306	
R7	エスカレーター改修　等	68,820	
	（　合　計　）	653,869	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,925	64,202	64,226	
運用コスト	54,962	61,263	57,203	
修繕コスト	51,474	63,341	68,553	25熱源改修 30,499 26熱源改修 41,544 27熱源改修 45,850
その他	0	0	0	
(合計)	155,361	188,806	189,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	43,161	43,469	43,996	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,275	332,725	276,228	

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（地域振興局福祉環境部）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北秋田地域振興局大館福祉環境部	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	山本地域振興局福祉環境部	能代市	存続	大規模修繕を実施
4	秋田地域振興局福祉環境部	潟上市	存続	大規模修繕を実施
5	由利地域振興局福祉環境部	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
6	仙北地域振興局福祉環境部	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	平鹿地域振興局福祉環境部	横手市	存続	大規模修繕を実施
8	雄勝地域振興局福祉環境部	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

大規模修繕の実施等により長寿命化を図りながら存続。
基本的に、屋根の崩落、外壁等の落下などの危険性がある老朽・損壊箇所を、優先して修繕対応する。
各福祉環境部とも、空調機器のメーカー部品供給が終了、又は終了が迫っている状態のため、速やかに更新をしていく。
一部の福祉環境部では、耐震改修工事の実施や非常用発電機の更新が必要とされており、災害時に保健所機能を維持する上で早急な対応が必要である。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	北秋田地域振興局大館福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局大館福祉環境部	所在地	大館市十二所字平内新田
施設面積	1,810.04　㎡	建設年	Ｈ１３
構造･階数	鉄筋コンクリート造・平家	台帳価格	302,379,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

現在は、民間譲渡等の予定も無く、税法上の鉄筋コンクリート造の耐用年数である５０年を超えるまで、適宜修繕を行いながら使用する。

4　管理上の課題等

・外壁のコーキング剥がれ修理、屋上排水管詰まり
・外壁、窓枠、窓一体型網戸の補修
・備蓄用倉庫への改修
・正面玄関前点字ブロックの修繕
・自動ドア挟まれ防止機構、正面入口ダウンライトの修繕

5　管理に関する実施方針

・庁舎の劣化が進んでいる中、来庁者の利便性・安全性の確保に関する部分を優先して修繕を実施していく。

6　管理に関する実施計画

大館福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R３	自動ドア挟まれ防止機構の修繕	41	
R6	網戸修繕	1,595	
〃	備蓄用倉庫への改修	2,759	
〃	正面入口ダウンライト修繕	93	
〃	点字ブロック修繕	111	
	（　合　計　）	4,599	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,171	2,265	2,276	
運用コスト	2,371	2,172	1,731	
修繕コスト	1,808	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	6,350	4,437	4,007	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	1,023.57　㎡	建設年	Ｓ４６（Ｈ１４改修増築）
構造･階数	鉄筋コンクリート造２階建	台帳価格	137,571,003　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・昭和４６年建築部分については、令和３年に耐用年数が到来するが、長寿命化を図りながら使用する。

4　管理上の課題等

・障害者用スロープのロードヒーティングが故障しており、修繕が必要である。
・事務室のタイルカーペットが、竣工以来一度も手当されておらず、相当数の剥離とともに汚れが目立ち不衛生であるため、張り替え等が必要である。

5　管理に関する実施方針

・障害者用スロープの北側半分が故障により通電しない。積雪寒冷地のため、冬期間は車椅子利用者の来庁に支障を来しており、早急に修繕等対応しなければならない。
・タイルカーペットの貼り替え等の対応が必要である。
・庁舎外壁に設置されている配水管の一部が腐食しており、スロープ利用者に排水が飛び散るため修繕が必要。

6　管理に関する実施計画

鷹巣阿仁福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	耐震診断等	4,546	
R2	空調設備更新	77,021	
〃	耐震改修工事	13,192	
R6	障害者用スロープ	4,488	北側半分の融雪装置が故障
〃	タイルカーペット貼り替え	1,912	R4見積
〃	ルーフドレン配管修繕	156	R4見積
	（　合　計　）	101,315	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,886	1,436	1,569	
運用コスト	1,177	1,051	964	
修繕コスト	1,855	286	350	
その他				
(合計)	4,918	2,773	2,883	

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	山本地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局福祉環境部	所在地	能代市御指南町
施設面積	998.87 ㎡	建設年	S44
構造･階数	鉄筋コンクリート造・２階	台帳価格	142,796,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ｉ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・鉄筋コンクリート事務所の耐用年数５０年を経過後も使用する。

4　管理上の課題等

・冷暖房設備（ＫＨＰ）について製造メーカーの事業撤退及び耐用年数超過のため、更新の必要がある。

5　管理に関する実施方針

・冷暖房設備更新工事：修繕不能となることから更新が必要
・事務室カーペット貼替：カーペットタイルの剥離が散見されており、危険なため修繕が必要
・ＬＥＤ照明更新工事：ＬＥＤ蛍光管は交換できるものが既に製造されておらず、点灯しなくなったものを交換できない状態であることから、早期に照明設備自体の更新が必要。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

山本福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	耐震改修工事	56,913	
R5	事務室カーペット貼替え	1,540	
R5	空調設備改修（設計）	2,370	令和５年度当初予算計上（営繕課）
R6	空調設備改修工事		
R6	事務室内照明設備更新		未見積
	（　合　計　）	60,823	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,601	1,539	1,491	
運用コスト	768	724	561	電気料は庁舎に計上されているため除く。
修繕コスト				
その他				
（合計）	2,369	2,263	2,052	

【収入】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	秋田地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	秋田地域振興局福祉環境部	所在地	潟上市昭和乱橋字古開
施設面積	2,282.07 ㎡	建設年	H10
構造･階数	ＲＣ造平屋建	台帳価格	300,189,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、今後の施設維持と移転に係るコスト等の比較結果によっては移転を検討するが、その場合であっても、男鹿・南秋地域の住民の利便性に配慮した場所とする必要がある。加えて、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・来庁者等の安全確保のため、設備等を計画的に更新・改修しつつ、適宜修繕しながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・窓枠、外壁など、劣化が著しい箇所が多数ある。
・空調設備の効率が悪く、執務環境に影響が出ている。
・建設時から発生した地盤沈下の影響により、随所に陥没やひび割れがあるため、耐久性の診断が必要と思われる。

5　管理に関する実施方針

・全体的に劣化が著しい状態だが、来庁者の安全に関わる部分や職員の執務に影響が大きい部分を優先的に修繕していく。

6　管理に関する実施計画

秋田福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	玄関アプローチ屋根修繕	9,238	
H30	電話設備更新	5,892	
R1	事務室雨漏り修繕	529	
R4	非常用自家発電機更新	16,741	
R5	冷温水発生機更新	1,700	設計分
R6	冷温水発生機更新	85,586	
R6	庁舎建築改修(外壁他)	32,813	
	（　合　計　）	152,499	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,334	2,391	2,396	
運用コスト	3,503	3,278	3,043	
修繕コスト	9,505	1,652	627	
その他				
(合計)	15,342	7,321	6,066	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	由利地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局福祉環境部	所在地	由利本荘市水林
施設面積	1,237.15　㎡	建設年	Ｓ６０
構造･階数	鉄筋コンクリート２階	台帳価格	121,754,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建物の損傷・劣化等から、大規模修繕を実施する。

4　管理上の課題等

・外壁の損壊箇所（外壁コンクリートの落下など）の確認と必要な修繕
・玄関自動ドアの取替
・庁舎内のバリアフリー化
　障害者の２階への運搬機器（いす式階段昇降機、エレベータ）の設置
　事務室入り口の自動化、トイレの段差解消　　等

5　管理に関する実施方針

部品の供給・交換が困難な次については、早期の修繕（交換）が必要である。
・玄関自動ドア
上記以外については、状況に応じて検討していく。

6　管理に関する実施計画

由利福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,931	2,040	2,049	
運用コスト	1,675	1,298	1,265	
修繕コスト	237	10	369	
その他				
(合計)	3,843	3,348	3,683	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

6	施設名	仙北地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局福祉環境部	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	1,145.47　㎡	建設年	S45（増築改修H14）
構造･階数	鉄筋コンクリート２階建て	台帳価格	151,553,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・来庁者等の安全確保のため、設備等を計画的に更新・改修しつつ、適宜修繕しながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・保健所建物の軒天において、塗装部分が剥がれ、落下の恐れがあるため、修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

仙北福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	耐震改修工事（実施設計）	2,690	
R3	耐震改修工事	25,300	R2補正繰越
R3	空調設備更新工事（実施設計）	2,352	
R4	空調設備更新工事	60,679	
R6	パラペット改修工事	6,820	
	（　合　計　）	97,841	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,724	1,759	1,781	
運用コスト	2,339	2,319	2,086	
修繕コスト	642	52	685	
その他				
（合計）	4,705	4,130	4,552	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

7	施設名	平鹿地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局福祉環境部	所在地	横手市旭川
施設面積	1,590.01 ㎡	建設年	S45（H15増築）
構造･階数	鉄筋コンクリート造・２階	台帳価格	262,230,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

目標使用年数は、増築前の施設の耐用年数とした。

4　管理上の課題等

・耐震診断の結果、耐震強度が不足しているため、耐震改修工事を実施する必要がある。
・執務室の照度が不足しているため、早期に照明機器を改修する必要がある。

5　管理に関する実施方針

・耐震改修工事を実施する。
・執務室内の照度が不足しているため、早期に照明機器を改修する。

6　管理に関する実施計画

平鹿福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	耐震診断等	4,781	
R2	冷暖房設備改修等	129,085	
R3	耐震改修工事	35,615	
R4	福祉環境部非常灯更新工事	2,530	
R6	福祉環境部照明器具修繕	1,242	応急的に落下防止カバーを撤去したことにより、照度基準に達した状態にある。
	（　合　計　）	173,253	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,792	1,641	1,727	
運用コスト	612	608	470	
修繕コスト	1,855	202	49	照明器具修繕(H25)
その他	0	0	0	
(合計)	4,259	2,451	2,246	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

8	施設名	雄勝地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局福祉環境部	所在地	湯沢市千石町
施設面積	996.90 ㎡	建設年	Ｈ１４
構造･階数	鉄筋コンクリート造・２階	台帳価格	194,271,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。
なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建物（鉄筋コンクリート造）の耐用年数に基づき目標使用年数を決定した。

4　管理上の課題等

・冷暖房機器は耐用年数を大幅超過。室内外機は生産終了し、部品等の製造も行われていない。経年劣化等による事故、損壊などの不測の事態に備え、早期に更新を行う必要がある。
・外壁劣化に伴う塗装剥離が複数箇所あり、その範囲も年々拡大している。躯体保護のため早期に修繕を行う必要がある。
・防水シートの劣化により玄関屋根に雨漏りが生じており、年々補修箇所が拡大している。屋根腐食防止のためにも早期に修繕を行う必要がある。

5　管理に関する実施方針

・冷暖房機器（灯油式ヒートポンプエアコン）について、早期に更新を検討する。
・建物外壁は雨水浸透により、年々剥離範囲が拡がっていることから、修繕を検討する。
・躯体保護のための外壁塗装の周期は１５年、屋根防水の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

雄勝福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修	58,290	
R6	東側外壁塗装修繕	2,178	
R6	玄関ポーチ屋根防水修繕	1,034	
	（　合　計　）	61,502	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	1,248	1,246	
運用コスト	1,650	1,400	1,150	
修繕コスト	1,070	708	502	
その他	－	－	－	
（合計）	3,960	3,356	2,898	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（社会福祉会館）

1 施設の概要

施設名称	社会福祉会館	所在地	秋田市旭北栄町
施設面積	12,909.98 ㎡	建設年	S61
構造･階数	鉄筋コンクリート造地上10階、地下1階 ※一部3階建（心身障害者総合福祉センター部分）	台帳価格	1,298,701,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県条例に基づき設置された施設であり、社会福祉推進の拠点として、県民福祉の向上に関わる社会福祉団体等に利用されている。心身障害者総合福祉センターとしての機能については、民間での類似サービス施設はないことから、県が設置すべき施設である。

なお、施設・設備については、構造体は強固で、安全性もほぼ問題ないが、平成28年6月で建設から30年が経過し、設備の老朽化による不具合の箇所が多数発生している。前回の大規模修繕（平成20年）から10年近く経過し、法令上必要な措置を講じなければならない部分もあることから、大規模修繕が必要となっている。

※ 集約・複合化の検討について

当該施設は、社会福祉団体及び社会奉仕活動を行う者等に対する支援をはじめ、会館の一部として、障害者のための相談や事業などを行う県心身障害者総合福祉センターの機能も持ち合わせていることもあり、現時点では他の施設との集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

施設設置の趣旨に鑑み、現時点では民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県全体の社会福祉を推進する団体の活動拠点や、他に類似施設のない心身障害者総合福祉センターとして、県が管理運営すべき施設であるため、現時点では市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

社会福祉推進の拠点及び心身障害者総合福祉センターとして県民に必要な施設であることから、予防保全型管理を行いながら、耐用年数まで現施設を使用する。

目標使用年数経過後は、建替等が必要となる。

4　管理上の課題等

設備の老朽化が進み、前回の大規模修繕（平成20年）から10年近く経過し、法令上必要な措置を講じなければならない部分もあることから、平成28年度に施設設備の劣化度診断調査を実施した結果、次の課題が明確となっている。

○ 建築後30年が経過し、これまで修繕されていない不具合が生じている箇所の修繕や、更新等が必要な設備等が多数ある。
○ 施設を安全に利用するためには、使用年限までの間、費用及び老朽化・不具合の状況等を考慮しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。

5　管理に関する実施方針

平成28年度に実施した劣化度診断調査結果をもとに、劣化状況及び法令上必要な年限の措置等を考慮して作成された保全計画に基づき、来館者及び入居団体が安全に利用できるよう、修繕を計画的に実施する。

○建築関係
雨漏りに対する防水工事、経年劣化による外壁・サッシ等の破損等の不具合箇所を修繕する外装及び内装工事を実施する。

○電気設備
更新年数を経過した設備の更新や電源装置のバッテリーの交換等を実施する。

○機械設備
腐食や故障している冷温水関係の配管とその機械設備、給水管の更新等を実施する。

6　管理に関する実施計画

社会福祉会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋上・トップライト防水	30,939	
H30	空調設備設計、天井改修工事	55,665	
R1	空調設備改修工事、冷温水配管設計等	32,525	
R2	冷温水配管改修工事等	100,382	
	外壁修繕工事	24,844	
R3	昇降機、ナースコール修繕工事	57,133	
	外壁修繕工事	125,977	
R4	昇降機修繕工事	32,374	
	カーテンウォール改修工事設計	3,116	
	空調設備改修工事設計	2,100	
R5	カーテンウォール改修工事	89,876	
	空調設備改修工事	127,027	
	空調機、中央監視装置・末端伝送装置更新工事設計	2,050	
	（　合　計　）	684,008	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,179	24,361	23,977	
運用コスト	26,550	25,059	21,948	
修繕コスト	1,005	3,330	7,303	
その他	0	0	0	
（合計）	51,734	52,749	53,228	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,752	10,994	11,615	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	48,040	46,383	54,096	※有料会議室利用人数のみ

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（福祉相談センター）

1 施設の概要

施設名称	福祉相談センター		所在地	秋田市中通	
施設面積	1,016.53	㎡	建設年	Ｈ１７	
構造･階数	ＳＲＣ造　地上８階（１階の一部）		台帳価格	142,263,000	円

※「施設面積」及び「台帳価格」には、秋田市新屋にある車庫分を含む。

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	他の用途への転換を実施

「基本的な方針の考え方」

当センターは公共性の極めて高い相談機関であり、存続とする。
しかし、相談業務の拡充に伴い執務室が手狭となったことに加え、相談者用の駐車場の確保が困難である上、相談内容が女性相談と重複するなど専門分野を跨ぐものが多いため、老朽化が進んだ中央児童相談所及び母子福祉総合センター（女性相談所）の改築による複合化施設に、当センター及び併設する精神保健福祉センターを併せ、４施設の複合化による新たな総合福祉相談施設を整備する。
中央児童相談所と女性相談所が児童虐待防止や一時保護者の生活環境改善等のために早急な改築を要することから、他の県有施設に優先して新施設の整備を行う。
移転後のスペースについては、移転後の令和５年度を目処に、他の用途への転換を検討する。

※　集約・複合化の検討について

中央児童相談所及び女性相談所との複合化について、施設管理の効率化だけではなく、相談業務のワンストップ化や研修・企画部門の機能強化、心理司等専門職員の充実など、県民サービスの向上に向けた検討を行う。令和５年４月施設統合。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

当センターの機能は令和４年度中を目途に整備する新たな複合化相談施設に移転するが、センターが入居する明徳館ビルについては、今後、所管する教育庁において、計画的に設備等の修繕を実施していく。

4　管理上の課題等

当センターが入居する建物は、老朽化は進んでいないものの、精神保健福祉センターとの併設（Ｈ２０）や補聴器相談事業の開始（Ｈ２７）等により事務スペースが手狭となっている。
立体駐車場の高さ制限のため、高さ１．５m以上の車（軽のワンボックス等）が駐車できないが、障害者は大きな車に乗っていることが多いことから、利用者に不便を強いている。
移転後のスペースについては、他部局とも協議の上、新たな活用を検討する。

5　管理に関する実施方針

所管する教育庁において、計画的に設備等の修繕を実施。

6　管理に関する実施計画

福祉相談センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	建替に係る基本設計等	3,638	現建物床面積計の19.81%
R2	〃　実施設計等	9,573	〃
R3	本体工事、設備工事等	333,191	〃
R4			
	（　合　計　）	346,401	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	明徳館高校負担
運用コスト	1,061	1,575	1,474	センター負担分
修繕コスト	0	0	0	明徳館高校負担
その他	0	0	0	明徳館高校負担
（合計）	1,061	1,575	1,474	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	5,761	補聴器相談事業診療報酬

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,078	955	1,409	来所者人数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（総合保健センター）

1 施設の概要

施設名称	総合保健センター	所在地	秋田市千秋久保田町
施設面積	9,493.79　㎡	建設年	S61
構造･階数	ＲＣ造・地上5階、地下1階	台帳価格	916,018,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

現時点で構造体に大きな問題はないが、老朽化に対応し、大規模修繕が必要である。当施設は県民に対する人間ドック提供や、医療関係団体が入居しており、県民の健康保持増進のため利便性の高い施設として今後も活用していく必要がある。

※　集約・複合化の検討について

・集約・複合化は予定していない。

※　公民連携の検討について

・平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・生活習慣病による死亡率が高止まりしている本県において、人間ドックによる疾病の早期発見は重要であり、引き続き健診の受診環境の提供が必要である。人間ドックを提供できる組織は限られており譲渡は検討していない。

※　市町村協働の検討について

・市町村協働は現時点で検討していない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・施設及び設備の修繕（外壁タイル修繕等）を行い、今後20年以上は使用する。目標使用年数経過後の取扱いについては、更新を前提に検討していく。

4　管理上の課題等

・設備等の老朽化が著しいため、今後も計画的な改修・更新が必要である。

5　管理に関する実施方針

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

総合保健センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	外壁改修（実施設計）	1,604	健康環境センター含む
4	外壁改修	108,278	健康環境センター含む
6	煙突内アスベスト除去工事	45,100	健康環境センター含む
6	放送設備更新	10,538	
7	直流電源蓄電池更新	5,390	
7	高圧受電盤他機器更新	14,520	
	（　合　計　）	185,430	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
保守コスト	27,195	27,490	29,105	
運用コスト	21,668	21,735	23,200	
修繕コスト	1,204	1,089	902	
その他				
（合計）	50,067	50,314	53,207	

（単位：千円）

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	285,202	286,807	300,811	

（単位：人）

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	5,850	5,889	6,134	総合健診受診者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（中央児童相談所）

1 施設の概要

施設名称	中央児童相談所		所在地	秋田市新屋下川原町	
施設面積	1,404.99	㎡	建設年	Ｓ４８	
構造･階数	鉄骨・一部２階		台帳価格	52,823,003	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

当相談所は、老朽化が進んでいる上、一時保護室が個室化に対応していないこと等により個別対応が必要な児童の処遇に困難を来している。また、児童虐待に対応する国の方針により、今後児童福祉司等を増員していかなければならないが、執務室に余剰スペースがない。

さらに、近年増加の傾向にある面前ＤＶや発達障害に起因する児童虐待に迅速に対応する必要があることから、母子福祉総合センター（女性相談所）、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの一体的運用が有効であることから、これら４施設を複合化して新たな総合福祉相談施設を整備する。

令和５年４月１日から、秋田県子ども・女性・障害者相談センターに中央児童相談所を移転する。

※　集約・複合化の検討について

女性相談所、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの複合化について、施設管理の効率化だけではなく、相談業務のワンストップ化や研修・企画部門の機能強化、心理司等専門職員の充実のため令和５年４月から複合化施設に移転する。

※　公民連携の検討について

児童相談所業務は、状況に応じて強制的な措置や立ち入り等を行うものであることから、公民連携になじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

児童福祉法第１２条第１項により、都道府県に設置義務があることから、民間等への譲渡になじまない。

※　市町村協働の検討について

児童相談所の設置が可能な中核市（秋田市）の意向等を確認しながら、状況に応じて協働の可能性を検討する必要がある。

3 目標使用年数　【目標使用年数５０年】

令和５年４月に複合化施設に移設する。

4　管理上の課題等

建物の老朽化については、浄化槽の詰まり、配管からの水漏れ、壁の隙間からの風・害虫の進入等の不具合が顕著である。
平成２４年度に改正された児童保護施設に係る設備基準では、一時保護居室の面積は１人当たり４．９５㎡以上とされているが、現在の居室面積は１人当たり３．３㎡以上の旧基準となっている。（新設等までの間は、旧基準で運用可とされている）
一時保護施設において、混雑時には一時的に新基準の定員を上回る児童が入室する場合があり、特に、女児の居室が不足する場合がある。
虐待対応案件の増加や、里親委託を推進する中で、組織体制の強化も課題であるが、職員の執務スペースが狭隘になってきている。

5　管理に関する実施方針

令和５年４月の複合化施設への移転後の現有施設の取り壊し等の検討が必要

6　管理に関する実施計画

中央児童相談所に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷房設備更新	12,116	
R1	建替に係る基本設計等	9,205	現建物床面積計の50.12%
R2	〃　実施設計等	24,219	〃
R3 R4	本体工事、設備工事等	842,984	〃
	（　合　計　）	888,524	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,073	2,814	2,883	
運用コスト	4,677	4,893	3,914	
修繕コスト	1,184	526	2,099	
その他	48	74	113	
（合計）	8,982	8,307	9,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：件）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,241	2,357	2,478	相談受付件数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（千秋学園）

1 施設の概要

施設名称	千秋学園		所在地	秋田市新屋下川原町	
施設面積	2,962.98	㎡	建設年	Ｓ４９	
構造･階数	鉄骨・一部２階		台帳価格	90,005,013	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

施設の全体的な老朽化は進んでいるものの、当面の間は機能維持のための修繕で対応する。

※ 集約・複合化の検討について

現時点では検討しておらず、当面は施設の修繕等で対応予定である。建替をする場合、施設の複合化は、行政資源の効果的な活用を図る上で選択肢の一つではあるが、児童自立支援施設としての支援のあり方や、そのために必要な望ましい環境等を慎重に勘案し、検討する必要がある。

※ 公民連携の検討について

将来的な建替を見据え、公民連携手法の導入適否を検討している。不良行為をなし、又はなすおそれのある児童等が、児童相談所の措置、もしくは家庭裁判所からの送致を受けて入所する施設であることから、公民連携については慎重に検討を進めている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

検討していない。児童福祉法施行令第36条により都道府県に設置義務がある県内唯一の施設であることから、民間等への譲渡になじまない。

※ 市町村協働の検討について

検討していない。児童福祉法施行令第36条により都道府県に設置義務がある県内唯一の施設であることから、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

施設の全体的な老朽化は進んでおり、施設のあり方について早急な検討が必要になってきている。

4 管理上の課題等

施設全体の老朽化が進んでいる。また、個別指導を必要とする児童の処遇スペースがない。

5　管理に関する実施方針

施設のあり方に係る検討を進めながら、当面は機能維持のための修繕で対応。

6　管理に関する実施計画

千秋学園に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	高圧受電設備改修	28,830	
R6	自動ドア改修	2,310	
〃	車庫シャッター改修	691	
	（　合　計　）	31,831	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,987	3,056	3,152	
運用コスト	11,935	10,883	8,737	
修繕コスト	3,653	3,793	4,721	
その他	0	0	0	
(合計)	18,575	17,732	16,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6	9	11	新規入園者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（母子福祉総合センター）

1 施設の概要

施設名称	母子福祉総合センター		所在地	秋田市手形住吉町	
施設面積	894.46	㎡	建設年	Ｓ５２	
構造･階数	RC造・３階		台帳価格	48,231,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

当センターは、老朽化が進んでいる上、エレベーターが不備であるなどの事情から、一時保護者（２階）及び婦人保護施設入居者（３階）の生活に支障を来している。
さらに、近年増加の傾向にある面前ＤＶや発達障害に起因する児童虐待に迅速に対応するため、中央児童相談所、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの一体化が有効であることから、これら４施設を複合化して新たな総合福祉相談施設を整備する。
令和５年４月１日から、秋田県子ども・女性・障害者相談センターに移転する。

※　集約・複合化の検討について

中央児童相談所、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの複合化について、施設管理の効率化だけではなく、相談業務のワンストップ化や研修・企画部門の機能強化、心理司等専門職員の充実のため令和５年４月から複合化施設に移転する。

※　公民連携の検討について

現時点では検討していない。売春防止やＤＶ防止に関わる女性の保護等を行うものであることから、公民連携には慎重な検討が必要である。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現時点では検討していない。売春防止法第３４条第１項により都道府県に設置義務があり、県内に一施設のみであることから、民間等への譲渡にはなじまない。

※　市町村協働の検討について

現時点では検討していない。売春防止やＤＶ防止に関わる女性の保護等を行うものであることから、市町村有施設との複合化等については、慎重な検討が必要である。

3 目標使用年数　【目標使用年数５０年】

施設の老朽化が進んでおり、令和５年４月に、新複合化相談施設に移設する。

4　管理上の課題等

建物の老朽化については、全体的に壁のひび割れがあるほか、雨漏り、屋上（塔屋）の排水口の詰まりによる漏水がある。
一時保護者及び女性保護施設入居者の居住区は２階・３階であるが、洗面所、洗濯室や浴室などの水回り設備が１階にしかないため不便であることに加え、エレベーターがないことや施設内に段差が多いことから、高齢者や障害者の受入が困難となっている。

5　管理に関する実施方針

令和５年４月の複合化施設への移転後の現有施設の取り壊し等の検討が必要

6　管理に関する実施計画

母子福祉総合センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	建替に係る基本設計等	5,522	現建物床面積計の30.07%
R2	〃　　実施設計等	14,531	〃
R3	本体工事、設備工事等	505,757	〃
R4			
	（　合　計　）	525,810	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	978	984	
運用コスト	3,429	3,298	2,736	
修繕コスト	220	976	578	
その他	0	0	184	樹木剪定2件
(合計)	4,591	5,252	4,482	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：件）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,686	3,506	3,754	相談受付件数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（衛生看護学院）

1 施設の概要

施設名称	秋田県立衛生看護学院		所在地	横手市前郷	
施設面積	6,078.39	㎡	建設年	H20	
構造･階数	RC造・4階		台帳価格	721,655,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

必要不可欠な施設修繕・設備更新等により、県内医療界への看護人材輩出・定着を見据えた、質の高い教育環境を確保する。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数47年】

減価償却資産の耐用年数（学校：47年）を目標使用年数とした。
看護職員として社会に貢献する人材の育成を継続して行うため、耐用年数を目処に施設を建替え（更新）。

4 管理上の課題等

・建設時に導入した冷暖房空調機器の保守部品供給が令和2年11月をもって終了となっているため、更新が必要。

5　管理に関する実施方針

・冷暖房空調機器はＫＨＰ（灯油式ヒートポンプ）方式であるが、近年の灯油価格上昇や他方式の能力向上に伴う需要減少で、製造メーカーの事業撤退および生産終了に伴う保守部品供給期限の告知がなされていることから、他方式で最もトータルコストが低いＧＨＰ（ガス式ヒートポンプ）方式の冷暖房空調機器に更新する。

6　管理に関する実施計画

衛生看護学院に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	冷暖房空調機器更新	289,920	Ｒ６更新に向け検討中（未確定）
	（　合　計　）	289,920	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,516	6,937	6,627	FM基礎台帳より
運用コスト	8,090	7,956	6,312	FM基礎台帳より
修繕コスト	596	608	1,249	
その他	0	0	0	
(合計)	16,202	15,501	14,188	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	16,933	16,708	16,765	歳入決算より

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	168	166	170	FM基礎台帳より

【総括表】

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（老人福祉総合エリア）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北部老人福祉総合エリア	大館市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
2	中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
3	南部老人福祉総合エリア	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	能代山本老人福祉総合エリア	能代市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
5	南部老人福祉総合エリア（軽費老人ホーム）	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
6	南部老人福祉総合エリア（養護老人ホーム）	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

施設（設備）の劣化状況や利用者ニーズ等を踏まえ、緊急性や必要性の高いものを優先して修繕等を行う。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	北部老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	北部老人福祉総合エリア	所在地	大館市十二所字平内新田
施設面積	7,327.28 ㎡	建設年	Ｈ１１
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	1,609,808,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施

「基本的な方針の考え方」

民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

指定管理制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続していく。

4　管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・建築後２０年が経過する平成３１年度以降、設備の劣化や、部品調達ができなくなるため、各種設備の更新、改修が必要になる。
・建築後２５年が経過する令和６年度以降、屋根、内外装の劣化に伴う改修工事が必要になる。

6　管理に関する実施計画

北部老人福祉総合エリアに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	玄関・エントランス、運動スペース天井等耐震化	111,134	
R4	外壁調査（赤外線カメラ）	3,210	
R6	厨房エアコン更新	7,975	
R6	サウナ室内部張替え	4,227	
R6	自動制御機器更新	42,119	
R7	空調設備改修	44,858	
R7	屋内運動場床張替	17,578	
R7	温室非常口扉交換	1,760	
	（　合　計　）	121,727	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,644	12,316	14,125	
運用コスト	31,305	31,400	25,446	
修繕コスト	6,800	2,781	2,098	
その他	0	0	0	
(合計)	50,749	46,497	41,669	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	21,422	22,253	23,306	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	76,922	79,090	78,964	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	中央地区老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	中央地区老人福祉総合エリア	所在地	秋田市御所野下堤五丁目
施設面積	9,344.55 ㎡	建設年	Ｈ９
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	1,809,772,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施

「基本的な方針の考え方」

民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

指定管理制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続していく。

4　管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修のため、多額の費用を要する。
・屋内プールの天井内側が破損し、修繕に多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・建築後２５年が経過する令和４年度以降、老朽化に伴う屋根等の改修や各種設備の更新、改修が必要になる。

6　管理に関する実施計画

中央地区老人福祉総合エリアに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	火災受信機更新	22,899	
H29	玄関エントランス、屋内運動場天井等耐震化	98,649	
R3	換気機器設備更新	27,350	
R3	外壁調査	2,806	
R4	外壁改修	2,518	
R4	屋内プール天井改修（設計）	8,294	
R5	屋内プール天井改修（工事）	247,843	
R5	男女共同トイレ設置（構造計算）	530	計算結果により改修検討
R6	屋内プール天井改修（工事）	413,070	
R6	中央監視装置	31,493	
R6	高圧受電設備機器更新	6,628	
R6	空調設備改修工事	935	
R7	屋内プール天井改修（工事）	165,279	
R7	非常用発電機鉛蓄電池更新工事	1,218	
R7	男女ぬるま湯ろ過ポンプ更新工事	1,100	
R7	空調設備改修工事（屋上）	75,427	
	（　合　計　）	954,335	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,280	16,285	17,075	
運用コスト	61,722	64,389	58,028	
修繕コスト	11,149	6,628	22,550	H27(10,284)制御盤等更新
その他	0	0	0	
(合計)	89,151	87,302	97,653	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	52,412	53,978	55,070	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	156,515	161,517	164,214	

【個別票】

更新日：R5.3.31

3	施設名	南部老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	11,113.40 ㎡	建設年	Ｓ６３
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	847,415,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施

「基本的な方針の考え方」

民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

指定管理制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・建築以来、３３年（昭和６３年７月一部開設）が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリアに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	居室バリアフリー化改修	76,629	
H30	地下タンク・油面計	27,677	
H30	プール暖房配管改修	1,753	設計
R1	プール暖房配管改修	51,264	
R1	屋根防水改修（生きがい創作等）	5,683	
R4	外壁調査	1,367	
R5	中央監視装置更新	69,372	
R6	宿泊室エアコン更新	1,964	
R7	暖房配管・機器更新（サプエネ）	135,045	
R7	暖房配管・機器更新（コミセン）	156,508	
R7	暖房配管・機器更新（老人専用マンション）	86,077	
	（　合　計　）	450,333	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,360	13,160	13,160	
運用コスト	85,192	82,372	68,850	
修繕コスト	13,076	95,696	49,364	H26,H27屋上防水等改修
その他	0	0	0	
（合計）	109,628	191,228	131,374	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,730(19,722)	25,176(18,313)	25,071(14,865)	(　)内はマンション分、外数

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,604(16)	71,328(15)	71,070(10)	(　)内はマンション分、外数

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	能代山本老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	能代山本老人福祉総合エリア	所在地	能代市字腹鞁の沢
施設面積	3,080.17 ㎡	建設年	Ｈ３
構造･階数	ＲＣ造・１階	台帳価格	350,227,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施

「基本的な方針の考え方」

民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である能代山広域市町村圏組合等への譲渡を検討していく。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・現在の無償貸付先である能代山本広域市町村圏組合等への譲渡を検討しながら施設を存続する。

4　管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新をする場合、多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・能代山本広域市町村圏組合に無償貸与している施設であり、施設運営に関する県の関与がないことから、今後、県費による施設の修繕等は予定しない。

6　管理に関する実施計画

能代山本老人福祉総合エリアに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	健康増進ホール天井耐震化	24,446	
	（　合　計　）	24,446	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,423	3,732	3,698	
運用コスト	13,491	12,316	9,707	
修繕コスト	1,551	1,260	1,708	
その他	0	0	0	
（合計）	18,465	17,308	15,113	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,993	10,559	10,144	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	27,364	26,555	24,981	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	南部老人福祉総合エリア軽費老人ホーム

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア軽費老人ホーム	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	2,470.39 ㎡	建設年	Ｈ２
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	231,540,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施

「基本的な方針の考え方」

民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・現在の無償貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

4　管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・建築以来、３２年（平成２年４月開設）が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。

6　管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリア軽費老人ホームに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	屋根防水改修	1,062	実施設計
R3	屋根防水改修	33,211	
R7	暖房配管機器更新	120,141	
	（　合　計　）	120,141	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	202	1,097	1,097	
運用コスト	1,297	1,225	11,126	
修繕コスト	2,978	2,743	1,749	
その他	0	0	0	
(合計)	4,477	5,065	13,972	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	34,851	33,940	53,278	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	43	43	37	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

6	施設名	南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	2,098.94 ㎡	建設年	Ｓ６３
構造･階数	ＲＣ造・１階	台帳価格	166,039,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施

「基本的な方針の考え方」

民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・現在の無償貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

4　管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・建築以来、３３年（平成元年２月開設）が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。

6　管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリア養護老人ホームに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	特種浴槽設置工事	16,128	
R2	屋根防水改修	1,062	実施設計
R3	屋根防水改修	58,117	
R3	養護老人ホーム居室エアコン設置	48,728	
R7	暖房配管機器更新	93,636	
	（　合　計　）	93,636	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	514	549	549	
運用コスト	1,114	1,195	1,076	
修繕コスト	3,391	3,442	5,244	
その他	0	0	0	
(合計)	5,019	5,186	6,869	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	113,022	111,507	113,008	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	48	48	49	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋田県点字図書館）

1 施設の概要

施設名称	秋田県点字図書館		所在地	秋田市土崎港南	
施設面積	1,020.43	㎡	建設年	H6	
構造･階数	ＲＣ造平屋建		台帳価格	145,801,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

令和３年度から令和７年度までの期間で指定管理により運営することとし、指定管理者は(福)秋田県社会福祉事業団である。県内唯一の視覚障害者情報提供施設であり、指定管理期間終了後も機能を維持していく方針である。建物の経年劣化が懸念されるが、利用者の安全に係る損壊箇所はなく、今後、必要に応じて修繕を行う。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数　【目標使用年数６０年】

利用者の安全に係る損壊箇所はないが、必要に応じて大規模修繕を行い、機能を維持する。

4 管理上の課題等

現時点で大規模修繕の必要はないが、経年劣化により小破修繕を実施すべき箇所がある。

5　管理に関する実施方針

平成２７年度に冷暖房設備を大規模修繕しており、現時点で大規模修繕は予定していない。
また、小破修繕については基本的に指定管理料の範囲内で実施することとしている。

6　管理に関する実施計画

秋田県点字図書館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	外壁調査（赤外線カメラ）	867	指定修繕
4	女子トイレ改修	2,152	指定修繕
4	自動火災報知機更新	2,031	指定修繕
4	施設案内看板改修	702	指定修繕
4	蛍光灯のLED改修（廊下・倉庫・女子更衣室・印刷製本室・資料室・編集プリント室・録音室・ボランティアルーム）	2,063	指定修繕
5	外壁補修（設計）	1,810	指定修繕
6	蛍光灯のLED改修（書庫・書架・機械室・電気室）	3,683	指定修繕
6	敷地内点字ブロック交換	3,018	指定修繕
6	U字溝グレーチング設置	2,306	指定修繕
	（　合　計　）	18,632	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,418	1,330	1,330	
運用コスト	2,020	2,023	1,625	
修繕コスト	560	1,086	36,181	H27大規模修繕実施
その他	0	0	0	
（合計）	3,998	4,439	39,136	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和２年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：冊）

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和２年度	備考
利用者数等	9,440	10,216	10,179	図書貸出数を記載

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（健康増進交流センター）

1 施設の概要

施設名称	健康増進交流センター	所在地	秋田市河辺三内字丸舞
施設面積	5,448.56　㎡	建設年	H9
構造･階数	ＲＣ造・2階	台帳価格	1,240,919,001　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

今後、温泉浴場施設の老朽化に対応した大規模修繕は必要であるものの、現時点で構造自体に大きな問題はなく、厚生労働省から、県内で唯一「温泉利用型健康増進施設」の認定を受けた「健康増進のための温泉利用及び運動を安全かつ適切に行うことができる健康づくり拠点施設」として有効に活用する。一定の役割を果たした後は、建物の更新はしない。

※　集約・複合化の検討について

・集約・複合化は予定していない。

※　公民連携の検討について

・平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・健康づくりの拠点施設として当面は県が関与し、更新時期には譲渡を検討する。

※　市町村協働の検討について

・既に秋田市の高齢者健康づくりセンターと合築するなどしており、これ以上の集約・複合化等は検討はしていない。更新時期には譲渡と併せて検討する。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・施設及び設備の長寿命化対策（温泉設備ポンプ等インバーター制御装置導入等）を行い、今後30年以上は使用する。目標使用年数経過後は、譲渡・集約などを検討する。

4　管理上の課題等

・設備等の老朽化が著しいため、今後も計画的な改修・更新が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後必要と見込まれる修繕や更新等は次のとおり。
・施設及び設備の長寿命化対策：温泉設備ポンプ等インバーター制御装置の導入などの不具合発生箇所の修繕等が必要
・温泉浴場設備：ろ過ユニットやポンプ類の老朽化があり、更新が必要
・取水井設備：供給量不足が生じており、増設等の対応が必要

6　管理に関する実施計画

健康増進交流センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	廊下トップライト修繕	2,084	
4	外壁改修（実施設計）	2,605	
4	取水設備改修（実施設計等）	3,274	
4	熱気浴槽設備修繕	4,989	
4	源泉井戸復旧	59,598	
4	自動火災報知設備及び付帯設備更新	28,031	
5	中央監視装置更新（実施設計）	1,286	
5	取水設備改修	12,331	
5	受変電設備、照明設備、空調設備改修工事（実施設計）	4,000	
6	中央監視装置更新	35,937	
6	受変電設備、照明設備、空調設備改修工事	163,000	
6	外壁改修	116,820	
6	自動残留塩素濃度管理装置更新	2,713	
6	給排水設備更新	35,241	
6	昇降機設備更新	3,160	
7	温泉浴場設備更新	247,544	
	（　合　計　）	722,613	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
保守コスト	40,427	41,059	42,207	
運用コスト	68,778	70,971	64,844	
修繕コスト	7,560	7,560	7,560	
その他				
（合計）	116,765	119,590	114,611	

（単位：千円）

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	51,601	54,724	53,400	

（単位：人）

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	94,006	95,029	96,094	

【個別票】

更新日：R5.3.9

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（心身障害者コロニー）

1 施設の概要

施設名称	心身障害者コロニー		所在地	由利本荘市西目町出戸字孫七山
施設面積	34,469.75	㎡	建設年	H4～H11（改築）
構造･階数	ＲＣ造平屋建ほか		台帳価格	3,968,102,023 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県有障害者施設については、障害者自立支援制度の導入など障害福祉を取り巻く環境が大きく変化する中で、県の役割を見直し自立した運営形態への転換を図るため、(福)秋田県社会福祉事業団と協議を行ってきた。これまで水林通勤寮(平成23年4月)、高清水園及び阿桜園(平成28年4月)の3施設を譲与するとともに、平成23年４月１日から平成31年３月31日まで身体障害者更生訓練センターを無償貸付した。

一方、心身障害者コロニーは、定員規模、施設規模が非常に大きく、現状の規模を維持したまま民間がサービスを提供することは難しいことから、令和５年度に「秋田県心身障害者コロニーのあり方検討会」を開催し、今後の施設のあり方について検討していくこととしている。

※　集約・複合化の検討について

該当なし。

※　公民連携の検討について

該当なし。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

２に記載のとおり、令和５年度に「秋田県心身障害者コロニーのあり方検討会」を開催し、今後の施設のあり方について、検討していく。

※　市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数　【目標使用年数６０年】

２に記載のとおり、令和５年度に「秋田県心身障害者コロニーのあり方検討会」を開催し、今後の施設のあり方について、検討していく。

4 管理上の課題等

今後、施設の老朽化に伴う設備の更新のため、多額の費用を要する。

5　管理に関する実施方針

・令和３年度以降も、耐用年数の経過により更新時期を迎える建物設備について、年次計画により更新する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

心身障害者コロニーに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	給湯配水管改修	37,567	大規模修繕
5	空調設備改修等	365,698	大規模修繕
5	衛生ポンプ、配管設備（創生園ほか６棟）	196,045	大規模修繕
5	空調・電気・濾過制御盤監視管理システム	131,581	大規模修繕
6	エレベーター更新（施設内２か所）	44,000	大規模修繕
6	真空式温水器更新（赤光園ほか７棟）	49,500	大規模修繕
6	自動火災報知器等更新（創生園ほか１２棟）	42,953	大規模修繕
6	非常用発電機設備（給食センターほか２棟）	118,910	大規模修繕
6	変電設備及び配電盤改修（創生園ほか１４棟）	286,576	大規模修繕
7	埋設ケーブルの更新	354,871	大規模修繕
7	屋上張替（創生園ほか７棟）	41,597	大規模修繕
7	トップライト改修（施設内１２８か所）	17,160	大規模修繕
7	取水設備配管更新	181,863	大規模修繕
7	浄化槽設備新設	109,560	大規模修繕
	（　合　計　）	1,574,616	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,738	16,122	16,439	
運用コスト	122,759	123,920	103,129	
修繕コスト	27,747	77,820	35,332	県有建築物大規模修繕事業
その他				
(合計)	166,244	217,862	154,900	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	399	382	376	各年度末における入所者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（身体障害者更生訓練センター）

1 施設の概要

施設名称	身体障害者更生訓練センター	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	4,280.47 ㎡	建設年	S51
構造･階数	ＲＣ造平屋建ほか	台帳価格	223,869,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施

「基本的な方針の考え方」

平成31年3月31日をもって（福）秋田県社会福祉事業団への無償貸付期間が終了し、廃止した。
入所者は平成31年4月1日に開設した障害者支援センター御所野に転所した。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【令和５年度以降に除却】

現在の建物は老朽化が難しく、他の用途への転用も困難なことから解体除却する。

4 管理上の課題等

令和４年度以降も引き続き建物の状況を定期的に確認する。

5　管理に関する実施方針

令和５年度以降に除却する。

6　管理に関する実施計画

身体障害者更生訓練センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	除却	128,414	
	（　合　計　）	128,414	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,218	3,577	3,538	
運用コスト	18,652	18,795	15,277	
修繕コスト	0	0	0	県実施の大規模修繕なし
その他				
(合計)	39,870	22,372	18,815	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	49	49	47	年度平均入所者

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 環境保全センター ）

1 施設の概要

施設名称	環境保全センター		所在地	大仙市協和	
施設面積	6,156.76	㎡	建設年	H７	
構造･階数	ＲＣ造・２階建　ほか		台帳価格	316,385,004	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

現時点で施設全体に大きな問題がないことから、原状回復を目的とした修繕を実施しながら、存続させていく。

※　集約・複合化の検討について

対象施設がなく集約化・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

平成１８年度から指定管理者による管理運営を行っており、今後も継続していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県内で発生する産業廃棄物の適正処理を確保するために必要な施設であり、県が、指定管理者制度なども活用し、適切な管理運営を行う必要がある。

※　市町村協働の検討について

県内で発生する産業廃棄物の適正処理を確保するために必要な施設であり、県が、指定管理者制度なども活用し、適切な管理運営を行う必要がある。

3　目標使用年数　　【今後３０年以上使用】

ＲＣ構造建物の耐用年数である５０年を目標使用年数とし、経過後は大規模修繕や建替えなどを検討していく。

4　管理上の課題等

・安全性や耐久性及び機能性に大きな問題はない。
・建具や設備機器について修繕や機器更新が考えられることから、維持管理の徹底が必要。

5　管理に関する実施方針

・浸出水処理施設に設置されている機器の更新やオーバーホール。
・建設から４０年以上経過し、現在は使用していない施設建屋の解体。

6　管理に関する実施計画

環境保全センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	空調設備の改修等	20,000	
H31	屋根防水工事	1,000	
R2	浸出水処理施設建屋灯具ＬＥＤ化	22,500	
R4	加温ボイラー、高圧電気機器等の更新	21,000	
R5	インバーター設置、汚泥処理設備修繕等	45,000	
	（　合　計　）	109,500	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,689	2,767	2,765	
運用コスト	2,366	2,311	2,123	
修繕コスト	2,448	1,244	1,743	
その他	0	0	0	
（合計）	7,503	6,322	6,631	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	538,935	819,207	732,336	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	20,768	24,083	21,635	廃棄物搬入台数

【個別票】

更新日：H31.4.1

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 動物愛護センター：浜田 ）

1 施設の概要

施設名称	動物愛護センター（浜田）	所在地	秋田市浜田字神坂
施設面積	439.21 ㎡	建設年	H2
構造･階数	鉄筋コンクリート平屋建	台帳価格	37,067,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

構造体の耐久性に問題はないが、焼却炉や浄化槽等の施設補修、メンテナンスが必要。

※ 集約・複合化の検討について

施設毎に使用目的や役割があり、早急な集約化は困難。

※ 公民連携の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 市町村協働の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

必要に応じて大規模な修繕をしながら６０年以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

焼却炉等の設備機器については、設置以来の経年劣化も著しくその都度必要な修繕で対応しているが、定期的な補修やメンテナンスが必要不可欠となっている。

5　管理に関する実施方針

・当面必要とされる焼却炉等の設備機器の補修やメンテナンスが必要。
・修繕については、必要に応じて実施。

6　管理に関する実施計画

動物愛護センター（浜田）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,382	1,475	1,475	
運用コスト	1,747	2,194	2,198	
修繕コスト	4,288	6,210	317	
その他				
（合計）	7,417	9,879	3,990	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,487	1,301	1,340	畜犬取締手数料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	347	363	370	

【個別票】

更新日：H31.4.1

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 動物愛護センター：雄和 ）

1 施設の概要

施設名称	動物愛護センター（雄和）	所在地	秋田市雄和椿川字奥椿岱
施設面積	1,548.81 ㎡	建設年	H31
構造･階数	木造平屋建　事務所、車庫	台帳価格	493,006,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」
機能維持のために予防保全型の管理を行う。

※　集約・複合化の検討について

施設毎に使用目的や役割があり、早急な集約化等は困難である。

※　公民連携の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※　市町村協働の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

3　目標使用年数　　【今後４０年以上使用】

長寿命化を図りながら４０年以上の使用を目標とする。

4　管理上の課題等

一般開放しているほか、犬猫譲渡会や動物愛護に係るイベント開催などで利用者が増加しており、利用者の利便性向上のため、施設のメンテナンスを充実していく必要がある。

5　管理に関する実施方針

毎年、施設のメンテナンスが必要。

6　管理に関する実施計画

動物愛護センター（雄和）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 食肉衛生検査所 ）

1 施設の概要

施設名称	食肉衛生検査所		所在地	鹿角市八幡平字外川原	
施設面積	581.98	㎡	建設年	H8	
構造･階数	木造・平屋建		台帳価格	22,589,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

法令に基づく行政検査を実施するために設置しており、必要な修繕を行い存続すべき施設である。修繕時期については未定。（必要に応じて修繕）
※と畜検査は検査員がと畜場に出向いて検査を行い、必要に応じて検査室内での精密検査を実施するため、管轄すると畜場（北鹿食肉流通センター）が存続している間は、施設管理が必要となる。

※ 集約・複合化の検討について

対象施設がなく、集約化・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

法令に基づく行政検査を実施することを目的に設置した施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

法令に基づく行政検査を実施することを目的に設置した施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 市町村協働の検討について

法令に基づく行政検査を実施することを目的に設置した施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

目標使用年数経過後も必要な修繕を行い存続。

4 管理上の課題等

現在、冬期間において水道使用量が倍となる状態で水漏れあり、水抜き栓の操作も一部不調があり厳寒期に凍結することがあるため。

5　管理に関する実施方針

・定期的な屋根の葺き替え補修が必要。
・修繕については、必要に応じて実施。

6　管理に関する実施計画

食肉衛生検査所庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	屋根の葺き替え補修及び雨漏り対策	12,000	同時実施
R4	屋根改修	23,499	外壁塗装含む
R6	水抜き栓更新工事	1,405	建物内全水抜き栓更新
	（　合　計　）	36,904	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,385	1,310	1,263	
運用コスト	1,718	1,750	1,692	
修繕コスト	1,782	495	249	
その他	177	294	143	
（合計）	5,062	3,849	3,347	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	61,364	52,278	48,073	と畜検査手数料他

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	30	30	50	来訪者

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 健康環境センター ）

1 施設の概要

施設名称	健康環境センター		所在地	秋田市千秋久保田町	
施設面積	4,553.52	㎡	建設年	S61	
構造･階数	ＲＣ造・５階建		台帳価格	576,075,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県における保健衛生及び環境保全の科学的・技術的中核機関として、食中毒や感染症の原因究明、食品の安全性確保、環境モニタリング、緊急事例対応など様々な試験検査や調査研究等を行っており、県民の健康被害の防止及び県の環境保全を確保するために必要不可欠であることから、大規模修繕等を実施し、存続する。

なお、食品衛生法第29条に基づき、県が設置した食品衛生検査施設である。

※　集約・複合化の検討について

平成１８年４月に衛生科学研究所と環境センターを組織統合し、健康環境センターが発足。平成２１年４月に現建物に集約した。現時点では、当センターと集約もしくは複合化できる可能性のある県機関は無いものと考えられる。

※　公民連携の検討について

当センターが実施している試験検査業務は、行政処分の根拠となることなどから民間等への委託が困難である。また、調査研究については、大学等の研究機関との共同研究などの連携は既に実施しているが、当センターの機能を全て民間等に委託することは困難である。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

当センターが実施している試験検査業務は、関係法令に基づく行政処分の根拠となることや感染症法に基づく行政検査に位置付けられることなどから民間等への委託が困難であるため、業務を廃止し、民間等へ施設を譲渡することは困難である。

※　市町村協働の検討について

秋田市以外の市町村は、当センターが実施している試験検査、調査研究等は実施していないことから、協働は困難である。秋田市は保健所を設置し、試験検査機能を有しているが、市自ら対応できない感染症関係の検査の一部を当センターに委託しており、協働により当センターの業務を縮小することは困難である。

3　目標使用年数　　【今後２０年以上使用】

建物の耐用年数は５０年であり、現在、建設から３０年以上が経過しているが、空調設備（自動制御装置）等の長寿命化に向けた大規模修繕や必要な改修を行うことにより、今後２０年以上の使用が可能と考えられる。

4　管理上の課題等

建設から３０年以上が経過し、空調設備等が著しく老朽化していることに加え、建設当時に比べて、検査機器等の種類や台数、稼働環境が変化していることから、適切に業務を遂行するため、引き続き、大規模修繕や改修を行う必要がある。

5　管理に関する実施方針

現時点において見込まれる修繕や更新は次のとおりであるが、災害による被害や突発的な故障は随時対応する。
空調設備：制御機能が低下。建設以来未更新の自動制御装置を更新する。
その他の設備：各設備の機能が低下。建設以来未更新の関連する老朽化機器の更新及び修繕を行う。

6　管理に関する実施計画

健康環境センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	給排水設備更新	0	総合保健センターへ計上。
29	バイオハザード室改修（実施設計）	1,404	
30	バイオハザード室改修	77,458	
30	全熱交換器修繕	8,563	
30	空調機更新（送排風機関係）	0	総合保健センターへ計上。
R1	ヒュームスクラバー設備更新	48,986	
R1	館内放送設備更新	1,485	
R2	外壁改修（実施設計）	0	総合保健センターへ計上。
R4	外壁改修	0	総合保健センターへ計上。
R4	昇降機ロープ交換	330	
R6	煙突内アスベスト除去工事	45,100	総合保健センターへも計上。
R6	空調機更新（自動制御装置）	105,061	総合保健センターへも計上。
R6	分析用ガス供給設備等更新	6,820	
R6	実験排水中和処理設備水槽マンホール補修	2,244	
R6	実験排水中和処理設備改修	26,680	
R6	昇降機既存不適格解消	33,000	
	（　合　計　）	357,131	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	14,401	14,748	14,759	
運用コスト	29,092	27,710	24,364	電気、ガス、灯油、水道、電話
修繕コスト	1,462	938	2,346	営繕課再配当需用費等の小破修繕費を計上。
その他			19,440	火災報知設備更新等。（総合保健ｾﾝﾀｰ含む）
（合計）	44,955	43,396	60,909	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（鳥獣保護センター）

1 施設の概要

施設名称	鳥獣保護センター（傷病鳥獣救護・野生化訓練棟）	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	449.50 ㎡	建設年	H3
構造･階数	W造・平屋建	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、鳥獣保護管理事業計画を策定し、県内の傷病鳥獣の救護・飼養事業を行っている県内唯一の施設であるため、機能維持して存続していく必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

ケガや病気の野生動物の救護や野生化訓練を行う特殊な施設であるため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

同一敷地内にある環境と文化のむらの指定管理者に業務の一部を委託している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の施設では譲受体制が整っていない。

※ 市町村協働の検討について

傷病鳥獣の保護等に関しては、市町村から協力を得ながら行っている。
飼養や野生化訓練については、各市町村で譲受体制が整っていない。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

屋根の老朽化により損傷箇所がみられるため、５年以内を目途に修繕する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

屋根の老朽化が進んでいるため、屋根の葺き替えが必要である。

5　管理に関する実施方針

・屋根に損傷箇所が見られるため、屋根の葺き替えを行う。

6　管理に関する実施計画

鳥獣保護センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	屋根の葺き替え	11,853	
	（　合　計　）	11,853	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	－	91	72	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	0	91	72	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【総括表】

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（鳥海国定公園）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鉾立ビジターセンター	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
2	祓川山荘	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

施設の劣化状況等を踏まえて対応。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	鳥海国定公園（鉾立ビジターセンター）

1 施設の概要

施設名称	鳥海国定公園（鉾立ビジターセンター）	所在地	にかほ市象潟町小滝字鉾立
施設面積	377.73 ㎡	建設年	S60
構造･階数	ＲＣ造・平屋建	台帳価格	26,117,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公園計画に基づき、博物展示施設を整備し、鳥海山の観光拠点の一つとする必要があるため、存続する。

※　集約・複合化の検討について

施設の建替時期を目途に、隣接する市営稲倉山荘との集約・複合化を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

指定管理者制度により、にかほ市が運営している。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

長寿命化対策として、屋根及び外壁等を修繕する必要がある。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合には、必要に応じて修繕を行う。

4　管理上の課題等

・平成25年度に大規模修繕（外壁等）を実施している。

5　管理に関する実施方針

・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のための、トイレの洋式化の整備を行う。
・外国人来訪者のための、展示施設の多言語化等、施設の展示の更新を行う。
・さらに、噴火時に登山者等に、退避等を周知するための情報伝達等の施設整備を行う。
・経年劣化による屋根・外壁等の劣化が予想されるため、屋根・外壁等の修繕を行う。

6　管理に関する実施計画

鉾立ビジターセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	展示物の更新	28,314	
R6	情報伝達等の施設の整備	25,000	
R7	トイレの洋式化~~・展示物の更新~~	500	
	（　合　計　）	53,814	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				※維持管理経費等については、にかほ市が全て負担をしている。
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	8,877	11,668	11,336	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	鳥海国定公園（祓川山荘）

1 施設の概要

施設名称	鳥海国定公園（祓川山荘）	所在地	由利本荘市矢島町城内字木境
施設面積	367.23 ㎡	建設年	S42
構造･階数	ＲＣ造・２階建	台帳価格	48,323,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公園計画に基づき、鳥海山の自然探勝及び登山のための園地として整備する必要がある。また、緊急時の避難小屋として、登山者等の遭難防止のために存続する。

※　集約・複合化の検討について

鳥海国定公園の矢島口登山道入口に唯一設置されている施設であるため、集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

指定管理者制度により、由利本荘市が運営している。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

増築前の当初の建物は、築50年経過しているため、修繕する必要がある。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4　管理上の課題等

・平成2年度に増築。
・平成27年度に大規模修繕（外壁等）を実施している。
・火山防災対策のため、屋根等の修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・火山の噴火時の避難小屋となっているため、噴石対策の屋根の修繕を行う。
・さらに、噴火時に登山者等に、退避等を周知するための情報伝達等の施設整備を行う。

6　管理に関する実施計画

祓川山荘に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	情報伝達等の施設整備	25,000	
R6	屋根･外壁等の修繕	30,000	
	（　合　計　）	55,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	1,230	1,230	410	人件費
（合計）	1,230	1,230	410	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	590	691	338	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	431	384	188	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（素波里ふるさと自然公園センター ）

1 施設の概要

施設名称	秋田白神県立自然公園（素波里ふるさと自然公園センター）	所在地	藤里町粕毛字南鹿瀬内
施設面積	300.00 ㎡	建設年	S58
構造･階数	ＲＣ造・平屋建	台帳価格	21,990,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

秋田県営自然公園施設条例に基づき、自然公園の利用の増進を図るため設置した施設であり、存続する。

※ 集約・複合化の検討について

素波里園地内に唯一存在する展示施設であるため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により、藤里町が運営している。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

屋根の修繕を平成27年度及び平成29年度に行った。
展示物を含む改装を令和２年度に行った。

4 管理上の課題等

施設の老朽化が進んでおり、必要に応じて修繕や更新等を行っていく。

5　管理に関する実施方針

・当面なし

6　管理に関する実施計画

素波里ふるさと自然公園センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	屋根半分の修繕	3,000	H29年度実施
R2	館内展示物更新	20,900	
R4	設備（トイレ等）の改修	1,850	
	（　合　計　）	25,750	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト			2,556	屋根修繕
その他				
（合計）	0	0	2,556	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	710	571	385	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合射撃場）

1 施設の概要

施設名称	総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	所在地	由利本荘市岩城道川字新田沢
施設面積	459.71　㎡	建設年	H7（整備R1）
構造･階数	鉄骨造・2階	台帳価格	76,585,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

野生鳥獣による人身被害や農作物被害が依然発生しており、その捕獲の担い手である狩猟者の果たす役割は大きい。このため、県立総合射撃場の狩猟技術訓練施設を狩猟者の育成・確保、狩猟技術向上のための広域的な施設と位置づけ、耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し存続とする。

※　集約・複合化の検討について

・なし

※　公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※　市町村協働の検討について

・なし

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4　管理上の課題等

・耐用年数を迎える設備機器等については、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・場内で使用される鉛散弾の鉛が原因で、周辺地域に環境保全上の問題を生じさせないよう、地元住民と交わした管理運営等に関する覚書に基づき管理する。

5　管理に関する実施方針

・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営に支障がないよう修繕等を実施する。
・人身事故につながるおそれのある銃器を扱う施設であるため、施設管理者の指示の下、安全な施設運営を図る。

6　管理に関する実施計画

総合射撃場（狩猟技術訓練施設）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	防護ネット工事他	635,423	土木工、法面工、電気工、建築工
R2	舗装工事	105,846	アスファルト舗装、案内看板他
R5	鉛散弾飛散防止ネット張り替え、アスファルト改修	29,600	
	（　合　計　）	770,869	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	797	820	820	
運用コスト	1,521	1,582	1,436	
修繕コスト	81	49	3,137	
その他				
(合計)	2,399	2,451	5,393	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	546	542	557	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,127	1,210	1,168	

【総括表】

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（環境と文化のむら）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	文化の館	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
2	自然ふれあいセンター	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
3	愛鳥山荘	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

施設の劣化状況等を踏まえて対応。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	環境と文化のむら（文化の館）

1 施設の概要

施設名称	環境と文化のむら（文化の館）	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	430.60 ㎡	建設年	H6
構造･階数	W造・２階建	台帳価格	6,261,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

五城目町で発見された中山遺跡（縄文時代）や岩野山古墳群（奈良・平安時代）の日常品、装飾品など貴重な品を展示している施設であり、業務の一部を五城目町に委託しており、今後も存続していく方針である。

※　集約・複合化の検討について

展示スペースや貴重品の管理の関係上、集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

五城目町に業務の一部を委託している。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

五城目町に業務の一部を委託し、運営している。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

屋根と外壁の老朽化のほか、展示設備や空調設備の更新が考えられるため、１０年以内を目途に修繕や更新する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4　管理上の課題等

・今後は屋根や外壁等の修繕、展示設備や空調設備の更新が考えられる。

5　管理に関する実施方針

・遺跡の展示施設及び空調設備の老朽化のため、展示施設と空調設備を更新する。
・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6　管理に関する実施計画

文化の館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	展示設備~~及び空調設備~~の改修	5,000	
R7	外壁と屋根の修繕	10,000	
	（　合　計　）	15,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	393	409	380	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	393	409	380	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	678	508	708	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	環境と文化のむら（自然ふれあいセンター）

1 施設の概要

施設名称	環境と文化のむら（自然ふれあいセンター）	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	622.03 ㎡	建設年	H7
構造･階数	W造・２階建	台帳価格	7,968,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

里山の自然と触れ合い、学習する機会を提供するために設置された施設であり、地元を中心として幼稚園、小学校、自治会等で多く利用されるため、今後も存続する方針である。

※　集約・複合化の検討について

里山の自然と触れ合う施設としての規模や併設施設の鳥獣保護センターの管理の面などから、集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

当該施設については民間事業者が指定管理を行っているが、環境と文化のむら全体としては五城目町に業務の一部を委託するなど市町村協働が行われている。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

屋根と外壁の老朽化がみられるため、１０年以内を目途に修繕する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4　管理上の課題等

・今後は屋根や外壁等の修繕の更新が考えられる。
・閉鎖施設（炊事棟、公衆トイレ、水鳥観察小屋２棟）の解体撤去を行う必要がある。

5　管理に関する実施方針

更新日：R5.3.31

・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。
・閉鎖されている各施設は風致を害するため、解体撤去する。

6　管理に関する実施計画

自然ふれあいセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	設備（空調等（愛鳥山荘・文化の館含む））の改修	22,151	
R6	閉鎖施設の解体撤去（４施設）	11,855	
R7	外壁と屋根の修繕	20,000	
	（　合　計　）	54,006	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	183	183	183	
運用コスト	1,179	1,218	1,172	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	1,362	1,401	1,355	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	9,938	10,910	11,065	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	環境と文化のむら（愛鳥山荘）

1 施設の概要

施設名称	環境と文化のむら（愛鳥山荘）		所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	320.00	㎡	建設年	H9
構造･階数	W造・平屋建		台帳価格	9,910,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

施設には野鳥のはく製が展示され、周辺の「野鳥の森」では、野鳥を観察することができる施設であり、愛鳥学習会や野鳥観察などのイベントで多く利用されるため、今後も存続する方針である。

※　集約・複合化の検討について

野鳥観察や学習するための施設としての規模や環境を考慮すれば、集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

当該施設については民間事業者が指定管理を行っているが、環境と文化のむら全体としては五城目町に業務の一部を委託するなど市町村協働が行われている。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

屋根と外壁の老朽化がみられるため、１０年以内を目途に更新する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4　管理上の課題等

・今後は屋根や外壁等の修繕が考えられる。

5　管理に関する実施方針

・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6　管理に関する実施計画

愛鳥山荘に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	照明設備の改修	1,933	
R2	デッキの改修	7,095	
R4	施設（給水等）の改修、展示物の更新	18,900	
R7	外壁と屋根の修繕	10,000	
	（　合　計　）	37,928	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
運用コスト	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
修繕コスト	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
その他	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,136	886	450	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（玉川温泉ビジターセンター）

1 施設の概要

施設名称	新玉川温泉保養基地（玉川温泉ビジターセンター）	所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢
施設面積	802.93 ㎡	建設年	H5
構造･階数	ＲＣ造・平屋建	台帳価格	129,378,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

秋田県営自然公園施設条例に基づき、自然公園の利用の増進を図るため設置した施設であり、存続する。

※ 集約・複合化の検討について

焼山を中心とした火山活動や自然環境等を展示解説した唯一の博物展示施設であり、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により、市の第３セクターが運営している。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

目標使用年数までの間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

・特にありません。

5　管理に関する実施方針

・経年劣化により屋根・外壁の劣化が予想されるため、屋根等の修繕等を行う。
・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のため、展示施設の多言語化等の整備を行う。

6　管理に関する実施計画

玉川温泉ビジターセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根の修繕	35,900	
R2	屋根の修繕	22,000	
R3	展示物の更新	28,314	
R6	施設（非常用放送等）の改修	9,900	
	（　合　計　）	96,114	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,498	2,481	2,481	管理費
運用コスト	271	289	289	事務費
修繕コスト	53	54	54	小破修繕費
その他	2,348	2,490	2,489	人件費
（合計）	5,170	5,314	5,313	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	8,673	8,959	9,944	

【総括表】

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（奥森吉青少年野外活動基地）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	野外活動センター	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	親子キャンプ場サニタリー第1、第2、第3	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

施設の劣化状況等を踏まえて対応。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	奥森吉青少年野外活動基地（野外活動センター）

1 施設の概要

施設名称	奥森吉青少年野外活動基地（野外活動センター）	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原
施設面積	1,249.02 ㎡	建設年	H9
構造･階数	W造・平屋建	台帳価格	80,597,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

自然の中で野外活動を行う機会を提供し、自然環境の保全に関する学習の振興に資する目的で設置された施設であり、多くの利用者が訪れる施設であるため、今後も存続する方針である。

※　集約・複合化の検討について

奥森吉の優れた自然環境を体験できる施設として設置されたものであり、集約・複合化にはなじまない施設である。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

指定管理者制度により施設の管理運営を市内のNPO法人が行っており、市町村と協働できる部分はない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

屋根と外壁の老朽化のほか、水道施設の更新が考えられるため、１０年以内を目途に修繕や更新を行う必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4　管理上の課題等

・今後は屋根や外壁等の修繕、水道施設の更新が考えられる。
・閉鎖施設（浄水場、クマゲラ保護センター、クマゲラ保護センタートイレ、中央駐車場トイレ、多目的広場トイレ）の解体撤去を行う必要がある。

5　管理に関する実施方針

・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。
・水道施設の老朽化により、水道施設を更新する。
・閉鎖されている各施設は風致を害するため、解体撤去する。

6　管理に関する実施計画

野外活動センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	設備（消防・水道等）の改修	8,697	
R4	設備（~~消防・~~水道等）の改修	7,750	
R5	給湯ボイラー更新	10,074	
~~R6~~	~~水道施設の改修~~	~~5,000~~	
R6	外壁と屋根の修繕	20,000	
R6	閉鎖施設の解体撤去（５施設）	39,000	
	（　合　計　）	85,521	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,854	1,893	1,912	
運用コスト	830	607	681	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	2,684	2,500	2,593	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,488	703	1,430	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	奥森吉青少年野外活動基地（親子キャンプ場サニタリー）

1 施設の概要

施設名称	奥森吉青少年野外活動基地（親子キャンプ場サニタリー）	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原
施設面積	630.18　㎡	建設年	H9
構造･階数	W造・平屋建　３基	台帳価格	3　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

自然の中で野外活動を行う機会を提供し、自然環境の保全に関する学習の振興に資する目的で設置された施設であり、多くの利用者が訪れる施設であるため、今後も存続する方針である。

※　集約・複合化の検討について

奥森吉の優れた自然環境を体験できる施設として設置されたものであり、集約・複合化にはなじまない施設である。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※　市町村協働の検討について

指定管理者制度により施設の管理運営を市内のNPO法人が行っており、市町村と協働できる部分はない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

屋根と外壁の老朽化のほか、水道施設の更新が考えられるため、１０年以内を目途に修繕や更新を行う必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4　管理上の課題等

・今後は屋根や外壁等の修繕、水道施設の更新が考えられる。

5　管理に関する実施方針

更新日：R5.3.31

・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6　管理に関する実施計画

親子キャンプ場サニタリーに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	外壁と屋根の修繕	15,000	
	（　合　計　）	15,000	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	野外活動センターに含む
運用コスト	0	0	0	野外活動センターに含む
修繕コスト	0	0	0	野外活動センターに含む
その他	0	0	0	野外活動センターに含む
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	992	887	1,036	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋田駒ヶ岳情報センター）

1 施設の概要

施設名称	秋田駒ヶ岳情報センター	所在地	仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳
施設面積	351.00 ㎡	建設年	H18
構造･階数	W造・平屋建	台帳価格	43,652,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

秋田県営自然公園施設条例に基づき、自然公園の利用の増進を図るため設置した施設であり、存続する。

※ 集約・複合化の検討について

当該施設と仙北市の「自然ふれあい温泉館」及び国土交通省の「秋田駒ヶ岳火山防災ステーション」の3施設を集約化している。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

仙北市と共同管理をしている。

3 目標使用年数 【目標使用年数４０年】

長寿命化対策として、屋根及び外壁等を修繕する必要がある。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

・観光拠点として、展示物の更新が望まれる。

5　管理に関する実施方針

・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のため、展示施設の多言語化等の更新を行う。
・経年劣化による屋根・外壁等の破損が予想されるため、屋根・外壁の修繕を行う。

6　管理に関する実施計画

秋田駒ヶ岳情報センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	屋根の修繕	10,000	
R6	外壁の修繕	20,000	
	（　合　計　）	30,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,655	1,896	1,896	管理費
運用コスト	172	80	80	事務費
修繕コスト	56	58	58	小破修繕費
その他	983	1,011	1,011	人件費
（合計）	2,866	3,045	3,045	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	61,635	59,274	57,456	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「 個別施設計画 」（ 能代産業廃棄物処理センター ）

1 施設の概要

施設名称	能代産業廃棄物処理センター	所在地	能代市浅内
施設面積	452.91 ㎡	建設年	H11ほか
構造･階数	ＬＧＳ造ほか・２階建ほか	台帳価格	40,765,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

現時点で施設に大きな問題はないことから、必要に応じて修繕を実施しながら、存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

困難（対象施設なし）

※ 公民連携の検討について

行政代執行の枠組の中で、県が管理等を継続

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

行政代執行の枠組の中で、県が管理等を継続

※ 市町村協働の検討について

行政代執行の枠組の中で、県が管理等を継続

3 目標使用年数 【今後２０年以上使用】

平成１１年に取得した建物であり、現在は問題ないが、水処理は長期間継続しなければならないことから、施設の健全度調査を実施し、施設の重要度に応じた改修計画を策定する。

4 管理上の課題等

安全性や耐久性及び機能性に問題はないが、適切な点検等が必要

5　管理に関する実施方針

平成１１年に取得した建物であり、現在は問題ないが、水処理は長期間継続しなければならないことから、適切な点検等を行うとともに、施設の健全度調査を実施し、施設の重要度に応じた改修計画を策定する。

6　管理に関する実施計画

新水処理施設管理棟に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」
（ 山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所））

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所）	所在地	八峰町
施設面積	561.03 ㎡	建設年	平成2年
構造･階数	鉄骨造・２階	台帳価格	32,890,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

ダム管理施設であり、雨量観測を行うなど、防災上必要な施設であるため存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

ダム管理施設であり、周辺に類似施設もないことから、集約・複合化になじまない。

※ 公民連携の検討について

ダム管理施設であることから、公民連携になじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

ダム管理施設であることから、譲渡すべき施設ではない。

※ 市町村協働の検討について

ダム管理施設であり、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

水沢ダム下流域の安全・安心を確保する上で、必要不可欠な施設であることから、機能保全計画に基づく長寿命化対策を実施し、施設を存続させる。

4 管理上の課題等

建築後30年以上経過し、老朽化が進行している施設もある。

5　管理に関する実施方針

定期点検や簡易修繕を行い、施設の維持管理に努めるとともに、機能保全計画に基づく長寿命化対策の実施により、施設の機能保全を図る。

6　管理に関する実施計画

水沢ダム管理事務所等に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	外壁等修繕	9,500	
	（　合　計　）	9,500	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	2,535	2,420	2,559	
修繕コスト	25	0	170	
その他	0	0	0	
(合計)	2,560	2,420	2,729	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（農業試験場（雄和））

1 施設の概要

施設名称	農業試験場（雄和）	所在地	秋田市
施設面積	26,306.40 ㎡	建設年	平成11年
構造･階数	鉄筋コンクリート造・４階	台帳価格	2,840,627,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	複合化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

農業試験場中長期計画に基づき施策事業を推進する試験研究機関として、必要な修繕を実施しながら施設を維持していく。

※ 集約・複合化の検討について

令和元年に花き種苗センターを当施設に移転し、集約化した。

※ 公民連携の検討について

農業技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も農業振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

本県の基幹産業である農業の発展・農業所得の向上のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【本館：目標使用年数60年、付属舎：同25年】

長寿命化対策を実施しながら、法定耐用年数以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

平成28年度・平成30年度に本館空調冷温水発生機の大規模修繕を行ったが、今後も次のような修繕が必要である。

「本館」：冷温水発生機以外の本館空調設備、消防･防災設備、受変電等電気設備、自家用発電設備、衛生･給排水設備、屋上等防水、昇降機設備

「付属施設」：付属舎、ガラス温室等の外壁・防水シーリング・シャッター設備、ほ場関連設備の排水･給水パイプライン等

5　管理に関する実施方針

・経年劣化による設備の老朽化に対処するため、計画的に補修・更新を行う。

6　管理に関する実施計画

農業試験場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備・恒温室・ほ場パイプライン等	1,671	
H30	空調設備・温室設備・ほ場管理設備、花き種苗センター移転に伴う温室・作業舎等の設置、管理棟内の改修	666,744	大規模修繕、花き種苗センター移転整備 等
H31	－	0	
R2	種子貯蔵設備更新、ガラス温室	6,038	
R3	自動火災報知設備更新等	30,266	
R4	畑地用揚水ポンプ、耐冷性検定施設、ビニールハウス	34,256	
R5	低温恒温室、ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ雨漏り修繕	3,410	
R6	自家用発電機・恒温室・ｶﾞﾗｽ温室・受変電電気設備・ほ場管理設備・衛生給排水設備・空調設備・ほ場パイプライン等・プレハブ型恒温室等・受変電電気設備等	369,887	
R7	衛生給排水設備・空調設備、予冷庫	7,924	
	（　合　計　）	1,120,196	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	13,038	13,090	12,936	
運用コスト	45,774	48,415	41,957	
修繕コスト	8,561	13,700	13,540	
その他				
（合計）	67,373	75,205	68,433	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	52	19	13	農業試験場使用料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,781	3,178	3,051	施設見学者等

【総括表】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（果樹試験場）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	果樹試験場	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	果樹試験場天王分場	潟上市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

どちらの施設も、それぞれに個別の樹種に関する試験研究を行う機関であり、併存させていく方針としている。このため、それぞれ適切な修繕により長寿命化を図り、現在の建物を可能な限り長期間使用することを目標とする。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	果樹試験場

1 施設の概要

施設名称	果樹試験場	所在地	横手市
施設面積	4,544.54 ㎡	建設年	昭和57年
構造･階数	鉄筋コンクリート造・３階（一部５階）	台帳価格	189,061,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

果樹に関する試験研究機関として、新品種の開発、新技術の提供など果樹農家等が必要とするサービスを提供している県内唯一の施設であるため、必要な修繕を実施しながら施設を存続させていく。

※　集約・複合化の検討について

果樹に関する試験研究を行う機関であり、樹園地を要する施設であるため、他の施設との集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

果樹生産技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も果樹生産振興に向けて県がその役割を果たしてく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の果樹生産振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※　市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

適切な維持・修繕を実施し、耐用年数以上の使用を目指す。
（令和14年に耐用年数50年に達する予定）

4　管理上の課題等

建設後35年以上経過しており（S58築）、構造体の大規模修繕は必要ないものの、各種機械設備等の老朽化対策が早急に必要である。エアコンは設置してから20年以上経過し、故障が頻発するも部品交換を伴う修理が困難で使用できないことも多く、夏場に熱中症の職員が出るなどしており、早急に設備の更新が望まれる。

5　管理に関する実施方針

緊急度の高いものから順次修繕を実施していく。

6　管理に関する実施計画

果樹試験場本館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	下水道接続、消防設備・受水槽・高架水槽修繕	49,275	
R4	空調設備改修	132,938	
R6	本館ブラインド改修	3,000	
	（　合　計　）	185,213	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,908	1,372	1,332	
運用コスト	24,892	25,499	21,316	
修繕コスト	1,797	1,986	3,380	
その他				
(合計)	28,597	28,857	26,028	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,900	2,800	3,100	施設見学者（概数）

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	果樹試験場天王分場

1 施設の概要

施設名称	果樹試験場天王分場	所在地	潟上市
施設面積	1,588.62 ㎡	建設年	昭和60年
構造･階数	木造・１階	台帳価格	918,008 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

果樹に関する試験研究機関として、新品種の開発、新技術の提供など果樹農家等が必要とするサービスを提供している県内唯一の施設であるため、必要な修繕を実施しながら施設を存続させていく。

※　集約・複合化の検討について

果樹に関する試験研究を行う機関であり、樹園地を要する施設であること、果樹試験場本場（横手市）とは異なる樹種の試験研究を行っていることから、他の施設との集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

果樹生産技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も果樹生産振興に向けて県がその役割を果たしてく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の果樹生産振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※　市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

耐用年数の24年を既に経過しているが、基本構造はしっかりしており、適切な維持・修繕を実施しながら継続使用する。

4　管理上の課題等

沿岸部にある木造施設のため、外壁の損傷が起きやすく、これが内部構造まで影響を及ぼす恐れがあるほか、平成２８年２月の落雷以後、電気系統の不具合が増えており、計画的な整備（塗装・修繕等）を検討する必要がある。

5　管理に関する実施方針

雨漏りや漏電によるブレーカー遮断等が発生しており、建物全体の総合診断を実施した上で修繕計画を立てる必要がある。

6　管理に関する実施計画

果樹試験場天王分場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	－	0	
R3	冷暖房空調設備更新	18,378	
R6	屋根雨漏り・電気系統等総合診断	2,000	
	※診断結果により、修繕内容の追加があり得る。		
R6	本館外部建具更新	12,170	
	（　合　計　）	32,548	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	669	635	675	
運用コスト	5,222	5,264	6,256	
修繕コスト	1,097	1,048	1,642	
その他				
（合計）	6,988	6,947	8,573	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	500	700	900	施設見学者（概数）

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（かづの果樹センター）

1 施設の概要

施設名称	かづの果樹センター		所在地	鹿角市	
施設面積	1,773.76	㎡	建設年	昭和55年	
構造･階数	鉄骨・１階		台帳価格	15,279,005	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・昭和55年に果樹試験場鹿角分場として設置され、平成22年度に樹園地を再整備し、かづの果樹センターとしてモモとリンゴを中心とした地域課題の試験研究と展示、技術成果の農家への伝達・普及業務を行い、果樹産地振興の基幹施設となっている。
・現在、「かづの北限の桃」の産地振興や県オリジナル品種「秋田紅あかり」の生産拡大に向けて、地域課題解決と技術普及のための大きな役割を担っており、今後とも地域の要請に応えられるように施設及び樹園地ほ場の適切な維持管理が必要である。

※ 集約・複合化の検討について

・県北地域の果樹産地振興のための試験研究と技術普及に特化した専門性の高い業務を行っている。
・寒冷地特有の技術課題も多く、地域に適応した課題解決のための基幹施設として独自性が求められている。

※ 公民連携の検討について

・公共性の高い試験研究や普及活動を業務としており、行政施策実現のため県が主体的に管理運営すべきである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・今後の県内の果樹振興のためにも、業務を継続していく必要がある。費用・採算性の面からも、民間等への譲渡にそぐわない。

※ 市町村協働の検討について

・地域特性の高い課題の解決などについて、今後、協議していくことも考えられる。

3 目標使用年数　【目標使用年数６０年】

・緊急性を要する箇所から修繕を行うとともに、本来の機能が発揮できるよう維持管理する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化等を踏まえ、再度検討する。

4 管理上の課題等

・本施設は設置から35年以上経過し老朽化しており、補修箇所が多くなっている。また、耐震診断も必要である。
・施設の老朽化や果樹の成長に伴い、維持管理費が増大している。

5　管理に関する実施方針

・圃場の管理は研究意義や市場性が低下した木などを中心に整理し、最新かつ普及性の高い技術の展示に重点を置き、効率的に管理する。

6　管理に関する実施計画

かづの果樹センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	圃場フェンス一部設置	3,047	破損箇所修繕（食害防止）
R6	耐震改修	89,300	
R6	本館、格納庫屋根修繕（塗り直し）	2,000	屋根の修繕と腐食防止
	（　合　計　）	94,347	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	926	920	各種点検等
運用コスト	2,266	2,359	2,047	電気・ガス・水質検査等
修繕コスト				
その他	100	100	100	職員による簡易修繕等費用
（合計）	3,308	3,385	3,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
生産物売払収入	3,355	2,687	4,700	リンゴ等果実売上金

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,000	1,000	1,000	相談者・見学者等（概数）

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（畜産試験場）

1 施設の概要

施設名称	畜産試験場	所在地	大仙市
施設面積	21,038.40 ㎡	建設年	平成元年
構造･階数	鉄骨コンクリート造・２階	台帳価格	425,117,039 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・現在、畜産物は国内外の産地間競争に晒され、農家は低コスト化と高品質生産の実現が喫緊の課題となっている。本施設は、そうした農家に対する技術指導や先端技術の開発、優良種畜・精液等の配付、更には情報の提供など、県内畜産農家を支える礎、畜産技術の拠り所として、その果たす役割は益々大きくなるものと考えられる。このため、現有施設は今後も維持していかなければならないものと考えている。
・施設は老朽化が激しく、農家からの今後のニーズを見込みながら、各施設の建替または修繕を実施していく。なお、現在、不使用のものは廃止のうえ除却する。

※ 集約・複合化の検討について

畜産技術に関する試験研究を行う施設であり、畜舎等の配置が必要であること、防疫上の観点から集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

畜産技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も畜産振興に向けて県がその役割を果たしてく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の畜産振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【管理棟：目標使用年数60年、畜舎等：同25年】

・管理棟の経年劣化が激しく、平成26年に屋根を葺替えする等の小規模修繕を行ってきた。
今後、数年以内に給排水設備、冷暖房設備の大規模修繕を図りながら長寿命化を図る。
・なお、場内には60もの畜舎等が散在しているが、建設年もそれぞれ異なり、既に目標使用年数25年を経過した施設もあることから、今後は部門の必要性を検討しながら、各施設の除却や修繕を行っていく。

4 管理上の課題等

・昭和24年に農林省から移管を受けた当時の施設が現存することや糞尿による施設の腐食などで劣化が激しいこと、更には施設の数が多く散在すること、施設規模が大きいことなどから、故障・破損の頻度が高く、多くの修繕経費を要する状況となっている。
・また、増改築を重ねてきた結果、給排水設備や電気設備等が複雑になっていることから、管理が難しくなっている。

5　管理に関する実施方針

・職員等の作業の安全確保に必要な整備、老朽化による必要な整備の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。
・修繕も厳しい老朽化施設については更新を要望するとともに、既に使用を中止している施設等については、除却・撤去していく。

6　管理に関する実施計画

畜産試験場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	養豚施設等除却	8,613	
R3	養豚施設等除却	232,218	
R4	管理棟・改良増殖棟空調設備改修（設計）	2,478	
R6	管理棟・改良増殖棟空調設備改修（工事・設計監理）	150,000	
R7	畜舎設備等改修、管理棟・改良増殖棟設備等改修、電気設備等改修	117,821	
	（　合　計　）	511,130	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備　考
保守コスト	5,463	4,837	4,554	
運用コスト	14,957	15,380	14,428	
修繕コスト	15,491	16,464	14,709	
その他	－	－	－	
（合計）	35,911	36,681	33,691	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,011	863	493	依頼採精分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【総括表】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（水産振興センター）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	水産振興センター	男鹿市	存続	大規模修繕を実施
2	水産振興センター内水面試験池	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

両施設とも立地環境が厳しいことから、劣化状況を常時確認し、機能上及び安全上、優先すべき部分から計画的に対策を実施する。水産振興センター（Ｎｏ．１）の種苗生産施設は、平成３０年度で更新が完了したことから、今後は水産振興センター（Ｎｏ．１）の本館棟などの管理施設及び内水面試験池（Ｎｏ．２）の施設について、優先的に修繕等の対策を実施する。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	水産振興センター

1 施設の概要

施設名称	水産振興センター	所在地	男鹿市
施設面積	7,751.51　㎡	建設年	昭和60年
構造･階数	鉄筋コンクリート造・３階	台帳価格	1,150,933,002　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県内水産業の振興を図るための唯一の試験・研究施設として県内漁業者等に対する重要な支援機関となっている。このため今後も存続する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

水産技術に関する試験研究を行う施設であり、水槽等の専門施設を必要とするため、集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

水産技術に関する試験研究並びに水産業に関する改良普及を行う機関であり、今後も水産振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の水産振興のために必要な研究は、県が実施すべき業務であると考えている。

※　市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

本館棟・倉庫類は今後も継続して使用する場合、耐用年数を迎えるまでに大規模修繕又は更新が必要と見込まれる。
また、目標使用年数経過後も施設としての存続が必要と見込まれるため、当該時点の施設状況を勘案のうえ、維持・管理方法を検討する必要がある。

4　管理上の課題等

本館棟及び倉庫類は外壁の剥離や損傷が多く発生しており、空調や衛生設備等も老朽化が進んでいるため、今後10年以内に大規模修繕が必要と思われる。

5　管理に関する実施方針

・　機能維持に係る部分は、常時点検を行い計画的な修繕を実施する。
・　職員、利用者等の安全に関わる部分については早期に改修等を実施する。

6　管理に関する実施計画

水産振興センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	－	0	
R2	－	0	
R3	－	0	
R4	受変電設備改修	18,680	本館棟、海水ポンプ棟
R6	本館棟非常用自家発電設備交換	7,920	
R6	船舶棟屋根修繕	9,900	
R6	本館棟外部建具等改修	58,960	
R6	本館棟外壁改修	61,567	
R7	車庫棟外部塗装修繕	3,905	
R7	本館棟自動火災報知設備及びガス漏れ警報設備更新	7,009	
R7	非常放送設備点検	2,984	
	（　合　計　）	170,925	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,153	7,089	6,787	
運用コスト	23,128	22,026	18,185	
修繕コスト	9,881	8,223	8,659	
その他	0	0	0	
(合計)	40,162	37,338	33,631	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,204	1,180	1,269	施設見学者

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	水産振興センター内水面試験池

1 施設の概要

施設名称	水産振興センター内水面試験池	所在地	北秋田市
施設面積	597.35 ㎡	建設年	平成６年
構造･階数	木造・１階	台帳価格	32,228,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県内水産業の振興を図るための唯一の試験・研究施設として県内漁業者等に対する重要な支援機関となっている。このため今後も存続する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

内水面漁業に関する試験研究を行う施設であり、水槽等の専門施設を必要とするため、集約・複合化は困難である。

※　公民連携の検討について

内水面漁業に関する試験研究を行う機関であり、今後も県がその役割を果たしていく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の水産振興のために必要な研究は、県が実施すべき業務であると考えている。

※　市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

当面は、機能維持のための小規模な修繕を行いながら使用する。また、目標使用年数経過後も施設としての存続が必要と見込まれるため、当該時点の施設状況を勘案のうえ、維持・管理方法を検討する必要がある。

4　管理上の課題等

点検等を行いながら小規模な修繕を随時行う必要がある。

5　管理に関する実施方針

・　機能維持に係る部分は、常時点検を行い計画的な修繕を実施する。
・　職員等の安全に関わる部分については早期に改修等を実施する。

6　管理に関する実施計画

水産振興センター内水面試験池に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	－	0	
R2	管理棟・試験棟屋根更新	15,985	
R3	－	0	
R4	－	0	
R5	－	0	
	（　合　計　）	15,985	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	288	298	299	
運用コスト	779	928	970	
修繕コスト	65	0	96	
その他	0	0	0	
(合計)	1,132	1,226	1,365	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	92	136	33	施設見学者

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	林業研究研修センター

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（林業研究研修センター）

1 施設の概要

施設名称	林業研究研修センター		所在地	秋田市	
施設面積	4,847.47	㎡	建設年	平成２年	
構造･階数	鉄筋コンクリート造・２階		台帳価格	494,922,007	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

森林・林業に関する試験研究並びに林業従事者の育成を行う県内唯一の施設であることから、長寿命化対策等により施設を存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

森林・林業に関する技術等の試験研究を行う施設であり、育種・試験等に関する施設・用地を要することから、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

森林・林業に関する技術等の試験研究を行う機関であり、今後も林業振興に向けて県がその役割を果たしてく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の林業振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

適切な保守・保全管理を行うことにより長寿命化を図る。

4 管理上の課題等

・法定耐用年数を経過して老朽化が目立つ建物については、専門家の診断を受ける必要がある。
・空調設備の一部については改修を実施しているが、給水管更新をはじめとする機械設備関係の大規模改修の検討が必要である。

5　管理に関する実施方針

・建設後３０年を経過しようとしており、上記３、４を踏まえ、設備関係を中心に大規模改修の調査・検討を実施し、故障等により研究・研修機能が停止しないよう適切な保守・保全管理を実施する。
・改修にあたっては、運用コスト縮減を図るための措置を講ずる。

6　管理に関する実施計画

林業研究研修センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R02	消防用設備の更新、研究用設備の更新	54,812	
R03	研究用実験棟の改築	190,000	
R04	空調設備・温室暖房設備の更新	6,919	
R05	空調設備（種子棟温風乾燥機）の更新	1,915	
R06	受変電・発電設備等更新	68,405	
R07	空調設備の更新	201,414	
	（　合　計　）	523,465	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,279	3,099	3,168	
運用コスト	12,694	13,398	12,217	
修繕コスト	2,177	1,007	2,598	
その他				
（合計）	17,150	17,504	17,983	※建築物のみ

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	2,138	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	589	779	635	見学者、研修生等

【総括表】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（家畜保健衛生所）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北部家畜保健衛生所	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	中央家畜保健衛生所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	南部家畜保健衛生所	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

各地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、いずれの施設についても適切に修繕を行い、存続させていく。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	北部家畜保健衛生所

1 施設の概要

施設名称	北部家畜保健衛生所	所在地	北秋田市
施設面積	919.28 ㎡	建設年	平成２年
構造･階数	木造・２階	台帳価格	10,701,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

家畜衛生の推進による畜産振興のため法に基づき県が設置する施設であり、予防保全型の管理による長寿命化対策の実施を基本とし、長期的には建替えを検討しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、集約・複合化はできない。

※　公民連携の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、県が運営していく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、譲渡はできない。

※　市町村協働の検討について

家畜保健衛生所法に基づき県が設置する施設であり、市町村協働になじまない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設後33年が経過し、減価償却資産の耐用年数は経過しているが、現在のところ外見上安全性に支障のある損壊箇所はなく、今後、定期的な予防保全型管理の実施を基本として使用する。

4　管理上の課題等

特定家畜伝染病発生時における施設内を清浄エリア、汚染エリアを区別できる構造に修繕。施設入口に車両の消毒ゲートを設置検討。施設の定期的な修繕が必要。
・事務所：外壁について浮きや塗装の劣化、腐食を認める。囲障の破損。
・家畜検査冷蔵保管施設：冷蔵室内壁の錆の発生や冷凍機の腐食。

5　管理に関する実施方針

特定家畜伝染病発生時のための施設修繕を実施
・事務室：外壁の修繕、清浄エリア・汚染エリアを区別できる施設修繕、ｷｭｰﾋﾟｸﾙ機械等改修工事、囲障の交換、車庫シャッターの交換
・北部地域家畜検査冷蔵保管施設：冷蔵室内壁の錆除去、冷凍機の交換

6　管理に関する実施計画

施設等に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	外壁の補修	9,460	
R6	ｷｭｰﾋﾟｸﾙ機械等改修工事（変圧器の交換）	1,000	
R7	囲障の交換	4,840	
R7	車庫シャッターの交換	3,905	
R7	冷蔵保管施設内壁の錆除去、冷凍機の交換	5,000	
R7	アルミサッシ・ブラインド等交換	3,000	
R7	天井の張り替え工事	3,500	
R7	事務所・検査室エアコン	4,000	
R7	事務所・検査室暖房機	4,000	
	（　合　計　）	38,705	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,213	1,175	1,255	
運用コスト	1,908	1,994	1,537	
修繕コスト	592	4,412	9,829	
その他				
(合計)	3,713	7,581	12,621	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,386	2,133	2,462	条例による使用料・手数料

（単位：戸）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,455	1,290	1,569	家畜伝染病予防事業で検査を実施した延べ戸数

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	中央家畜保健衛生所

1 施設の概要

施設名称	中央家畜保健衛生所	所在地	秋田市
施設面積	1,352.76 ㎡	建設年	昭和56年
構造･階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・２階	台帳価格	75,339,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

家畜衛生の推進による畜産振興のため法に基づき県が設置する施設であり、予防保全型の管理による長寿命化対策の実施を基本とし、長期的には建替えを検討しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、集約・複合化はできない。

※　公民連携の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、県が運営していく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、譲渡はできない。

※　市町村協働の検討について

家畜保健衛生所法に基づき県が設置する施設であり、市町村協働になじまない。

3　目標使用年数　　【今後10年以上使用】

現在のところ外見上安全性に支障のある損壊箇所はなく、今後、定期的な予防保全型管理の実施を基本とし、減価償却資産の耐用年数である令和13年度まで使用する。

4　管理上の課題等

施設の定期的な修繕が必要。
・事務所：外壁にひび割れあり。

5　管理に関する実施方針

経年劣化等により、安全性や業務の推進に支障を来すと予測される項目について、計画的対応が必要である。

①不具合がでている電話主装置改修
②劣化した高圧引き込みケーブルの更新
③開閉に支障のある車庫シャッターの交換
④腐食変形している囲障の改修
⑤ボイラー式暖房設備の更新（配管含む）
⑥故障している冷房用設備の更新
⑦男子トイレの洋式化
⑧屋上防水改修工事

6　管理に関する実施計画

施設等に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	電話主装置改修	10,410	
R5	高圧引き込みケーブル更新	1,375	
R5	車庫シャッターの交換	500	
R6～	囲障の一部改修	3,500	
R6～	ボイラー式暖房設備の更新（配管含む）	5,000	
R6～	検査室のエアコン修繕	6,545	
R6～	男子トイレの洋式化	500	
R6～	屋上防水工事（ドレン周り）	2,000	＊H17改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水他実施
	（　合　計　）	29,830	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,421	1,906	2,330	
運用コスト	2,987	2,822	2,426	
修繕コスト	1,110	1,448	1,327	
その他				
（合計）	6,518	6,176	6,083	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,640	3,281	3,083	条例による使用料・手数料

（単位：戸）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,125	1,035	1,009	家畜伝染病予防事業で検査を実施した延べ戸数

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	南部家畜保健衛生所

1 施設の概要

施設名称	南部家畜保健衛生所	所在地	大仙市
施設面積	922.92 ㎡	建設年	平成５年
構造･階数	木造・２階	台帳価格	4,789,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

家畜衛生の推進による畜産振興のため法に基づき県が設置する施設であり、予防保全型の管理による長寿命化対策の実施を基本とし、長期的には建替えを検討しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、集約・複合化はできない。

※　公民連携の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、県が運営していく必要がある。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、譲渡はできない。

※　市町村協働の検討について

家畜保健衛生所法に基づき県が設置する施設であり、市町村協働になじまない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数60年】

現在のところ外見上安全性に支障のある損壊箇所はない。平成29年度に減価償却資産の耐用年数を迎えるため、今後、定期的な予防保全型管理の実施を基本として使用する。

4　管理上の課題等

経年劣化に伴う施設及び設備の定期的な修繕が必要。
解剖棟の焼却炉が老朽化しており、住民の安全確保のため状況に応じて撤去し、防疫資材備蓄庫等としての活用を検討している。

5　管理に関する実施方針

躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装、冷暖房設備の改修周期は２０年を目標とする。
また、家畜検査冷蔵保管施設の冷却装置は腐食しやすい環境であることから改修周期は５年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

施設等に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	気中開閉器等改修	8,087	
R6	家畜検査冷蔵保管施設の冷却装置修繕	2,000	ユニットクーラー交換
R7	家畜検査冷蔵保管施設の冷却装置修繕	1,540	冷凍圧縮機更新
R7	焼却炉の撤去及び解剖棟の屋根修繕	5,667	
R7	構内駐車場のフェンス整備	3,476	
R7	暖房及び冷房設備更新	20,000	
R7	屋根（本館、車庫、解剖棟）の塗装	3,000	
R7	外壁（本館）の塗装	5,000	
	（　合　計　）	48,770	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	861	928	919	
運用コスト	1,482	1,625	1,465	
修繕コスト	2,873	15,885	254	H26 庁舎屋根葺替等 15,819,840円
その他				
（合計）	5,216	18,438	2,638	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,671	1,859	1,828	条例による使用料・手数料

（単位：戸）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,577	1,509	1,367	家畜伝染病予防事業で実施した検査延べ戸数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋田県種苗センター）

1 施設の概要

施設名称	秋田県種苗センター		所在地	大潟村	
施設面積	2,487.42	㎡	建設年	平成２年	
構造･階数	木造・１階		台帳価格	47,081,003	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・本施設は公益社団法人秋田県農業公社種苗センターが種苗生産に係る施設として使用し、原種生産を行っている。
・また、県オリジナル品種である枝豆、西瓜、メロン、漬物大根の種子も生産し、県内に供給しており、秋田県農業において非常に重要な施設となっている。

※ 集約・複合化の検討について

・県のオリジナル品種を含む種苗供給を担う施設であり、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

・県のオリジナル品種を含む種苗供給を担う施設であり、県内農業者へ責任ある供給体制を今後も県が維持していく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・県のオリジナル品種を含む種苗供給を担う施設であり、その使命を果たしていく必要があること、また、採算性の面からも、譲渡は困難である。

※ 市町村協働の検討について

・全県の生産者に種苗を供給するための施設であるため、特定の市町村との協働にはなじまない。

3 目標使用年数 【目標使用年数４０年】

・緊急性を要する箇所から修繕を行うとともに、本来の機能が発揮できるよう維持管理する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化等を踏まえ、再度検討する。

4 管理上の課題等

・本館は、木造のログハウス調の建物であるため、木材が外側に露出している。
・一般の建物であれば、外壁が風雨を防ぎ、構造体である木材の腐食を防止するが、その機能が無いため腐食が著しく、この修繕をどのように行っていくのかという課題がある。

5　管理に関する実施方針

・本館の構造体を補修するには約1,000万円の見積もりを提示されており、大規模修繕の対象となりうると考えている。
・構造体の腐食による強度・耐震性の低下は未知数であるが、修繕対象とならなかった場合は、事務所としての機能を維持する為の最低限の修繕を行う方針である。

6　管理に関する実施計画

秋田県種苗センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	本館の外壁柱･屋根･床面の修繕	12,087	
R6	現業職員詰所の外壁・屋根の張替え	9,955	
	（　合　計　）	22,042	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	534	525	522	
運用コスト	593	632	631	
修繕コスト	0	46	10	職員による簡易修繕費
その他				
(合計)	1,127	1,203	1,163	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋田県種苗センター（神岡））

1 施設の概要

施設名称	秋田県種苗センター（神岡）	所在地	大仙市
施設面積	939.92 ㎡	建設年	昭和39年
構造･階数	木造・１階	台帳価格	9 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

この施設の比内地鶏素雛の供給シェアは全供給量の30%前後で推移してきており、比内地鶏生産における本施設の担っている役割は非常に大きい。

※ 集約・複合化の検討について

比内地鶏の素雛の供給生産を行う施設であり、防疫の観点からも集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

比内地鶏の素雛の安定供給のため、今後も県が関与する必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

比内地鶏素雛の生産・供給事業は収益性が低いため、素雛の生産・供給事業のみを民間等に譲渡することは困難である。

※ 市町村協働の検討について

同様の施設を有する市町村は無いため、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・本施設は比内地鶏生産における重要な役割を担っていることから、今後も継続して使用していく。
・築50年以上が経過し、屋根や外壁の損耗が激しく雨漏り等の兆候が見受けられることから、予防保全型の修繕を実施し、施設の長寿命化を図り今後10年以上使用する。
・目標使用年数経過後は当該施設の取扱について検討する。

4 管理上の課題等

・トタンに錆が発生し、劣化が進んでいる。
・壁が一部剥離している部分がある。
・古い建物であり、耐震工事等を実施していない。

5　管理に関する実施方針

・本施設は比内地鶏の安定生産に欠かせないことから、素雛生産の機能維持に努める。
・現在は予防型の修繕を実施し施設維持をしているが、必要に応じて抜本的な修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

秋田県種苗センター（神岡）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	耐震改修	47,300	
R7	屋根、外壁等の修繕	20,000	状況に応じて修繕実施
	（　合　計　）	67,300	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無償貸付

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	9	9	9	農業公社職員

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（森林学習交流館（プラザクリプトン））

1 施設の概要

施設名称	森林学習交流館（プラザクリプトン）	所在地	秋田市
施設面積	4,630.40 ㎡	建設年	平成７年
構造･階数	鉄筋コンクリート造・３階	台帳価格	672,292,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県内唯一の森林・林業に関する研修・学習施設として、これまで県民に対する意識の高揚や、本県林業の振興に果たしてきた役割は大きい。また、森林ボランティア団体等を支援する中核的な施設でもあることから、長寿命化対策等により今後も施設を存続していく考えである。

※ 集約・複合化の検討について

森林・林業に関する研修・学習施設であり、類似施設は無く、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度により、民間企業のノウハウを取り入れ施設の管理運営を行っているところである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

本施設は森林・林業に関する学習・研修の機会を提供し、本県林業を担う若い人材の確保・育成を図ることを目的としているため、今後も県直営施設として運営していく必要がある。

※ 市町村協働の検討について

林業の担い手確保・育成対策は、県が率先して行う施策であり、同様の取り組みを行っている市町村はないことから、今後も県直営施設として運営していく。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

各種設備は、当面、修繕により機能維持に努めることとする。
施設本体は、耐用年数の2分の1が経過する令和７年頃を目処として老朽化・耐久性に対する調査を実施し、調査結果によりその後の維持・管理方法を検討する。

4 管理上の課題等

供用開始から20年が経過しており、各種設備について大規模修繕の検討が必要となっている。

5　管理に関する実施方針

・当施設は、研修・会議室利用のほか、宿泊客やレストラン利用者など一般客も多く利用する施設であるため、利用客の安全性はもとより、利便性・快適性を優先した老朽設備の更新を行う。
・耐用年数1/2にあたるR7に施設の大規模修繕に向けた診断調査を実施することにより、長寿命化計画を策定し、計画的に修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

森林学習交流館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	老朽化・耐久性に関する施設全体の調査 軒先雨樋・軒先天井修理、外壁洗浄・塗装、リモートユニット更新、中央監視装置更新	97,506	
R7	電話交換機設備更新、屋上防水修理、カードキーシステム工事、客室建具装置（防火扉）、館内カーペット交換・張替	78,003	
	（　合　計　）	175,509	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,013	4,038	4,041	
運用コスト	9,374	9,395	9,435	
修繕コスト	3,405	2,891	3,215	
その他				
(合計)	16,792	16,324	16,691	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	66,106	63,770	64,083	会議室、宿泊、レストラン、売店等

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	60,837	67,855	65,178	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（計量検定所）

1 施設の概要

施設名称	計量検定所		所在地	秋田市川尻若葉町１番５号
施設面積	915.70	㎡	建設年	平成２年
構造･階数	ＲＣ造１階		台帳価格	78,353,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

計量法には地域における検査等の実施主体は都道府県と定められており、県は継続的に検査機能を維持する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

現時点で予定はない。

※ 公民連携の検討について

・平成２２年度に、計量法に基づく業務の効率化等を図るため組織改正を行った。
（計量検定所は廃止、検査等の主たる業務は外部委託、それ以外の業務は産業政策課に移管）
・土地・建物の管理は県（産業政策課）が行い、業務を受託した（一社）秋田県計量協会が検査等に必要な部分について許可を得て使用している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

計量法で検査等の実施主体は都道府県と定められているため検討の予定はない。

※ 市町村協働の検討について

計量法で検査等の実施主体は都道府県と定められているため検討の予定はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

鉄筋コンクリート造の施設で耐用年数は５０年である。
予防保全型の修繕を実施することで耐用年数経過後もできるだけ長く使用することを想定。
その後は、建物・設備の状況により、建替等を検討。

4 管理上の課題等

・経年劣化により庇の一部が落下するなどの破損が生じてきており、内部の設備等も含めて、施設全体の要修理箇所の確認が必要。
・確認次第では、中長期的な修繕計画の策定が必要。

5　管理に関する実施方針

・検定施設であることから、検査行為がどの受験者に対しても同様な条件で検査ができるよう施設及び設備の機能を維持する。
・躯体保護のため屋根の防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とし、冷暖房設備の更新、電気設備の改修、内装の改修なども実施する。

6　管理に関する実施計画

計量検定所に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	空調設備修繕	1,871	
7	屋根張替	25,577	
7	電気設備改修	3,857	幹線、ケーブル
7	冷暖房設備更新	6,380	H12整備
7	内装改修	3,828	
	（　合　計　）	41,513	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,223	1,240	1,261	警備、清掃、設備点検費
運用コスト	975	970	788	電気、ガス、水道等
修繕コスト	49	89	62	小破修繕費
その他				
(合計)	2,247	2,299	2,111	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,560	5,045	4,677	検査･検定に係る手数料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,621	1,310	1,274	施設利用による検査件数

【総括表】

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（産業技術センター）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	産業技術センター本館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	産業技術センター高度技術研究館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

本館（Ｓ５７年竣工）と高度技術研究館（Ｈ４年竣工）で建築年数が１０年違うので、老朽化は本館の方が進んでいるが、安全及び利用者の利便性の確保に向けた修繕を優先し、それから経年劣化に伴う修繕を実施する。

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	産業技術センター本館

1 施設の概要

施設名称	産業技術センター本館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-11
施設面積	9,552.95 ㎡	建設年	昭和57年
構造･階数	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階	台帳価格	366,539,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

当面は、施設等の保守・修繕を適切に実施し、公設試験研究機関としての機能維持・向上を図っていく。

※ 集約・複合化の検討について

今後、施設の老朽化の度合いを踏まえ、建て替え等を検討する際には、高度技術研究館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

目標使用年数経過後は、施設の老朽化の度合いを踏まえ、高度技術研究館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

4 管理上の課題等

建設後、相当の年数を経過し、経年劣化によるシャッターの腐食や雨漏りが発生しているほか、塩害による腐食等、空調設備も劣化している。今後、公設試験研究機関としての機能維持を図っていくには、緊急避難的な修繕のほか、ライフラインを含めた大規模修繕の実施など長期的な視点に立った修繕計画を立案する必要がある。

5　管理に関する実施方針

・安全及び利用者の利便性の確保に向け優先度の高い修繕から実施する。
・経年劣化による腐食等に対応した修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

産業技術センター本館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	空調更新工事	29,869	経年劣化による空調機器の腐食・省エネ対策
30	火災報知設備更新	15,403	消防防災上の大規模修繕
1	自動ドア開閉装置改修	2,024	センサー不良による挟まれ・衝突防止等安全対策
2	直流電源設備改修	29,203	故障のため非常時に必要な電源が確保できない
3	Ｂ棟機械加工試験室シャッター修繕	565	経年劣化によるシャッター腐食のため
6	Ｂ棟焼結・結合研究室シャッター修繕	3,126	〃
6	Ｂ棟金属溶解試験室シャッター修繕	2,998	〃
6	Ｂ棟精密強度試験室シャッター修繕	2,980	〃
6	受変電設備更新	187,000	設置から40年経過・防災上の大規模修繕
6	エレベータ更新	29,139	設置から40年経過・故障中・重量物を安全に2階に運搬するため
6	Ｃ棟電気電子開放研究室空調機更新	6,842	設置から27年経過・熱交換器の劣化・省エネ対策
6	Ｂ棟研究員職員室空調機更新	3,630	室外機故障のため
	（　合　計　）	312,779	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,608	7,925	11,775	
運用コスト	25,600	25,778	19,980	
修繕コスト	2,493	3,291	9,851	施設分のみ集計
その他	0	0	0	
（合計）	35,701	36,994	41,606	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	16,688	14,346	19,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,509	3,970	4,321	センター分として集計

【個別票】

更新日：R5.3.31

2	施設名	産業技術センター高度技術研究館

1 施設の概要

施設名称	産業技術センター高度技術研究館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-21
施設面積	6,611.34 ㎡	建設年	平成4年
構造･階数	鉄筋コンクリート造、地上3階	台帳価格	1,612,058,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

当面は、施設等の保守・修繕を適切に実施し、公設試験研究機関としての機能維持・向上を図っていく。

※ 集約・複合化の検討について

本館の建て替え等を検討する際に、本館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

本館の建て替え等を検討する際に、本館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

4 管理上の課題等

建設後、相当の年数を経過し、経年劣化による屋根・壁等のシーリングの劣化により漏水が発生しているほか、空調設備の自動制御機能の一部に故障が生じている。今後、公設試験研究機関としての機能維持を図っていくためには、緊急避難的な修繕のほか、ライフラインを含めた大規模修繕の実施など長期的な視点に立った修繕計画を立案する必要がある。

5　管理に関する実施方針

・安全及び利用者の利便性の確保に向け優先度の高い修繕から実施する。
・経年劣化による腐食等に対応した修繕を実施する。
・クリーンルームについて、これまでの実績（県内企業への技術展開）と今後の維持費等を踏まえて、空調の見直しを検討する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

産業技術センター高度技術研究館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自動給水ポンプユニット改修	1,690	圧力維持・交互運転不良による。
30	天井落下防止対策工事	12,166	
1	自動ドア開閉装置	2,057	設置から15年以上、保守部品の製造終了
2	外部スチールドア修繕	1,018	腐食による開閉困難
6	空調自動制御機器改修（重度）	10,020	制御弁・指示調節計・信号変換器等の故障による自動制御不良
6	空調自動制御機器改修（軽度）	951	〃
6	壁面漏水対策工事	17,397	シーリングの劣化により漏水が発生。大規模改修
6	受変電設備更新	32,343	設置から30年経過・防災上の大規模修繕
6	自動制御装置更新（中央監視盤）	13,750	突発的な故障発生・一部制御不能
6	一般研究室エアコン更新	7,078	経年劣化により稼働不可
6	セミナールームエアコン更新	5,136	〃
6	視聴覚研修室エアコン更新	8,450	〃
6	エレクトロニクスＢエアコン更新	5,170	〃
6	熱源機械室リモートユニット更新	4,400	突発的な故障頻発・計測不能
6	空調機械室リモートユニット交換	15,552	突発的な故障頻発・一部制御不能
	（　合　計　）	137,178	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	25,060	24,644	24,513	
運用コスト	53,692	57,014	42,424	
修繕コスト	2,161	2,300	10,898	施設分のみ集計
その他	0	0	0	
（合計）	80,913	83,958	77,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,564	6,577	6,398	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,509	3,970	4,321	センター分として集計

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（秋田県勤労身体障害者スポーツセンター）

1 施設の概要

施設名称	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	1,277.37 ㎡	建設年	昭和５１年
構造･階数	鉄筋コンクリート造・１階	台帳価格	25,955,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

勤労身体障害者など障害者が優先利用できるスポーツセンターであり、県内に同様の施設もないことから、適宜修繕を行いながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

現時点で予定はない。

※ 公民連携の検討について

平成１８年度より指定管理者制度を導入。現在の指定管理者は一般財団法人秋田市勤労者福祉振興協会となっており、令和５年度から７年度までの３年間も同協会が指定管理者。今後も指定管理者制度で運営を予定。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現時点で予定はない。

※ 市町村協働の検討について

現時点で予定はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
目標年数使用後は、建物の劣化状況や利用状況等を考慮し、施設の方針（集約・複合化等）を検討。

4 管理上の課題等

・築４７年であるため、修繕が必要な箇所が増加している。
（令和元年度は水道管腐食による漏水などあり）

5　管理に関する実施方針

・利用者が使用する物や場所については早めに修繕を行う。
・外壁については現在不便はないが、雨漏りや剥落の危険性があるため、長期的に建物を使用するには修繕が必要と考えられる。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期はそれぞれ２０年と１５年とする。

6　管理に関する実施計画

秋田県勤労身体障害者スポーツセンターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
6	外壁他改修工事	40,864　全面修繕	コンクリート割れ、剥がれ、塗装剥がれ、浮き等あり
6	館内暖房機交換工事（6台）	1,062	
	（　合　計　）	41,926	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,012	1,035	1,052	
運用コスト	1,585	1,167	1,062	
修繕コスト	1,325	356	417	
その他				
（合計）	3,922	2,558	2,531	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	0

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	10,869	10,906	11,345	

【総括表】

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（技術専門校）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鷹巣技術専門校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	秋田技術専門校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	大曲技術専門校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

全体的に比較的新しい施設であるが、建設後一定の年数が経過しており設備などに劣化等がみられるため、各施設の管理に関する実施計画等に基づき順次修繕等を行う。
各施設とも耐用年数までの使用を目標としていることから、今後も適切な管理を行う。

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	鷹巣技術専門校

1 施設の概要

施設名称	鷹巣技術専門校	所在地	北秋田市
施設面積	7,051.52 ㎡	建設年	H19
構造･階数	W造２階（清和寮　RC造２階）	台帳価格	814,419,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

建設後１５年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は、建て替えを要する。

4　管理上の課題等

・本館については、外壁塗装の劣化や所々修繕が必要な箇所があるほか、清和寮については、屋根のひび割れ等の劣化による漏水の危険がある屋上防水工事のほか、暖房機器取替工事等、比較的規模の大きい修繕が見込まれる。

5　管理に関する実施方針

・本館については、外壁塗装の劣化などがみられるため、修繕が必要である。清和寮についても、屋上防水工事、暖房機器取替工事等が必要である。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。
・修繕の優先順位については、訓練生に直接支障の生じる箇所を最優先とした上で、老朽化の度合い等を鑑み、設定した。

6　管理に関する実施計画

鷹巣技術専門校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	寄宿舎（清和寮）屋根防水工事実施設計	549	
31	寄宿舎（清和寮）屋根防水工事	14,864	
3	格納庫屋根葺替え（実施設計）	1,067	
6	格納庫屋根葺替え	5,580	
6	本館渡り廊下屋根防水工事	3,707	
6	空調設備の更新	76,264	
6	本館外壁木部塗装工事	23,980	
7	自動車整備科実習棟床修繕工事	3,333	
7	資材庫及び公用車車庫屋根板金	4,312	
7	寄宿舎（清和寮）石油暖房器取替工事	12,102	
7	自動火災報知設備更新	6,600	
	（　合　計　）	152,358	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,875	18,398	15,671	
運用コスト	7,932	7,515	6,346	
修繕コスト	603	700	600	
その他				
(合計)	24,410	26,613	22,617	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	185	182	159	

【個別票】

更新日：R5.3.31

2	施設名	秋田技術専門校

1 施設の概要

施設名称	秋田技術専門校		所在地	秋田市	
施設面積	8,385.89	㎡	建設年	H13	
構造･階数	ＲＣ造２階		台帳価格	1,090,550,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

建設後２１年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は、建て替えを要する。

4 管理上の課題等

・建設後２２年を経過しており、施設の経年劣化に伴う修繕・改修等において、既定の予算で対応するには厳しい状況になっている。
・特に、海に近いため、塩害による腐食等が激しい。

5　管理に関する実施方針

・建設後２２年を経過しており、空調室内機や自動ドア、電気設備の部品の交換等が必要になっているため、状況をみながら随時修繕を施工していく必要がある。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田技術専門校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	実習場屋根板金工事・塗装	3,000	
3	屋根一部改修（実施設計）	1,067	
6	屋内空調機更新	15,000	
6	防水工事	5,000	
	（　合　計　）	24,067	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,592	3,585	3,605	うち各年、約2,300千円は訓練センターを含めての契約
運用コスト	9,551	9,200	7,825	
修繕コスト	1,434	2,404	3,438	
その他				
（合計）	15,577	15,189	14,868	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	403	468	415	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	大曲技術専門校

1 施設の概要

施設名称	大曲技術専門校		所在地	大仙市	
施設面積	8,396.24	㎡	建設年	H17	
構造･階数	ＲＣ２階		台帳価格	859,525,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

建設後１８年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は建て替えを要する。

4　管理上の課題等

・建設後１７年を経過し、所々修繕が必要な箇所が出てきている。２７年度は、膨張タンクや循環ポンプの修繕を行っているが、現在使用中の空調設備（デンソー製灯油ヒートポンプ）が製造中止になっているなど、今後とも機械設備については、大規模な修繕が予想される。

5　管理に関する実施方針

・建設後１０年を経過することから、空調設備の更新の他、屋根の塗装や講堂棟・管理棟の防水工事などが必要となる。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大曲技術専門校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	体育館の天井耐震化工事	29,753	
4	屋根防水改修（設計）	1,379	
5	屋根葺替え	67,010	
6	空調設備の更新	77,540	
7	防水工事	5,000	
	（　合　計　）	180,682	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,122	9,416	5,485	
運用コスト	9,991	9,788	8,384	
修繕コスト	704	1,348	4,028	
その他	84	87	87	
(合計)	15,901	20,639	17,984	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	358	383	356	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（職業訓練センター）

1 施設の概要

施設名称	職業訓練センター		所在地	秋田市	
施設面積	3,736.86	㎡	建設年	S49	
構造･階数	ＲＣ造２階		台帳価格	53,948,005	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

耐用年数までは施設を存続する。
ただし、休止中の研修寮と体育館は除却（解体）することとする。

※ 集約・複合化の検討について

施設の管理面からは秋田技術専門校との複合化（従）が望ましいが、現在の専門校敷地面積では訓練センターの実習場や駐車場などの敷地確保が困難であり、また、訓練センターに入居している県職業能力開発協会（職業能力開発促進法に基づき設置されている法人であり、県と密接な連携の下、国家検定である技能検定の実施などを通じて、本県における職業能力開発の促進を図っている。）の活動に必要な施設をどう確保するか等の課題がある。

※ 公民連携の検討について

当該施設は、常設の技能検定試験場の役割をもち、能開法により、技能検定業務は県が行うものとされ（自治事務）、そのうち技能検定試験の実施は県職業能力開発協会が行っており、他の民間団体への業務委託を行うには現行法上困難である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

耐用年数の使用を目指すが、建設後４０年以上経過していることから、雨漏りが散発するなど老朽化が著しい。また、現在は認可されない地下式受水槽を設置しており、配水管の老朽化による漏水の発生等、適切な維持管理が困難となっている。可能であれば、耐用年数を待たず建替えることが望ましいが、入居している県職業能力開発協会の活動に必要な施設の確保が課題となっている。耐用年数をふまえた施設の方向性を検討しつつ、県職業能力開発協会の業務に支障がないよう維持管理を継続していく必要がある。
なお、休止中の研修寮、体育館は除却する。

4　管理上の課題等

・施設の老朽化により雨漏りが発生し、その都度修繕工事を行っているなど、施設の老朽化が著しく、根本的には大規模な改修が必要である。大規模な改修には多額の費用がかかることから、建替えが望ましい。
・休止中の研修寮、体育館は、管理上からも解体する必要がある。

5　管理に関する実施方針

・躯体保護のための屋根防水及び外装塗装の改修周期は基本的には２０年を目標とするが、老朽化に伴い雨漏り等が発生した場合、都度応急的な処置を行う。
・付帯設備についても必要に応じ応急的な処置を行う。
・休止中の研修寮、体育館は令和７年に解体する予定。

6　管理に関する実施計画

職業訓練センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	屋上・屋根防水不良修繕（本館、実習場）	1,500	
4	煙突アスベスト改修（設計）	2,955	
5	煙突アスベスト改修（工事）	19,620	
6	屋上・屋根防水不良修繕（本館、実習場）	1,500	
7	体育館・研修寮の解体	40,000	
	（　合　計　）	65,575	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	191	179	181	ほか各年、約2,300千円専門校を含めての契約あり
運用コスト	1,634	1,447	1,378	
修繕コスト	98	1,749	2,018	
その他				
（合計）	1,923	3,375	3,577	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6,071	7,646	6,021	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（金属鉱業研修技術センター）

1 施設の概要

施設名称	金属鉱業研修技術センター		所在地	鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館
施設面積	3,911.00	㎡	建設年	平成３年
構造･階数	ＲＣ造・３階		台帳価格	290,467,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・環境・リサイクル等に関する技術開発や企業への技術支援、人材養成、啓蒙普及などを行うために設置された施設であり、環境と調和した循環型社会形成を推進するうえで、今後もその機能を維持していくことが必要である。
・利用者等の安全・安心の確保から、計画的な維持補修等を実施する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

地域の特性から現在地に設置されており、移転が伴う集約・複合化にメリットは無い。

※ 公民連携の検討について

宿泊施設及びレストランには既に指定管理者制度を導入しており、今後も継続する予定である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

より効果・効率的な管理運営のため、民間等（市町村等を含む）への施設譲渡の可能性について、今後検討していく。

※ 市町村協働の検討について

地元市町村において、協働で管理運営するメリットが見出せない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

円滑な施設管理のために建物のライフサイクルに着目した長期的な視点に立った修繕計画（予防措置計画）を立案する必要がある。

4 管理上の課題等

・利用者が安全に安心して使用できるよう予防措置を含めた修繕が必要となっている。
・経年劣化等による、屋上防水、外壁の劣化（ひび、一部剥落を確認）、内装材（天井、内壁、床の張り替え）の修繕が必要。
・経年による、自家発電設備、自動火災報知設備の更新が必要

5　管理に関する実施方針

・利用者の利便を考慮すれば、工期を集中させる必要がある。
・経年劣化等による、屋上防水、外壁の劣化（ひび、一部剥落を確認）、内装材（天井、内壁、床の張り替え）の修繕を実施する。
・経年による、自家発電設備、自動火災報知設備の更新を行う。

6　管理に関する実施計画

金属鉱業研修技術センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	高圧機器更新	13,481	
3	床貼り替えロスナイ換気設備修繕	24,200	
5	自動火災報知設備更新	44,980	
5	センター玄関庇改修工事	3,861	
6	宿泊棟外壁・屋上防水修繕工事	69,630	
7	レストラン外壁・屋根防水修繕工事	11,000	
7	レストラン棟内部改修工事	22,000	
	（　合　計　）	189,152	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,960	2,059	2,106	
運用コスト	4,535	4,652	4,543	
修繕コスト	3,200	665	12,358	H27 下水道接続工事
その他	38,368	35,191	39,116	指定管理者の人件費以外の支出
（合計）	48,063	42,567	58,123	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	77,095	71,109	74,896	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	30,807	27,683	28,999	

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立北欧の杜公園オートキャンプ場管理棟）

1 施設の概要

施設名称	県立北欧の杜公園オートキャンプ場管理棟	所在地	北秋田市上杉字赤坂
施設面積	315.56 ㎡	建設年	平成１０年
構造･階数	木造平屋建て	台帳価格	18,880,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数４３年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から４３年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	管理棟コインシャワー、給湯器更新	493	
	（　合　計　）	493	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,282	4,384	4,368	公園全体
運用コスト	7,209	6,840	6,712	
修繕コスト	72,661	17,650	34,582	
その他	0	0	0	
（合計）	84,152	28,874	45,662	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,714	2,939	3,386	キャンプ場使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,519	1,949	1,932	キャンプ場利用者

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（県立中央公園（スポーツ施設））

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立中央公園トレーニングセンター	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立中央公園スカイドーム	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	県立中央公園庭球場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
4	県立中央公園球技場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	県立中央公園陸上競技場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
6	県立中央公園野球場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	県立中央公園フィールドアスレチック管理棟	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	県立中央公園トレーニングセンター

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園トレーニングセンター	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	4,895.05 ㎡	建設年	昭和６２年
構造･階数	鉄骨造２階建て	台帳価格	198,144,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数４８年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から４８年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	排煙装置修繕	5,522	
31	天井部電線管及び断熱材塗装修繕	33,099	
31	レストラン厨房換気扇取付	419	
R3	アリーナ修繕、空調更新	34,619	
R4	玄関ドア補修、排煙窓補修	2,006	
R5	非常用照明改修	2,000	
	（　合　計　）	77,665	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,256	3,786	3,807	トレーニングルーム・アリーナ使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	56,695	56,294	54,342	トレーニングルーム・アリーナ・食堂利用者数（観客除く）

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	県立中央公園スカイドーム

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園スカイドーム	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	12,040.32　㎡	建設年	平成２年
構造･階数	ＲＣ造（一部骨組膜構造）	台帳価格	1,085,823,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４８年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から４８年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	セパレートネット　ウインチ更新	26,500	
31	膜屋根更新実施設計、膜製作	503,000	
R2	膜製作、膜屋根更新	1,715,700	R2～R3
R3	雨水利用設備修繕、ボイラー管補修	4,741	
R4	融雪設備更新	64,462	
R5	巻き上げ機改修	8,000	
	（　合　計　）	2,322,403	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,822	14,327	6,663	付属設備使用料含む

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	54,710	49,075	41,492	観客除く

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	県立中央公園庭球場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園庭球場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	503.32　㎡	建設年	昭和５７年
構造･階数	鉄筋コンクリート造	台帳価格	32,024,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	塗装、クラック・欠損部補修、照明更新	9,930	
	（　合　計　）	9,930	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	5,036	5,050	4,999	人工芝コート使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	28,001	26,554	28,069	人工芝コート利用者数（観客除く）

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	県立中央公園球技場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園球技場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	904.32　㎡	建設年	昭和５７年
構造･階数	鉄筋コンクリート造　２階建て	台帳価格	57,531,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	非常用照明改修	2,000	
R7	外壁、スタンド補修、設備更新	19,576	
	（　合　計　）	21,576	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	781	628	722	付属設備使用料含む

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,735	5,525	8,224	球技場利用者数（観客除く）

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	県立中央公園陸上競技場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園陸上競技場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	5,250.58　㎡	建設年	昭和５８年
構造･階数	鉄筋コンクリート造 （一部鉄骨鉄筋コンクリート造） ４階建て	台帳価格	349,365,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	放送設備更新設計、排水ドレン改修設計、照明設備改修	12,290	
R5	放送設備更新、排水ドレン更新	96,000	
	（　合　計　）	108,290	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,695	1,637	1,929	陸上競技場使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	38,486	34,298	32,637	陸上競技場利用者数（観客除く）

【個別票】

更新日：R5.3.31

6	施設名	県立中央公園野球場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園野球場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	381.58 ㎡	建設年	昭和６１年
構造･階数	鉄筋コンクリート造	台帳価格	66,235,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	354	251	236	野球場使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,839	4,404	5,843	野球場利用者数（観客除く）

【個別票】

更新日：R5.3.31

7	施設名	県立中央公園フィールドアスレチック管理棟

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園フィールドアスレチック管理棟	所在地	秋田市雄和椿川字軽井沢
施設面積	349.39 ㎡	建設年	平成６年
構造･階数	木造　平屋建	台帳価格	3,327,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４３年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から４３年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,971	5,082	5,152	フィールドアスレチック使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,406	19,288	19,518	

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（県営住宅）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県営萩の台住宅	大館市	存続	大規模修繕を実施
2	県営獅子ヶ森住宅	大館市	存続	大規模修繕を実施
3	県営花岡改良住宅	大館市	存続	大規模修繕を実施
4	県営芝童森住宅	能代市	存続	大規模修繕を実施
5	県営旭南住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
6	県営新屋住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
7	県営大野住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	県営手形山住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
9	県営松崎住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
10	県営イサノ住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
11	県営桜ガ丘住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
12	県営土崎港住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
13	県営御野場住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
14	県営矢留改良住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
15	県営新屋改良住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
16	県営将軍野改良住宅	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
17	県営船越内子住宅	男鹿市	存続	大規模修繕を実施
18	県営追分長沼住宅	潟上市	存続	大規模修繕を実施
19	県営南ヶ丘住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
20	県営高森住宅	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
21	県営梵天住宅	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
22	県営船場町住宅	大仙市	存続	大規模修繕を実施
23	県営吉沢住宅	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
24	県営朝日が丘住宅	横手市	存続	大規模修繕を実施
25	県営倉内住宅	湯沢市	存続	大規模修繕を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

安全で快適なストックを確保するために、修繕、改善及び建替などの県営住宅の活用手法を検討する。

ストックの効率的な管理として、予防保全的な管理・修繕等が建物の長寿命化に重要なことと認識しつつも、限りある財政状況等を踏まえ事後保全的な措置とならざるを得ないことが想定される。

そうしたなかで、施設のニーズ、建設後の経過年数と耐用年数、また定期的な点検等により修繕対応施設の優先度を検討する。

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

1	施設名	県営萩の台住宅

1 施設の概要

施設名称	県営萩の台住宅	所在地	大館市池内字上野
施設面積	4,192.74 ㎡	建設年	H13～H15
構造･階数	木造3階	台帳価格	217,418,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数４５年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	屋根防水改修	36,480	
R6	公共下水道接続	23,000	
	（　合　計　）	59,480	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

2	施設名	県営獅子ヶ森住宅

1 施設の概要

施設名称	県営獅子ヶ森住宅	所在地	大館市釈迦内字台野道上
施設面積	4,698.57 ㎡	建設年	S57～S59
構造･階数	RC造3階	台帳価格	223,261,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受水槽更新	15,387	
R2	屋根防水改修	49,154	
R3	屋根防水改修	14,102	
	(合 計)	78,643	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

3	施設名	県営花岡改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営花岡改良住宅	所在地	大館市花岡字前田
施設面積	2,329.70 ㎡	建設年	H11
構造･階数	木造1～2階	台帳価格	75,483,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数４０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

4	施設名	県営芝童森住宅

1 施設の概要

施設名称	県営芝童森住宅		所在地	能代市字寿域長根
施設面積	5,320.21	㎡	建設年	S53～S54
構造･階数	RC造3～4階		台帳価格	199,021,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水管改修	14,675	
H30	給水ポンプ改修	2,258	
R3	集会所外壁等改修（設計）	258	
R4	集会所外壁等改修	4,699	
	（　合　計　）	21,890	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

5	施設名	県営旭南住宅

1 施設の概要

施設名称	県営旭南住宅	所在地	秋田市旭南一丁目
施設面積	1,743.12 ㎡	建設年	H6
構造･階数	RC造3階	台帳価格	204,192,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	外壁改修	22,231	
	（　合　計　）	22,231	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

6	施設名	県営新屋住宅

1 施設の概要

施設名称	県営新屋住宅		所在地	秋田市新屋栗田町	
施設面積	23,415.75	㎡	建設年	S58～H3	
構造･階数	RC造4階		台帳価格	1,510,585,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修	31,689	
H29	受水槽更新	1,325	
H30	受水槽更新	33,764	
R1	受水槽更新	32,484	
R3	屋根防水改修	34,238	
R4	外壁・屋根防水改修	54,646	
R5	屋根防水改修	35,745	
R6	外壁・屋根防水改修	46,753	
R7	外壁・屋根防水改修	152,805	
	（　合　計　）	423,449	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

7	施設名	県営大野住宅

1 施設の概要

施設名称	県営大野住宅		所在地	秋田市大住一丁目、大住二丁目
施設面積	17,813.40	㎡	建設年	H6～H9
構造･階数	RC造3階		台帳価格	2,171,654,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

8	施設名	県営手形山住宅

1 施設の概要

施設名称	県営手形山住宅		所在地	秋田市手形山西町	
施設面積	21,399.41	㎡	建設年	S51～H15	
構造･階数	RC造3階，木造2～3階		台帳価格	1,066,968,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年（※木造３階４５年、木造４０年）】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	屋根・外壁改修（設計）	1,713	
R6	屋根・外壁改修	71,415	
R7	屋根・外壁改修	92,946	
	(合 計)	166,074	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

9	施設名	県営松崎住宅

1 施設の概要

施設名称	県営松崎住宅		所在地	秋田市下北手松崎字大沢田、字大巻
施設面積	16,448.70	㎡	建設年	S50～S54
構造･階数	RC造4階		台帳価格	568,999,002 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

外壁が劣化しているため、予防保全として改修が必要。また、緊急性はないものの、屋根や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	外壁改修	23,162	
H30	外壁改修	36,858	
R1	外壁改修	31,467	
R2	外壁改修	36,972	
R3	外壁改修	88,035	
R4	外壁改修	94,449	
R5	外壁改修	94,838	
R5	給水方式の変更	1,853	
R6	給水方式の変更	50,150	
	（　合　計　）	457,784	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

10	施設名	県営イサノ住宅

1 施設の概要

施設名称	県営イサノ住宅	所在地	秋田市八橋イサノ二丁目
施設面積	4,961.22 ㎡	建設年	S55
構造･階数	RC造2～3階	台帳価格	228,694,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

11	施設名	県営桜ガ丘住宅

1 施設の概要

施設名称	県営桜ガ丘住宅	所在地	秋田市桜ガ丘四丁目
施設面積	8,418.81 ㎡	建設年	S61～S63
構造･階数	RC造4階	台帳価格	477,828,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	外壁・屋根防水改修（設計）	1,005	
R5	外壁・屋根防水改修	70,216	
R6	外壁・屋根防水改修	92,890	
R7	外壁・屋根防水改修	115,364	
	（　合　計　）	279,475	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

12	施設名	県営土崎港住宅

1 施設の概要

施設名称	県営土崎港住宅		所在地	秋田市土崎港相染町字中谷地
施設面積	5,737.15	㎡	建設年	S63～H2
構造･階数	RC造4階		台帳価格	386,617,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受水槽更新	299	
H29	給水管改修（屋外）	92	
H30	受水槽更新	21,103	
H30	給水管改修（屋外）	7,270	
R2	給水管改修（屋内）	12,903	
R3	外壁・屋根防水改修（設計）	1,005	
R4	外壁・屋根防水改修	74,010	
R5	外壁・屋根防水改修	78,216	
R6	外壁・屋根防水改修	58,200	
	（　合　計　）	253,098	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

13	施設名	県営御野場住宅

1 施設の概要

施設名称	県営御野場住宅		所在地	秋田市御野場七丁目、御野場新町一丁目
施設面積	33,453.70	㎡	建設年	S53～H4
構造･階数	RC造3～4階，木造1～2階		台帳価格	1,781,034,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年（※木造４０年）】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受水槽更新	39,044	
H29	外壁・屋根改修	52,891	
H30	外壁・屋根改修	85,046	
R1	外壁・屋根改修	66,057	
R2	屋根防水改修	109,116	
R3	屋根防水改修	146,285	
R3	受水槽棟屋根改修	7,000	
R4	屋根防水改修	33,745	
R6	屋根防水改修	53,508	
R7	屋根防水改修	44,912	
	（　合　計　）	637,604	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

14	施設名	県営矢留改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営矢留改良住宅	所在地	秋田市千秋矢留町
施設面積	1,287.40 ㎡	建設年	S47
構造･階数	RC造4階	台帳価格	30,099,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

外壁が劣化しているため、予防保全として改修が必要。また、緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水管改修	2,219	
H29	外壁改修	33,241	
	（　合　計　）	35,460	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

15	施設名	県営新屋改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営新屋改良住宅		所在地	秋田市新屋栗田町	
施設面積	2,567.55	㎡	建設年	S50	
構造･階数	RC造3～4階		台帳価格	76,765,001	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水管改修	3,896	
	（　合　計　）	3,896	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

16	施設名	県営将軍野改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営将軍野改良住宅		所在地	秋田市土崎港北二丁目	
施設面積	2,627.41	㎡	建設年	S51～S52	
構造･階数	PC造2階		台帳価格	35,184,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４５年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

17	施設名	県営船越内子住宅

1 施設の概要

施設名称	県営船越内子住宅		所在地	男鹿市船越字内子	
施設面積	3,822.63	㎡	建設年	S62～H4	
構造･階数	木造2階		台帳価格	3,330,016	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

18	施設名	県営追分長沼住宅

1 施設の概要

施設名称	県営追分長沼住宅		所在地	潟上市天王字北上野、字長沼
施設面積	1,866.63	㎡	建設年	S61～S62
構造･階数	木造2階		台帳価格	7 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

19	施設名	県営南ヶ丘住宅

1 施設の概要

施設名称	県営南ヶ丘住宅		所在地	秋田市南ヶ丘三丁目2-9ほか
施設面積	7,683.51	㎡	建設年	H18～H20
構造･階数	木造1階		台帳価格	350,432,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

現時点では、屋根外壁や設備に目立った劣化は生じていない。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

20	施設名	県営高森住宅

1 施設の概要

施設名称	県営高森住宅		所在地	にかほ市金浦字高森	
施設面積	1,420.12	㎡	建設年	H2～H3	
構造･階数	木造2階		台帳価格	1,117,004	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

21	施設名	県営梵天住宅

1 施設の概要

施設名称	県営梵天住宅	所在地	由利本荘市東梵天
施設面積	4,331.92 ㎡	建設年	H8～H10
構造･階数	RC造3階	台帳価格	570,105,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	公共下水道接続	5,940	
	（　合　計　）	5,940	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

22	施設名	県営船場町住宅

1 施設の概要

施設名称	県営船場町住宅		所在地	大仙市大曲船場町二丁目
施設面積	4,186.02	㎡	建設年	H3～H5
構造･階数	RC造3～4階		台帳価格	372,232,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	消雪設備改修	7,590	
	（　合　計　）	7,590	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

23	施設名	県営吉沢住宅

1 施設の概要

施設名称	県営吉沢住宅		所在地	横手市睦成字吉沢上台	
施設面積	1,917.77	㎡	建設年	S51～S52	
構造･階数	PC造2階		台帳価格	25,160,750	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４５年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

機能維持のため、必要な修繕を行う。また、耐用年数経過後のあり方を検討する。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	解体（１棟）	9,286	
	（　合　計　）	9,286	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

24	施設名	県営朝日が丘住宅

1 施設の概要

施設名称	県営朝日が丘住宅	所在地	横手市朝日が丘三丁目
施設面積	5,937.50 ㎡	建設年	S57～S59
構造･階数	RC造3階	台帳価格	272,652,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数７０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ガス管改修	11,468	
H30	給水管改修	229	
R1	給水管改修	17,320	
R1	受水槽改修	45,462	横手市施工負担金
	（　合　計　）	74,479	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】　　更新日 ： R5.3.31

25	施設名	県営倉内住宅

1 施設の概要

施設名称	県営倉内住宅		所在地	湯沢市倉内字三ツ田、字熊ノ堂
施設面積	4,017.15	㎡	建設年	H5～H7
構造･階数	木造2階		台帳価格	37,323,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。

※　集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※　公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※　市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3　目標使用年数　【目標使用年数４０年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4　管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5　管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6　管理に関する実施計画

施設に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根･外壁改修	19,155	
R1	屋根･外壁改修	31,332	
R2	屋根･外壁改修	6,188	
R3	屋根･外壁改修	6,596	
R4	屋根･外壁改修	24,808	
R5	屋根･外壁改修	43,044	
R6	屋根･外壁改修	49,405	
	（　合　計　）	180,528	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
（合計）	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立中央公園（スポーツ施設を除く））

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立中央公園休憩所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立中央公園宿泊棟	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	県立中央公園休憩所

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園休憩所（ファミリーピクニックゾーン）	所在地	秋田市雄和椿川字山籠
施設面積	441.28 ㎡	建設年	昭和５５年
構造･階数	鉄筋コンクリート造　２階建て	台帳価格	27,700,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,405	72,465	72,495	ファミリーピクニックゾーン・空港前庭ゾーン利用者数

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	県立中央公園宿泊棟

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園宿泊棟	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	2,120.47　㎡	建設年	昭和６２年
構造･階数	鉄筋コンクリート造　３階建て	台帳価格	167,322,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

都市公園としての効用を享受する人々の利便に供するための施設であり、譲渡した場合には公園利用者以外の利用により、利便性が損なわれる可能性がある。また、撤退・撤去の恐れもあることから、利用環境を維持するためにも譲渡は検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	内装改修	1,870	
30	内装改修、便器洋式化　等	8,510	
31	暖房設備更新	31,367	
R2	天窓修繕	1,888	
R2	女子浴室修繕	3,190	
R3	給湯設備ほか修繕	7,870	
R4	施設改修設計	2,477	
R5	屋根改修	73,000	
	（　合　計　）	130,172	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
（合計）	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	管理許可施設

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	9,727	10,292	9,413	

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立小泉潟公園）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立小泉潟公園事務所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立小泉潟公園休憩所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	県立小泉潟公園事務所

1 施設の概要

施設名称	県立小泉潟公園事務所	所在地	秋田市金足鳰崎字後谷地
施設面積	352.70　㎡	建設年	昭和５５年
構造･階数	鉄筋コンクリート造　平屋建て	台帳価格	20,758,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から６０年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	外壁塗装、壁・床補修、柱修繕	10,978	
R4	耐震調査	2,630	
	（　合　計　）	13,608	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,837	1,879	1,879	公園全体
運用コスト	3,803	3,617	3,406	
修繕コスト	243,182	68,122	13,331	
その他	0	0	0	
（合計）	248,822	73,618	18,616	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6,535	7,987	11,471	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	県立小泉潟公園休憩所

1 施設の概要

施設名称	県立小泉潟公園休憩所（水心苑）	所在地	秋田市金足鳰崎字後谷地
施設面積	272.13　㎡	建設年	昭和５４年
構造･階数	鉄筋コンクリート造　平屋建て	台帳価格	15,739,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から５６年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	耐震調査・設計	2,630	
R5	耐震改修	11,700	
	（　合　計　）	14,330	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,837	1,879	1,879	公園全体
運用コスト	3,803	3,617	3,406	
修繕コスト	243,182	68,122	13,331	
その他	0	0	0	
(合計)	248,822	73,618	18,616	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	47,499	50,791	53,920	水心苑利用者数

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立北欧の杜公園（オートキャンプ場管理棟を除く））

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立北欧の杜公園中央休憩所	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立北欧の杜公園パークセンター	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2　施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	県立北欧の杜公園中央休憩所

1 施設の概要

施設名称	県立北欧の杜公園中央休憩所	所在地	北秋田市上杉字中山沢
施設面積	243.00 ㎡	建設年	平成７年
構造･階数	木造平屋建て	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数　【目標使用年数４０年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から４０年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	木部防腐塗装、屋根部分葺き替え	5,000	
	（　合　計　）	5,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,282	4,384	4,368	公園全体
運用コスト	7,209	6,840	6,712	
修繕コスト	72,661	17,650	34,582	
その他	0	0	0	
（合計）	84,152	28,874	45,662	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	138,052	142,580	149,727	公園全体利用者数

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	県立北欧の杜公園パークセンター

1 施設の概要

施設名称	県立北欧の杜公園パークセンター	所在地	北秋田市上杉字中山沢
施設面積	1,641.26　㎡	建設年	平成７年
構造･階数	木造（一部鉄筋コンクリート造）２階建て	台帳価格	269,153,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。
そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※　集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※　公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しているが、より良い公民連携の姿を検討していく。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があり、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※　市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４３年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から４３年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4　管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5　管理に関する実施方針

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の補修・修繕を実施する。
・公園施設長寿命化計画は５年に１度見直しを行い、具体的対策の実施により、施設の長寿命化を図る。
・計画以外にも老朽化が見られた場合は、小規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	トップライト修繕	6,070	
31	空調設備更新（研修室）	5,061	
R2	空調設備更新（レストラン）	8,388	
R3	屋根修繕	1,620	
R5	防火シャッター改修	3,000	
	（　合　計　）	24,139	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,282	4,384	4,368	公園全体
運用コスト	7,209	6,840	6,712	
修繕コスト	72,661	17,650	34,582	
その他	0	0	0	
（合計）	84,152	28,874	45,662	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	54	78	34	研修室使用料（付属設備使用料含む）

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,943	10,050	9,873	研修室・レストラン利用者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田空港）

1 施設の概要

施設名称	秋田空港		所在地	秋田市雄和椿川字山籠
施設面積	4,538.43	㎡	建設年	S56
構造･階数	鉄骨鉄筋コンクリート造２階建		台帳価格	437,109,002 円

※空港ターミナルビルは本計画対象外（民間の所有であるため）

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

秋田空港は秋田県地域防災計画で広域防災拠点として位置づけられ、災害や救難・救助活動において人・物資の輸送拠点として重要な役割を担っている。また、交通の手段として県民生活や地域経済にとって必要不可欠であり、自己点検・評価の結果を踏まえても存続すべきである。

※ 集約・複合化の検討について

機能及び管理体制向上のため、将来の施設再配置を含め今後検討していく。

※ 公民連携の検討について

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 市町村協働の検討について

検討してしない。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

必要により更新を行う。

4 管理上の課題等

より優先度の高い施設（電源局舎、進入灯橋梁等の国有財産で本個別施設計画の対象外）から耐震化の計画を進めており、本計画の対象となる施設は人が常駐しないため優先度を低く設定している。

5　管理に関する実施方針

機能維持のため、必要により更新・修繕を行う。

6　管理に関する実施計画

秋田空港に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	除雪機械格納庫外壁修繕	12,320	
R6	除雪機械格納庫シャッター修繕	2,057	
R7	除雪車庫外壁修繕	19,800	
R7	電源局舎屋上防水工事	19,313	
R7	除雪車庫屋根防水修繕	8,140	
	（　合　計　）	61,630	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,477	6,511	6,655	
運用コスト	29,102	30,384	27,785	
修繕コスト	0	12,528	0	H26電源局舎改修15,528
その他				
(合計)	35,579	49,423	34,440	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
着陸料収入	429,360	392,623	384,041	
駐車場収入	189,789	195,728	200,801	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,189,809	1,192,449	1,218,364	航空機利用者数

【個別票】

更新日：R3.3.31

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（大館能代空港）

1 施設の概要

施設名称	大館能代空港		所在地	北秋田市脇神字からむし岱
施設面積	4,433.33	㎡	建設年	H10
構造･階数	鉄筋コンクリート造平屋建		台帳価格	482,020,000 円

※空港ターミナルビルは本計画対象外（民間の所有であるため）

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

大館能代空港は秋田県地域防災計画で広域防災拠点として位置づけられ、災害や救難・救助活動において人・物資の輸送拠点として重要な役割を担っている。また、交通の手段として県民生活や地域経済にとって必要不可欠であり、自己点検・評価の結果を踏まえても存続すべきである。

※ 集約・複合化の検討について

機能及び管理体制向上のため、将来の施設再配置を含め今後検討していく。

※ 公民連携の検討について

ふれあい緑地については指定管理者制度を導入済み。交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 市町村協働の検討について

検討してしない。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

必要により更新を行う。

4 管理上の課題等

特になし。

5　管理に関する実施方針

機能維持のため、必要により更新・修繕を行う。

6　管理に関する実施計画

大館能代空港に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,843	1,914	2,288	
運用コスト	11,634	11,624	10,394	
修繕コスト	13,839	10,883	20,988	H25電源局舎改修13,839 H27除雪車庫改修20,988
保守コスト（指定管理者）	4,038	4,666	4,017	ふれあい緑地
運用コスト（指定管理者）	4,472	3,366	3,617	ふれあい緑地
修繕コスト（指定管理者）	406	209	301	ふれあい緑地
その他				
（合計）	36,232	32,662	41,605	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
着陸料収入	31,231	32,118	31,210	
ふれあい緑地収入	14,126	14,099	14,254	指定管理受託料含む

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	113,357	119,508	123,773	航空機利用者数

【個別票】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（南ヶ丘ニュータウン事務所）

1 施設の概要

施設名称	南ヶ丘ニュータウン事務所		所在地	秋田市南ケ丘二丁目	
施設面積	278.41	㎡	建設年	Ｈ１４	
構造･階数	軽量鉄骨造・地上１階		台帳価格	7,449,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

○現地案内所として、南ヶ丘ニュータウンが完売するまでは建物が必要と考えている。
○秋田県土地開発公社へ建物の一部を引き続き賃貸する。

※ 集約・複合化の検討について

○予定なし。

※ 公民連携の検討について

○予定なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

○南ヶ丘ニュータウン分譲地の完売後は、秋田県土地開発公社へ譲渡を検討する。

※ 市町村協働の検討について

○予定なし。

3 目標使用年数 【今後１０年以上使用】

○事業用分譲宅地の利用計画によっては引き続きの利用が必要となることが想定され、建物も骨組みについては問題ないことから、一部修繕をしながら使用したいと考えている。

4 管理上の課題等

○現時点で大規模な修繕予定はないが、外壁等経年による劣化が目立ってきており、設備等についても不具合が発生する可能性がある。

5　管理に関する実施方針

○大規模な修繕等の計画は無いが、小破修繕等は必要に応じて随時対応する。

6　管理に関する実施計画

南ヶ丘ニュータウン事務所に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	屋根塗装	3,000	
	（　合　計　）	3,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	20	22	22	
運用コスト	31	33	32	
修繕コスト	63		32	H28暖房設備修繕721千円
その他				
(合計)	114	55	86	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	127	84	94	南ヶ丘案内所来所者

【総括表】

部局(庁)名	出納局

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県庁舎等）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	秋田県庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	秋田地方総合庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	秋田県庁第二庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

行政施設の本庁及び地方機関の機能を有する施設であり、各施設の長寿命化を図るとともに、災害時の防災拠点としての機能を維持するための強靭化を図る必要がある。
建設後の経過年数に応じて機能低下が進行するため、定期的な点検、診断に基づく大規模修繕を実施することにより、予防保全型管理を行う。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	秋田県庁舎

1 施設の概要

施設名称	秋田県庁舎	所在地	秋田市山王四丁目１－１
施設面積	32,206.56 ㎡	建設年	S34
構造･階数	ＲＣ造・７階（地下１階）	台帳価格	713,711,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県の本庁機能としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

※　集約・複合化の検討について

・県の本庁機能としての施設ではあるが、建替え時には、隣接する秋田地方総合庁舎、議会棟、県庁第二庁舎、県警本庁舎を含め、施設のあり方について検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数７８年】

・建築後６０年以上経過しているが、平成２２年に耐震改修を終えており構造的には健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・一定年数経過後は、点検・診断等を行い、建替え時期について検討する。

4　管理上の課題等

・設備の老朽化による小規模な修繕の頻度が年々増えつつある。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

5　管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、エレベーター更新をはじめ、順次、空調設備、給排水管設備、受変電設備、電話設備等を更新することにより、防災拠点としての機能を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田県庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	本庁舎ｴﾚﾍﾞｰﾀ更新１、議会棟屋根防水改修他	142,049	
H30	本庁舎ｴﾚﾍﾞｰﾀ更新２、議場天井改修他	255,175	
H31	空調設備熱源更新、登退庁表示設備更新他	181,968	
R2	空調設備熱源更新、受変電設備更新他	236,089	
R3	受変電設備改修等	348,662	
R4	空調自動制御設備改修他	213,622	
R5	車寄せ改修、電話設備改修	69,859	
R6	電話設備更新、外壁全面点検他	540,000	
	（　合　計　）	1,987,424	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	98,145	94,302	95,247	
運用コスト	44,688	47,140	43,808	
修繕コスト	126,969	221,532	135,689	
その他	0	0	0	
(合計)	269,802	362,974	274,744	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	秋田地方総合庁舎

1 施設の概要

施設名称	秋田地方総合庁舎	所在地	秋田市山王四丁目１－２
施設面積	11,324.64　㎡	建設年	S43
構造･階数	ＲＣ造・６階（地下１階）	台帳価格	437,929,001　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・主に、県の地方機関としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

※　集約・複合化の検討について

・主に地方機関としての施設ではあるが、敷地は県庁舎等と隣接している。建設年度の早い本庁舎の建替えの際には、庁舎、議会棟、県庁第二庁舎、県警本庁舎を含め、施設のあり方について検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建築後５０年以上経過しているが、平成２３年に耐震改修を終えており構造的には健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・目標使用年数経過後は、点検・診断等を行い、建替え時期について検討する。

4　管理上の課題等

・設備の老朽化による小規模な修繕の頻度が年々増えつつある。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

5　管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、渡り廊下外部塗装をはじめ、順次、放送設備、空調設備、屋内消火配管、受変電設備、エレベーター設備等を更新することにより、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田地方総合庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	議会棟・秋田総庁渡り廊下外部塗装	9,529	
H30	整流機器更新、放送設備更新	22,788	
H31	外壁全面点検	3,443	議会棟、二庁含む
R2	エレベーター更新	97,922	
R3	外壁改修	62,266	
R4	受変電設備改修、多目的トイレ等改修	138,447	
R5	空調自動制御設備改修	167,583	
	（　合　計　）	501,978	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	41,570	39,904	40,296	
運用コスト	19,152	20,203	18,775	
修繕コスト	6,752	13,366	0	
その他	0	0	0	
(合計)	67,474	73,473	59,071	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	秋田県庁第二庁舎

1 施設の概要

施設名称	秋田県庁第二庁舎	所在地	秋田市山王三丁目１－１
施設面積	19,314.96 ㎡	建設年	H11
構造･階数	ＳＲＣ造・８階（地下２階）	台帳価格	3,067,116,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県の本庁機能としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

※　集約・複合化の検討について

県庁舎、秋田地方総合庁舎等の建替え時には、第二庁舎の転用など集約・複合化を含め、施設のあり方について検討する。

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・耐震基準を満たし構造的に健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

4　管理上の課題等

・比較的新しい施設で管理上大きな課題はないが、今後、設備機器等が耐用年数を迎えるため、大規模修繕費の増大が見込まれる。
・ＬＥＤ照明化などの省エネ改修を終えている。さらに省エネのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術の導入を図る。

5　管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、空調設備の部分改修、照明制御装置更新をはじめ、順次、総合防災盤、空調設備、無停電電源装置蓄電池、視聴覚設備、受変電設備等を更新することにより、防災拠点としての機能を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田県庁第二庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備改修、照明制御装置更新他	84,886	
H30	火災受信機更新、個別空調設備更新	41,977	
H31	玄関ホール天井改修、外壁全面点検	52,495	
R4	無停電電源装置蓄電池更新他	46,127	
R5	エレベーター改修、放送設備更新他	240,614	
R6	受変電設備改修、空調設備改修他	302,274	
	（　合　計　）	768,373	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	49,083	50,625	51,154	
運用コスト	57,357	57,134	45,224	
修繕コスト	26,408	57,327	107,427	
その他	0	0	0	
(合計)	132,848	165,086	203,805	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【総括表】

部局(庁)名	出納局

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（職員公舎（一定規模を超える施設））

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	職員公舎（矢留）	秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	職員公舎（川尻）	秋田市	存続	大規模修繕を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

両施設とも、秋田市内の複数棟から構成される大規模な職員公舎となっている。
職員公舎の効率的な運用を図る観点から、秋田市内の小規模な職員公舎の集約化を行い、両施設については長寿命化対策を実施しながら、引き続き存続させる。
なお、目標使用年数を経過する施設は、順次、計画的な建替を行う。

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	職員公舎（矢留）

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（矢留）	所在地	秋田市千秋矢留町
施設面積	11,313.05 ㎡	建設年	S45
構造･階数	ＲＣ造・４階	台帳価格	867,827,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・秋田市内にある大規模な世帯用職員公舎であり、入居需要が高く、所在地域の活性化などにも配慮し、引き続き存続する。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

・施設の建設や維持管理等に民間の資金、経営能力等を活用するなど、ＰＦＩ事業の導入の可能性を検討する。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

・昭和４５～４８年建築の６棟については大規模修繕を終えており、平成８～９年建築の３棟については、今後、大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・目標使用年数経過後、建て替えの際には、戸数の設定、ＰＦＩ等の整備手法を検討する。

4 管理上の課題等

・全棟とも耐震基準は満たしているものの、平成８～９年建築の３棟については修繕の頻度が増えつつあり、今後１０年以内に大規模修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

次の方針により、現状（機能）回復と同時に、予防保全のための長寿命化対策工事を計画的に実施する。
・防災、防火上の観点から安全上必要と認められるもの
・点検、診断により、劣化、損傷等が認められるなど、重大な故障となる恐れが高いもの
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

職員公舎（矢留）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	7-33棟外壁一部改修	1,784	
H31	7-33棟外壁改修（南側・東側工事分）	26,250	
R2	7-33棟外壁改修（北側工事分）	11,990	
R3	7-33棟屋根防水改修	14,200	
R4	7-31棟屋根防水改修	23,788	
R5	7-44棟屋根防水、外壁改修	23,280	
R6	4-20棟屋根防水、外壁改修	19,736	
R7	7-31棟外壁改修	13,182	
	（　合　計　）	134,210	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,404	6,525	6,282	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	9,861	25,368	9,068	
その他	0	0	0	
（合計）	16,265	31,893	15,350	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	142	137	141	全161戸中

※各年４月１日における入居戸数

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	職員公舎（川尻）

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（川尻）	所在地	秋田市川尻上野町６－３３
施設面積	8,808.52　㎡	建設年	H元
構造･階数	ＲＣ造・４階	台帳価格	420,748,011　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・秋田市内にある大規模な世帯用職員公舎であり、入居需要が高く、所在地域の活性化などにも配慮し、引き続き存続する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

・施設の建設や維持管理等に民間の資金、経営能力等を活用するなど、ＰＦＩ事業の導入の可能性を検討する。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・今後、大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・目標使用年数経過後、建て替えの際には、戸数の設定、ＰＦＩ等の整備手法を検討する。

4　管理上の課題等

・全棟とも耐震基準は満たしているものの、建築後２７～２８年経過し修繕の頻度が増えつつあり、まもなく大規模修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

次の方針により、現状（機能）回復と同時に、予防保全のための長寿命化対策工事を計画的に実施する。
・防災、防火上の観点から安全上必要と認められるもの
・点検、診断により、劣化、損傷等が認められるなど、重大な故障となる恐れが高いもの
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

職員公舎（川尻）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	5号棟屋根改修	19,734	
R5	4号棟、5号棟外壁改修	38,520	
R6	1号棟、3号棟屋根防水改修	23,660	
R7	3号棟外壁改修	12,312	
	受変電設備改修、多目的トイレ等改修		
	（　合　計　）	94,226	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,473	4,488	4,388	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	6,369	1,768	5,107	
その他	0	0	0	
(合計)	10,842	6,256	9,495	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85	81	97	全112戸中

※各年４月１日における入居戸数

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	警察本部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（警察行政施設）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	警察本部庁舎、第二庁舎	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	運転免許センター庁舎	秋田市	存続	複合化（主）を実施
3	警察本部別館（交通機動隊）	秋田市	廃止	複合化（従）を実施
4	航空隊庁舎	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	警察学校道場	秋田市	存続	集約化（主）を実施
6	警察学校体育館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	機動隊屋内訓練場（道場）	秋田市	廃止	集約化（従）を実施
8	鹿角警察署	鹿角市	存続	機能維持のための修繕を実施
9	大館警察署	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
10	北秋田警察署	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
11	能代警察署	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	五城目警察署	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
13	男鹿警察署	男鹿市	存続	機能維持のための修繕を実施
14	秋田臨港警察署	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
15	秋田中央警察署	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
16	秋田東警察署	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
17	由利本荘警察署	由利本荘市	存続	機能維持のための修繕を実施
18	大仙警察署	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
19	由利本荘警察署にかほ幹部交番	にかほ市	存続	機能維持のための修繕を実施
20	仙北警察署	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
21	横手警察署	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
22	湯沢警察署	湯沢市	存続	機能維持のための修繕を実施
23	北秋田警察署森吉幹部交番	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
24	北秋田警察署合川駐在所	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
25	能代警察署二ツ井交番	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
26	秋田東警察署城東交番	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
27	由利本荘警察署矢島幹部交番	由利本荘市	存続	機能維持のための修繕を実施
28	由利本荘警察署仁賀保駐在所	にかほ市	存続	機能維持のための修繕を実施
29	大仙警察署協和交番	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
30	大仙警察署美郷交番	美郷町	存続	機能維持のための修繕を実施
31	横手警察署増田幹部交番	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
32	機動捜査センター	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

警察行政施設は、県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置されており、必要な機能維持を図り、継続して使用する。

今後の施設のあり方については、秋田県警察の機能強化を図ることを目的として、施設の経過年数や劣化状況のみならず、人口減少など社会情勢の変化や有識者等の意見を踏まえながら検討する。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	警察本部庁舎、第二庁舎

1 施設の概要

施設名称	警察本部庁舎、第二庁舎	所在地	秋田市山王
施設面積	20,310.79 ㎡	建設年	S50、H16
構造･階数	ＲＣ造・６階／地下１階 ＳＲＣ造・７階／地下１階	台帳価格	1,981,233,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。
・整備方針や実施年度は、同一敷地内にある県庁舎等のあり方とともに検討が必要である。

4　管理上の課題等

・平成22年度に耐震改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による冷暖房設備や消防設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に冷暖房設備改修及び消火設備改修工事を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁は６５年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

警察本部庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	消火設備更新工事ほか	30,472	
R2	電気設備更新工事ほか	40,396	
R3	空調設備更新工事ほか	149,940	
R4	空調設備更新工事ほか	448,845	
R5	空調設備更新工事ほか	109,427	
	（　合　計　）	779,080	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	30,003	34,413	31,815	
運用コスト	78,940	83,783	77,937	
修繕コスト	7,832	13,277	18,354	H27～排ｶﾞｽ装置改修
その他				
(合計)	116,775	131,473	128,106	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	運転免許センター庁舎

1 施設の概要

施設名称	運転免許センター庁舎	所在地	秋田市新屋南浜町
施設面積	7,418.26 ㎡	建設年	S49
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	400,475,004 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	複合化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【建替のため令和５年度に更新、建替後の目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・築後42年が経過し今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、令和５年度までに交通機動隊庁舎と複合化して建て替える。

4　管理上の課題等

・平成22年度に耐震改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による暖房設備（ボイラー）の老朽
・エレベーターが設置されていないなどバリアフリー対策に問題がある

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に暖房設備改修工事を実施

6　管理に関する実施計画

運転免許センター庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	庁舎等改築工事	50,701	R1、R2設計
R2	〃	102,865	
R2	自動火災報知器更新工事ほか	2,558	
R3	庁舎等改築工事	150,499	R3～R7工事
R4	〃	2,622,298	
R5	〃	1,470,278	
R6	〃	509,978	
R7	〃	693,394	
	（　合　計　）	5,602,571	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,183	7,440	7,354	
運用コスト	13,954	13,388	12,220	
修繕コスト	3,732	15,269	25,987	H27～給油ﾀﾝｸ改修
その他				
(合計)	24,869	36,097	45,561	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	警察本部別館（交通機動隊）

1 施設の概要

施設名称	警察本部別館（交通機動隊）	所在地	秋田市八橋
施設面積	1,421.98 ㎡	建設年	S45
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	36,869,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【建替（集約）のため令和５年度までに廃止】

築後46年が経過し今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、令和５年度までに運転免許センターと複合化して廃止する計画である。

4　管理上の課題等

・平成27年度に耐震改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による冷暖房設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施

6　管理に関する実施計画

警察本部別館（交通機動隊）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	解体工事	285,000	
	（　合　計　）	285,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,278	1,317	1,317	
運用コスト	2,224	2,099	1,662	
修繕コスト	76	313	357	
その他				
(合計)	3,578	3,729	3,336	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	航空隊庁舎

1 施設の概要

施設名称	航空隊庁舎		所在地	秋田市雄和椿川	
施設面積	1,191.47	㎡	建設年	H11	
構造･階数	Ｓ造・２階		台帳価格	212,801,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成11年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後20年以上は継続して使用する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・消防防災航空隊庁舎と同一であり、総合防災課と連携した施設管理が必要

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
※建物の管理は総合防災課

6　管理に関する実施計画

航空隊庁舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	警察学校道場

1 施設の概要

施設名称	警察学校道場	所在地	秋田市新屋勝平台
施設面積	923.95 ㎡	建設年	S41
構造･階数	ＲＣ造・１階	台帳価格	11,595,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察官の教養・訓練を行う施設として存続する。
警察官の教養施設は、本来、国費で整備するものであることから、国（財務省、警察庁）に対して施設の建て替えを要望する。

※　集約・複合化の検討について

隣接する類似施設の機動隊道場と合築を検討
（令和３年度までに完成するよう予算要求中）

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【新道場の目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。（新道場は国有）
・旧道場（県有）は築後50年以上と法定耐用年数を経過しており、警察学校の改築事業（国費）において解体（除却）する。

4　管理上の課題等

・屋根からの漏水が発生し、漏電の恐れ
・暖房設備の老朽
・コンクリート壁の劣化による亀裂

5　管理に関する実施方針

・建替までは機能維持のための修繕を実施
・新道場は国有財産として管理する。

6　管理に関する実施計画

警察学校道場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	庁舎建設等	11,120	H31・R1設計、R2・R3工事
R3	建替工事（国費）	980,873	
	（　合　計　）	991,993	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

6	施設名	警察学校体育館

1 施設の概要

施設名称	警察学校体育館		所在地	秋田市新屋勝平台	
施設面積	719.40	㎡	建設年	S59	
構造･階数	Ｓ造・１階		台帳価格	5,000,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察官の教養・訓練を行う施設として機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数５０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・築後30年以上と法定耐用年数を経過しているが、平成27年度耐震改修、平成29年度に屋根改修を行っており、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・平成27年度に耐震改修済み
・平成29年度に屋根改修を実施予定
・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に屋根改修工事を実施
・躯体保護保護のための屋根葺替及び外壁塗装の改修周期は３０年とする。

6　管理に関する実施計画

警察学校体育館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	屋根等改修工事（国費）	13,932	R1設計済み
R3	体育館照明設備改修工事（LED化）	3,537	設計　456、工事　3,081
	（　合　計　）	17,469	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト		307	448	
その他				
(合計)	0	307	448	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

7	施設名	機動隊屋内訓練場（道場）

1 施設の概要

施設名称	機動隊屋内訓練場（道場）	所在地	秋田市新屋勝平台
施設面積	1,218.98 ㎡	建設年	S49
構造･階数	Ｓ造・１階	台帳価格	49,996,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、災害等の警備出動に従事する警察官の待機・訓練を行う施設として存続する。
機動隊関連施設は、本来、国費で整備するものであることから、国（財務省、警察庁）に対して施設の建て替えを要望する。

※　集約・複合化の検討について

隣接する類似施設の警察学校道場と合築を検討
（令和３年度までに完成するよう予算要求中）

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【令和１１年頃に廃止（除却）】

・警察学校道場とともに令和３年度に改築（集約化）
・令和１１年頃に廃止（除却）する。

4　管理上の課題等

・平成24年度に耐震改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による消防設備や暖房設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・解体までは機能維持のための修繕を実施

6　管理に関する実施計画

機動隊屋内訓練場（道場）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	建替工事（国費）		工事費は警察学校道場に計上
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト		1,243	31	
その他				
(合計)	0	1,243	31	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

8	施設名	鹿角警察署

1 施設の概要

施設名称	鹿角警察署	所在地	鹿角市花輪
施設面積	3,068.73 ㎡	建設年	H10
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	553,603,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成10年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による給湯設備や電気設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に給湯設備改修及び電気設備改修工事を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

鹿角警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修等	2,209	
	（　合　計　）	2,209	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,670	2,658	2,941	
運用コスト	6,484	5,987	5,682	
修繕コスト	633	876	679	
その他				
(合計)	9,787	9,521	9,302	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

9	施設名	大館警察署

1 施設の概要

施設名称	大館警察署		所在地	大館市根下戸新町	
施設面積	3,007.94	㎡	建設年	S53	
構造･階数	ＲＣ造・３階		台帳価格	137,497,003	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数５０年】

・建物の法定耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・令和11年に法定耐用年数を経過するため、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。
・令和11年度までに建替を計画している。

4　管理上の課題等

・平成10年度に耐震診断済み
・平成28年度に外壁改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施

6　管理に関する実施計画

大館警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	大館署冷温水発生機バーナー更新工事	2,896	設計　331、工事費　2,565
	（　合　計　）	2,896	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,637	5,927	4,097	
運用コスト	8,425	7,587	6,129	
修繕コスト	706	874	1,126	
その他				
(合計)	12,768	14,388	11,352	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

10	施設名	北秋田警察署

1 施設の概要

施設名称	北秋田警察署	所在地	北秋田市鷹巣
施設面積	3,128.32 ㎡	建設年	H28
構造･階数	ＲＣ造・５階	台帳価格	860,543,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成28年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

北秋田警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,385	1,398	1,387	
運用コスト	3,402	3,396	3,106	
修繕コスト	1,045	847,784	594,965	H26～改築工事
その他				
(合計)	5,832	852,578	599,458	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

11	施設名	能代警察署

1 施設の概要

施設名称	能代警察署		所在地	能代市日吉町	
施設面積	3,646.75	㎡	建設年	H22	
構造･階数	ＲＣ造・４階		台帳価格	570,057,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成22年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

能代警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,901	2,840	2,619	
運用コスト	8,603	9,486	8,904	
修繕コスト	103	587	1,003	
その他				
(合計)	11,607	12,913	12,526	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

12	施設名	五城目警察署

1 施設の概要

施設名称	五城目警察署		所在地	南秋田郡五城目町	
施設面積	1,725.68	㎡	建設年	S55	
構造･階数	ＲＣ造・３階		台帳価格	86,916,001	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・令和13年に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・平成19年度に耐震診断済み
・平成27年度に屋上防水改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による冷暖房設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

五城目警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修等	2,278	
	（　合　計　）	2,278	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	964	1,019	1,023	
運用コスト	5,502	5,019	3,739	
修繕コスト	1,182	347	8,553	
その他				
(合計)	7,648	6,385	13,315	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

13	施設名	男鹿警察署

1 施設の概要

施設名称	男鹿警察署	所在地	男鹿市船川港船川
施設面積	1,861.88 ㎡	建設年	S58
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	105,491,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・令和16年に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による屋上防水の劣化

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に屋上防水改修工事を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

男鹿警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	煙突アスベスト除去工事	25,776	設計1,634、工事24,142
R5	空調設備改修等	3,171	
	（　合　計　）	28,947	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,007	1,036	1,065	
運用コスト	3,811	4,006	3,603	
修繕コスト	977	602	3,415	
その他				
(合計)	5,795	5,644	8,083	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

14	施設名	秋田臨港警察署

1 施設の概要

施設名称	秋田臨港警察署	所在地	秋田市土崎港
施設面積	3,405.35 ㎡	建設年	H８
構造･階数	ＲＣ造・４階	台帳価格	558,500,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成８年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による電気設備及び冷暖房設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に電気設備改修及び冷暖房設備改修工事を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田臨港警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	秋田臨港署非常用ポータブル発電機設置工事	4,336	設計　436、工事費　3,900
	（　合　計　）	4,336	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,142	4,056	3,995	
運用コスト	11,659	12,042	10,625	
修繕コスト	2,350	2,695	22,992	H27～GHPｴｱｺﾝ更新
その他				
(合計)	18,151	18,793	37,612	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

15	施設名	秋田中央警察署

1 施設の概要

施設名称	秋田中央警察署	所在地	秋田市千秋明徳町
施設面積	7,339.55 ㎡	建設年	H19
構造･階数	ＳＲＣ造・６階／地下１階	台帳価格	984,933,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成19年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・増員による事務室の狭隘化
・経年による非常用発電設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に事務室間仕切改修及び非常用発電機蓄電池更新工事を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田中央警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	電気設備改修等	4,938	
	（　合　計　）	4,938	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,453	11,249	10,937	
運用コスト	26,065	26,587	23,642	
修繕コスト	3,341	1,616	2,013	
その他				
(合計)	40,859	39,452	36,592	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

16	施設名	秋田東警察署

1 施設の概要

施設名称	秋田東警察署	所在地	秋田市上北手百崎
施設面積	4,009.21 ㎡	建設年	H16
構造･階数	ＲＣ造・４階	台帳価格	460,278,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成16年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田東警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修	11,193	
	（　合　計　）	11,193	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,048	4,295	3,998	
運用コスト	10,927	11,125	10,834	
修繕コスト	834	2,044	3,492	
その他				
(合計)	14,809	17,464	18,324	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

17	施設名	由利本荘警察署

1 施設の概要

施設名称	由利本荘警察署	所在地	由利本荘市中町
施設面積	3,392.64 ㎡	建設年	H20
構造･階数	ＲＣ造・４階	台帳価格	467,956,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成20年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による非常用発電設備の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に非常用発電機蓄電池更新工事を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

由利本荘警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	由利本荘署非常用ポータブル発電機設置工事	4,336	設計　436、工事費　3,900
R4	由利本荘署冷暖房中央監視装置更新工事	32,050	設計　904、工事費　31,146
R5	空調設備改修	14,451	
	（　合　計　）	50,837	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,249	4,132	4,356	
運用コスト	8,205	8,707	8,411	
修繕コスト	164	226	88	
その他				
(合計)	12,618	13,065	12,855	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

18	施設名	大仙警察署

1 施設の概要

施設名称	大仙警察署		所在地	大仙市大曲日の出町	
施設面積	3,785.50	㎡	建設年	H26	
構造･階数	ＲＣ造・４階		台帳価格	634,768,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成26年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大仙警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,794	3,532	3,951	
運用コスト	6,883	9,983	9,533	
修繕コスト	925,950	230,834	0	H25～26改築工事
その他				
(合計)	934,627	244,349	13,484	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

19	施設名	由利本荘警察署にかほ幹部交番

1 施設の概要

施設名称	由利本荘警察署にかほ幹部交番	所在地	にかほ市象潟町
施設面積	994.30 ㎡	建設年	S49
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	80,609,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・平成27年度に耐震改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

由利本荘警察署にかほ幹部交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修	1,308	
	（　合　計　）	1,308	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,124	1,156	1,156	
運用コスト	3,252	2,925	2,373	
修繕コスト	218	271	500	
その他				
(合計)	4,594	4,352	4,029	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

20	施設名	仙北警察署

1 施設の概要

施設名称	仙北警察署	所在地	仙北市角館町西野川原
施設面積	1,767.17 ㎡	建設年	S55
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	86,168,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・令和13年に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・平成19年度に耐震診断済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による屋上防水の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に屋上防水改修工事を実施
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

仙北警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修等	4,387	
	（　合　計　）	4,387	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,234	1,264	1,267	
運用コスト	3,660	4,555	3,751	
修繕コスト	2,291	1,180	1,515	
その他				
(合計)	7,185	6,999	6,533	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

21	施設名	横手警察署

1 施設の概要

施設名称	横手警察署	所在地	横手市安田
施設面積	3,786.08 ㎡	建設年	H31
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	1,342,482,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成31年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

横手警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	庁舎等改築工事	88,755	H28設計､H29～R2工事
H30		1,771,970	
H31		197,280	
R2		512,444	
	（　合　計　）	2,570,449	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,109	1,142	1,142	
運用コスト	5,890	5,303	4,703	
修繕コスト	1,491	1,085	368	
その他				
(合計)	8,490	7,530	6,213	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

22	施設名	湯沢警察署

1 施設の概要

施設名称	湯沢警察署	所在地	湯沢市千石町
施設面積	3,374.49 ㎡	建設年	H13
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	571,330,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成13年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

湯沢警察署に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	照明設備改修等	2,966	
	（　合　計　）	2,966	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,542	3,011	2,427	
運用コスト	7,137	7,119	6,227	
修繕コスト	391	967	764	
その他				
(合計)	10,070	11,097	9,418	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

23	施設名	北秋田警察署森吉幹部交番

1 施設の概要

施設名称	北秋田警察署森吉幹部交番	所在地	北秋田市米内沢
施設面積	312.24 ㎡	建設年	H28
構造･階数	W造・１階	台帳価格	33,931,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・平成28年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための屋根塗装及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

北秋田警察署森吉幹部交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	33	35	0	
運用コスト	1,198	1,085	903	
修繕コスト	255	1,151	42	
その他				
(合計)	1,486	2,271	945	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

24	施設名	北秋田警察署合川駐在所

1 施設の概要

施設名称	北秋田警察署合川駐在所	所在地	北秋田市新田
施設面積	215.29 ㎡	建設年	H元
構造･階数	W造・１階	台帳価格	1 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・築後33年と法定耐用年数を経過しており、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための屋根塗装及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

北秋田警察署合川駐在所に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	248	244	501	
修繕コスト	96	4	634	
その他				
(合計)	344	248	1,135	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

25	施設名	能代警察署二ツ井交番

1 施設の概要

施設名称	能代警察署二ツ井交番	所在地	能代市二ツ井
施設面積	338.84 ㎡	建設年	R１
構造･階数	W造・１階	台帳価格	75,653,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

能代市庁舎の改築に伴い、能代市二ツ井庁舎の空きスペースに複合化できないか検討するも合意に至らず。

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・令和元年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・耐震診断は調査対象外のため未実施
・経年による外壁・屋上防水の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための屋根塗装及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

能代警察署二ツ井交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	212	218	228	
運用コスト	1,216	1,248	1,056	
修繕コスト	238	51	0	
その他				
(合計)	1,666	1,517	1,284	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

26	施設名	秋田東警察署城東交番

1 施設の概要

施設名称	秋田東警察署城東交番	所在地	秋田市広面
施設面積	310.18 ㎡	建設年	H7
構造･階数	Ｓ造・２階	台帳価格	14,665,002 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・経年による外壁・屋上防水の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・直近に外壁改修・屋上防水改修工事を実施
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田東警察署城東交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	下水道接続工事	1,480	
	（　合　計　）	1,480	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5	105	232	
運用コスト	1,083	1,067	906	
修繕コスト	0	5	266	
その他				
(合計)	1,088	1,177	1,404	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

27	施設名	由利本荘警察署矢島幹部交番

1 施設の概要

施設名称	由利本荘警察署矢島幹部交番	所在地	由利本荘市矢島町七日町
施設面積	788.33 ㎡	建設年	S44
構造･階数	ＲＣ造・２階	台帳価格	24,772,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・耐震診断は調査対象外のため未実施
・経年による外壁・屋上防水の老朽
・経年による給水管の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

由利本荘警察署矢島幹部交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	665	686	686	
運用コスト	1,777	1,716	1,588	
修繕コスト	761	57	64	
その他				
(合計)	3,203	2,459	2,338	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

28	施設名	由利本荘警察署仁賀保駐在所

1 施設の概要

施設名称	由利本荘警察署仁賀保駐在所	所在地	にかほ市中三地
施設面積	210.31 ㎡	建設年	H2
構造･階数	W造・１階	台帳価格	1 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・築後31年と法定耐用年数を経過しており、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための屋根塗装及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

由利本荘警察署仁賀保駐在所に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	計画なし		
	（　合　計　）	0	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	194	193	165	
修繕コスト	53	37	217	
その他				
(合計)	247	230	382	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

29	施設名	大仙警察署協和交番

1 施設の概要

施設名称	大仙警察署協和交番	所在地	大仙市協和境
施設面積	218.61 ㎡	建設年	H元
構造･階数	W造・１階	台帳価格	1,068,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・築後32年と法定耐用年数を経過しており、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための屋根塗装及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大仙警察署協和交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	屋根葺替工事	5,371	設計　620、工事　4,751
	（　合　計　）	5,371	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	14	16	
運用コスト	342	231	299	
修繕コスト	20	7	222	
その他				
(合計)	362	252	537	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

30	施設名	大仙警察署美郷交番

1 施設の概要

施設名称	大仙警察署美郷交番		所在地	美郷町六郷	
施設面積	304.19	㎡	建設年	R3	
構造･階数	W造・１階		台帳価格	75,884,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

美郷町所管の公共施設に転用や複合化できないか、検討を依頼中

3　目標使用年数　　【目標使用年数４０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・令和３年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら施設を維持する。

4　管理上の課題等

・耐震診断は調査対象外のため未実施
・経年による外壁・屋上防水の老朽

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための屋根塗装及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大仙警察署美郷交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	改築工事	196,932	
	（　合　計　）	196,932	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	49	57	
運用コスト	902	866	730	
修繕コスト	56	25	76	
その他				
(合計)	958	940	863	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

31	施設名	横手警察署増田幹部交番

1 施設の概要

施設名称	横手警察署増田幹部交番	所在地	横手市増田町増田
施設面積	1,724.93 ㎡	建設年	S57
構造･階数	ＲＣ造・３階	台帳価格	93,727,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

※　公民連携の検討について

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※　市町村協働の検討について

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・今後10年以内に法定耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4　管理上の課題等

・平成24年度に耐震改修済み
・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁塗装は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

横手警察署増田幹部交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	実施設計（屋根防水改修）	1,351	
	（　合　計　）	1,351	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	781	813	813	
運用コスト	2,520	2,579	2,016	
修繕コスト	483	780	192	
その他				
(合計)	3,784	4,172	3,021	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】　　更新日：R5.3.31

32	施設名	機動捜査センター

1 施設の概要

施設名称	機動捜査センター	所在地	秋田市山王
施設面積	2,709.06　㎡	建設年	S55
構造･階数	ＲＣ造・３階／地下１階	台帳価格	247,201,000　円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。

※　集約・複合化の検討について

―

※　公民連携の検討について

―

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

―

※　市町村協働の検討について

―

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・昭和55年に建築されており予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら継続して使用する。
・目標使用年数以降は、建替をせず、警察本部庁舎等との集約化を検討する。

4　管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし
・屋上防水については、劣化や損傷等が見込まれる時期に更新

5　管理に関する実施方針

・機能維持のための修繕を実施
・躯体保護のための改修周期は屋根防水を３０年、外壁は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

機動捜査センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	煙突アスベスト除去工事	33,019	
	（　合　計　）	33,019	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	
運用コスト	－	－	－	
修繕コスト	－	－	－	
その他	－	－	－	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	教育委員会

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（「高等学校」）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	花輪高等学校	鹿角市	存続	集約化（主）を実施
2	十和田高等学校	鹿角市	存続	集約化（従）を実施
3	小坂高等学校	小坂町	存続	集約化（従）を実施
4	大館鳳鳴高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
5	大館鳳鳴高等学校（定時制）	大館市	存続	大規模修繕を実施
6	大館国際情報学院中学校・高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
7	大館桂桜高等学校	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
8	秋田北鷹高等学校	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
9	能代高等学校	能代市	存続	建替え又は大規模修繕
10	能代高等学校（定時制）	能代市	存続	大規模修繕を実施
11	能代松陽高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	能代科学技術高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
13	旧能代西高等学校　校舎	能代市	廃止	除却処分を実施
14	五城目高等学校	五城目町	存続	大規模修繕を実施
15	男鹿海洋高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
16	男鹿工業高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
17	金足農業高等学校	秋田市	存続	建替えを実施
18	秋田西高等学校	潟上市	存続	大規模修繕を実施
19	秋田高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
20	秋田北高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
21	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	秋田市	存続	大規模修繕を実施
22	秋田中央高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
23	秋田工業高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
24	秋田明徳館高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
25	新屋高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
26	本荘高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
27	由利高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
28	由利工業高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
29	矢島高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施

30	西目高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
31	仁賀保高等学校	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
32	西仙北高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
33	大曲農業高等学校	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
34	大曲農業高等学校太田分校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
35	大曲高等学校	大仙市	存続	建替えを実施
36	大曲工業高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
37	角館高等学校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
38	角館高等学校（定時制）	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
39	六郷高等学校	美郷町	存続	大規模修繕を実施
40	横手高等学校	横手市	存続	建替えを実施
41	横手高等学校(定時制)	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
42	横手城南高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
43	横手清陵学院中学校・高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
44	平成高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
45	雄物川高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
46	増田高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
47	湯沢高等学校	湯沢市	存続	建替えを実施
48	旧湯沢高等学校稲川分校体育館	湯沢市	廃止	除却処分を実施
49	湯沢翔北高等学校	湯沢市	存続	機能維持のための修繕を実施
50	湯沢翔北高等学校雄勝校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
51	羽後高等学校	羽後町	存続	大規模修繕を実施

２　施設管理に関する優先順位の方針

・統合が予定されている学校については、地元市町村など、関係者との調整を進め、準備が整ったところから順次事業に着手する。
・単独改築を予定している学校については、校舎の老朽度合いなどを総合的に勘案しながら年次的に進めていく。
・大規模修繕については、危険度等の優先順位を見定めながら進めていく。
・旧能代西高等学校校舎については、公共施設等適正管理推進事業債（集約化事業）を活用した事業により廃止となることから、統合校の供用開始から５年以内（令和７年まで）に除却処分を実施する。
・旧湯沢高等学校稲川分校体育館については、除却処分を検討する。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	花輪高等学校

1 施設の概要

施設名称	花輪高等学校		所在地	鹿角市花輪字明堂長根	
施設面積	11,354.27	㎡	建設年	平成１５年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	1,469,794,001	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、十和田高校、小坂高校との統合について検討を行う。
令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和６年４月に開校することを決定した。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、十和田高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

新たな統合校の設置場所となったことから既存施設の大規模改修及び増築を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

花輪高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,239	
R2	基本・実施設計	47,893	
R3	基本・実施設計等	240,722	
R4	施設整備	1,152,783	
R5	施設整備	2,384,804	
R6	施設整備	173,593	
	（　合　計　）	4,003,034	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	988	1,261	907	
運用コスト	11,713	10,900	9,652	
修繕コスト	5,300	5,900	0	
その他	0	0	0	
(合計)	18,001	18,061	10,559	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	474	471	465	

【個別票】

更新日：R5.3.31

2	施設名	十和田高等学校

1 施設の概要

施設名称	十和田高等学校		所在地	鹿角市十和田毛馬内字下寄熊
施設面積	9,503.10	㎡	建設年	昭和５４年
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	472,473,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、花輪高校、小坂高校との統合について検討を行う。
令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和６年４月に開校することを決定したことから廃校になる。廃校後の利活用について検討を行う。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、花輪高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和６年３月廃校予定】

新たな統合校の開校後には廃校となる。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築３５年以上経っており、今後、必要最小限の維持修繕を実施する。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

十和田高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
H30	外部改修	2,794	
R2	地上オイルタンク設置	4,466	
	（　合　計　）	12,689	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	602	432	610	
運用コスト	7,117	7,557	6,215	
修繕コスト	744	0	12,150	
その他	0	0	0	
(合計)	8,463	7,989	18,975	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	338	338	328	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	小坂高等学校

1 施設の概要

施設名称	小坂高等学校		所在地	鹿角郡小坂町小坂字館平
施設面積	12,906.91	㎡	建設年	昭和５３年
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	449,512,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（従）を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、花輪高校、十和田高校との統合について検討を行う。
令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和６年４月に開校することを決定したことから廃校になる。廃校後の利活用について検討を行う。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、花輪高校、十和田高校との統合について検討することとしている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【令和６年３月廃校予定】

新たな統合校の開校後には廃校となる。

4　管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築３５年以上経っており、今後、必要最小限の維持修繕を実施する。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

小坂高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根改修等	23,008	
	（　合　計　）	23,008	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,094	1,139	1,156	
運用コスト	8,723	7,927	6,727	
修繕コスト	5,800	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,617	9,066	7,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	170	170	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	大館鳳鳴高等学校

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校		所在地	大館市字金坂後	
施設面積	13,741.70	㎡	建設年	昭和５４年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	1,027,715,008	円

※台帳価格は定時制を含む

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築３５年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	地下タンク改修	5,502	
R3	給水管改修	16,926	
R4	大規模修繕(建築・設備)	137,956	
R5	大規模修繕(建築・設備)	132,306	
	（　合　計　）	307,267	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	625	612	593	
運用コスト	14,391	13,458	10,549	
修繕コスト	1,947	19,000	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,963	33,070	11,142	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	771	774	763	

【個別票】

更新日：R5.3.31

5	施設名	大館鳳鳴高等学校（定時制）

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校（定時制）	所在地	大館市柄沢字狐台
施設面積	6,989.32 ㎡	建設年	平成３年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県北地区の定時制基幹校として平成２８年４月に開校しており、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

平成２８年度に一部改修工事を実施したが、今後も大規模修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

平成２８年度に一部改修工事を実施したが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校（定時制）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	校舎棟誘導灯改修	6,486	
R1	公共下水道接続　実施設計	1,000	
R2	公共下水道接続　工事	25,500	
	（　合　計　）	32,986	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,599	1,659	1,695	
運用コスト	7,969	8,156	6,872	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,568	9,815	8,567	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	422	377	371	

【個別票】

更新日：R5.3.31

6	施設名	大館国際情報学院中学校・高等学校

1 施設の概要

施設名称	大館国際情報学院中学校・高等学校	所在地	大館市松木字大上
施設面積	17,337.44 ㎡	建設年	平成１７年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	2,210,769,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県北地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

大館国際情報学院中学校・高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	メディアホール屋根改修、気中開閉器更新	16,375	
H30	公共下水道接続等	22,285	
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	1,139	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	23,257	
	空調設備改修（設計）	2,772	KHP
	武道場天井落下防止改修（設計）	1,084	
R6	空調設備改修（工事）	436,986	KHP
	武道場天井落下防止改修（工事）	29,240	
	（　合　計　）	533,138	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,703	4,768	3,284	
運用コスト	21,545	21,171	19,483	
修繕コスト	0	881	5,364	
その他	0	0	0	
(合計)	27,248	26,820	28,131	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	870	850	850	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

7	施設名	大館桂桜高等学校

1 施設の概要

施設名称	大館桂桜高等学校		所在地	大館市片山町	
施設面積	27,742.96	㎡	建設年	平成２８年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	2,996,485,003	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年数が新しいことから機能維持のための修繕をしながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5　管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

大館桂桜高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

更新日：R5.3.31

8	施設名	秋田北鷹高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田北鷹高等学校	所在地	北秋田市伊勢町
施設面積	19,208.21 ㎡	建設年	平成２２年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	1,960,408,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田北鷹高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	1,162	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	24,357	
	武道場天井落下防止改修（設計）	1,084	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	26,054	
R7	空調設備改修（設計）	10,440	KHP
	（　合　計　）	63,097	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,317	5,982	6,240	
運用コスト	17,641	18,959	17,116	
修繕コスト	1,320	713	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24,278	25,654	23,356	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	802	810	794	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

9	施設名	能代高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校		所在地	能代市字高塙	
施設面積	11,608.00	㎡	建設年	昭和４９年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	256,768,012	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後１０年程度使用】

築４０年以上を経過し、建物全体の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

4　管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が進行していることから、今後、建替え又は大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

建物の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

能代高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R5-R6 基本・実施設計（改築事業）	348,000	
	（　合　計　）	348,000	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,099	910	942	
運用コスト	12,298	11,651	11,336	
修繕コスト	0	40,536	1,271	
その他	0	0	0	
(合計)	13,397	53,097	13,549	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	760	760	

【個別票】

更新日：R5.3.31

10	施設名	能代高等学校（定時制）

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校（定時制）	所在地	能代市二ツ井町字五千刈
施設面積	7,288.49 ㎡	建設年	平成３年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	556,617,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、能代高校の昼間の部定時制課程として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、能代工業高校定時制課程との再編について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築２５年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

二ツ井高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	野球部室解体	2,690	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	1,087	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	15,684	
	（　合　計　）	19,461	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,359	1,523	1,352	
運用コスト	4,681	4,381	3,216	
修繕コスト	0	0	660	
その他	0	0	0	
(合計)	6,040	5,904	5,228	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	196	175	170	

【個別票】

更新日：R5.3.31

11	施設名	能代松陽高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代松陽高等学校		所在地	能代市緑町	
施設面積	16,491.80	㎡	建設年	平成２５年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	2,438,559,512	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5　管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

能代松陽高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	防球ネット改修（設計）	3,200	
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	1,377	
R5	防球ネット改修（工事）	55,000	
	講堂天井落下防止改修（工事）	19,865	
	（　合　計　）	79,442	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,066	5,060	5,065	
運用コスト	15,229	16,360	16,377	
修繕コスト	0	248	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,295	21,668	21,442	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	786	739	732	

【個別票】

更新日：R5.3.31

12	施設名	能代科学技術高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代科学技術高等学校	所在地	能代市盤若町
施設面積	29,819.09 ㎡	建設年	令和２年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	2,727,886,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果		
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、旧能代工業高校と旧能代西高校との統合を行い、校舎の建て替えを実施した。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、旧能代工業高校と旧能代西高校との統合を実施している。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5　管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

能代科学技術高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（能代地区専門系統合校整備事業　※能代工業高校と能代西高校の統合）		
	H29-H30　基本・実施設計	292,195	
R1	施設整備	2,161,794	
R2	施設整備	2,008,336	
R3	施設整備	647,936	
R4	施設整備	891,321	
R5	施設整備	237,428	
	（　合　計　）	6,239,010	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	662	681	622	
運用コスト	14,292	13,899	11,460	
修繕コスト	1,589	1,530	777	
その他	0	0	0	
(合計)	16,543	16,110	12,859	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	449	448	434	

【個別票】

更新日：R5.3.31

13	施設名	旧能代西高等学校　校舎

1 施設の概要

施設名称	旧能代西高等学校　校舎		所在地	能代市真壁地字上野	
施設面積	12,507.81	㎡	建設年	昭和４５年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	380,122,031	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	除却処分を実施

「基本的な方針の考え方」

・当施設は能代科学技術高校への統合に伴い、令和３年４月に閉校している。
・施設は昭和４０年代に建築され老朽化が激しく、また、旧耐震基準により建設された施設で転用等は難しい。
・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。

3　目標使用年数　　【令和７年解体】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため令和７年に解体を行う。

4　管理上の課題等

・当施設は能代科学技術高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5　管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6　管理に関する実施計画

旧能代西高等学校校舎に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	管理棟、教室棟、体育館等の解体（設計費）	44,539	
R6	管理棟、教室棟、体育館等の解体（工事費）	1,919,500	
	（　合　計　）	1,964,039	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	
運用コスト	－	－	－	
修繕コスト	－	－	－	
その他	－	－	－	
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

14	施設名	五城目高等学校

1 施設の概要

施設名称	五城目高等学校	所在地	南秋田郡五城目町大川西野字田屋下
施設面積	9,670.99 ㎡	建設年	昭和５２年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	296,123,002 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、今後も入学者数が一定程度見込めることや、全県的に見た学校の配置状況等を考慮し存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、４０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

五城目高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	1,772	
R1	屋根・外壁改修	169,600	
R2	屋根・外壁改修	80,300	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	1,369	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	19,753	
	（　合　計　）	272,794	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	489	243	448	
運用コスト	7,729	7,021	5,565	
修繕コスト	0	12,234	1,253	
その他	0	0	0	
(合計)	8,218	19,498	7,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	363	347	328	

【個別票】

更新日：R5.3.31

15	施設名	男鹿海洋高等学校

1 施設の概要

施設名称	男鹿海洋高等学校	所在地	男鹿市船川港南平沢字大畑台
施設面積	12,677.40 ㎡	建設年	昭和５０年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	1,139,411,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、男鹿工業高校との統合を検討しているが、統合しても一定期間は現在の両校の校舎を活用する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、男鹿工業高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築４０年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

男鹿海洋高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
R2	温水ボイラー等改修（設計）	3,043	
R4	温水ボイラー等改修（工事）	39,633	
	教室・管理棟屋根防水及び外壁塗装シーリング（設計）	9,679	
	プール棟・武道場天井落下防止改修（設計）	3,427	
R5	プール棟天井落下防止改修（工事）	45,212	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	26,730	
	（　合　計　）	133,153	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,293	1,133	1,238	
運用コスト	17,929	19,660	15,169	
修繕コスト	33,877	12,640	2,237	
その他	0	0	0	
(合計)	53,099	33,433	18,644	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	367	363	371	

【個別票】

更新日：R5.3.31

16	施設名	男鹿工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	男鹿工業高等学校	所在地	男鹿市船越字内子
施設面積	15,547.32 ㎡	建設年	昭和５６年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	519,887,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、男鹿海洋高校との統合を検討しているが、統合しても一定期間は現在の両校の校舎を活用する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、男鹿海洋高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、３５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

男鹿工業高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	内部改修等	22,730	
R7	空調設備改修（設計）	6,320	KHP
	（　合　計　）	43,627	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	588	1,160	
運用コスト	11,122	9,730	8,275	
修繕コスト	578	1,829	1,404	
その他	0	0	0	
(合計)	12,272	12,147	10,839	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	340	349	

【個別票】

更新日：R5.3.31

17	施設名	金足農業高等学校

1 施設の概要

施設名称	金足農業高等学校		所在地	秋田市金足追分	
施設面積	17,280.97	㎡	建設年	昭和４７年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	612,971,027	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和５年頃を目処に建替】

築４０年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5　管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

金足農業高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	18,590	
H30	セミナーハウスボイラー修繕	5,702	
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	31,809	
R5	施設整備（改築事業）	383,017	
R6	施設整備（改築事業）	518,054	
	（　合　計　）	957,172	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,627	1,571	1,631	
運用コスト	15,607	14,870	14,414	
修繕コスト	0	2,816	2,743	
その他	0	0	0	
(合計)	17,234	19,257	18,788	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	607	608	592	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

18	施設名	秋田西高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田西高等学校		所在地	潟上市天王字追分西	
施設面積	10,975.57	㎡	建設年	昭和５４年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	413,416,002	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田西高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	電気設備改修等	24,448	
R2	校舎・管理棟排気ファン更新	5,892	
R4	空調設備改修（設計）	4,429	KHP
R5	空調設備改修（工事）	50,542	KHP
	（　合　計　）	99,888	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	290	538	567	
運用コスト	9,052	8,822	7,995	
修繕コスト	50,245	31,037	0	
その他	0	0	0	
(合計)	59,587	40,397	8,562	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	651	646	617	

【個別票】

更新日：R5.3.31

19	施設名	秋田高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田高等学校		所在地	秋田市手形字中台	
施設面積	18,488.99	㎡	建設年	昭和６１年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	1,010,606,010	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、３０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修、煙突断熱材改修	105,791	
R2	理科棟消火栓設備改修	4,151	
R2	ボイラー更新(実施設計)	2,057	
R3	ボイラー更新(工事)	24,494	
R4	排水路拡幅及びグラウンド整備（設計）	5,498	
R5	排水路拡幅及びグラウンド整備（工事）	76,824	
	武道場天井落下防止対策（設計）	1,071	
R6	武道場天井落下防止対策（工事）	11,929	
	（　合　計　）	231,815	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	424	1,965	868	
運用コスト	19,220	17,993	17,098	
修繕コスト	5,603	387	20,126	
その他	0	0	0	
(合計)	25,247	20,345	38,092	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	929	897	889	

【個別票】

更新日：R5.3.31

20	施設名	秋田北高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田北高等学校		所在地	秋田市千秋中島町	
施設面積	14,451.75	㎡	建設年	平成１３年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	2,660,942,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、１５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

秋田北高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	2,154	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	31,070	
	（　合　計　）	33,224	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,051	1,329	1,265	
運用コスト	15,912	16,003	14,694	
修繕コスト	378	451	1,050	
その他	0	0	0	
(合計)	17,341	17,783	17,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	782	772	771	

【個別票】

更新日：R5.3.31

21	施設名	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部

1 施設の概要

施設名称	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	所在地	秋田市仁井田緑町
施設面積	18,810.30 ㎡	建設年	平成９年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	2,546,847,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

中等部設置に伴う改修を行ったが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

秋田南高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,112	1,530	969	
運用コスト	17,881	17,059	17,292	
修繕コスト	2,763	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	21,756	18,589	18,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	894	896	894	

【個別票】

更新日：R5.3.31

22	施設名	秋田中央高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田中央高等学校		所在地	秋田市土崎港南	
施設面積	14,405.27	㎡	建設年	平成２６年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	2,265,554,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5　管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

秋田中央高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	野球場防球ネット改修（設計）	4,200	
	（　合　計　）	4,200	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	345	415	2,303	
運用コスト	15,121	12,766	11,454	
修繕コスト	599	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,065	13,181	13,757	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	767	780	785	

【個別票】

更新日：R5.3.31

23	施設名	秋田工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田工業高等学校	所在地	秋田市保戸野金砂町
施設面積	25,110.24 ㎡	建設年	平成２８年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	3,208,504,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5　管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

秋田工業高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,413	4,932	3,261	
運用コスト	21,566	20,508	15,005	
修繕コスト	971	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	25,950	25,440	18,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	763	731	711	

【個別票】

更新日：R5.3.31

24	施設名	秋田明徳館高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田明徳館高等学校	所在地	秋田市中通二丁目
施設面積	13,834.37 ㎡	建設年	平成１７年
構造･階数	ＲＣ造７階	台帳価格	1,592,923,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

秋田明徳館高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	837	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	12,077	
	（　合　計　）	12,914	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,609	26,625	26,683	
運用コスト	27,959	26,827	24,063	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	52,568	53,452	50,746	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,162	929	849	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

25	施設名	新屋高等学校

1 施設の概要

施設名称	新屋高等学校		所在地	秋田市豊岩石田坂字鎌塚	
施設面積	11,046.97	㎡	建設年	昭和５９年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	511,188,002	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

新屋高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修	10,335	
H30	公共下水道接続　実施設計	1,207	
H30	階段昇降機取付	5,000	
R1	受水槽屋根改修	6,625	
R1	公共下水道接続	31,738	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,071	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	18,182	
	（　合　計　）	74,158	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,047	1,015	
運用コスト	10,972	10,072	8,924	
修繕コスト	1,323	850	2,084	
その他	0	0	0	
(合計)	13,274	11,969	12,023	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	649	650	621	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

26	施設名	本荘高等学校

1 施設の概要

施設名称	本荘高等学校		所在地	由利本荘市陳場岱	
施設面積	16,796.19	㎡	建設年	昭和６３年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	1,030,755,007	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

耐震性を有しており、安全性に問題はないが、築２５年以上経っており、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

本荘高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修、受変電機器更新	41,913	
R4	屋根・外壁改修等	102,026	
	自転車小屋解体	7,242	
	法面災害復旧工事	18,073	
R5	給排水設備改修等	125,289	
R6	体育館・武道場屋根・外壁、給排水設備改修等	194,952	
	（　合　計　）	489,495	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,590	1,588	1,626	
運用コスト	12,924	12,907	11,218	
修繕コスト	1,365	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,879	14,495	12,844	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	828	826	818	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

27	施設名	由利高等学校

1 施設の概要

施設名称	由利高等学校	所在地	由利本荘市川口字愛宕山
施設面積	11,538.91 ㎡	建設年	平成１９年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	1,121,851,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

由利高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	体育館屋根改修（設計）	2,225	
R6	体育館屋根改修（工事）	80,000	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	1,400	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	20,198	
	（　合　計　）	103,823	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,871	3,525	2,342	
運用コスト	11,290	11,765	11,696	
修繕コスト	0	2,657	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,161	17,947	14,038	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	612	609	594	

【個別票】

更新日：R5.3.31

28	施設名	由利工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	由利工業高等学校		所在地	由利本荘市石脇字田尻	
施設面積	17,028.79	㎡	建設年	平成１５年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	2,217,208,004	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

4 管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

由利工業高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	2,026	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	29,229	
	（　合　計　）	31,255	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,313	2,536	1,973	
運用コスト	14,603	14,543	13,497	
修繕コスト	987	1,064	536	
その他	0	0	0	
(合計)	17,903	18,143	16,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	423	434	433	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

29	施設名	矢島高等学校

1 施設の概要

施設名称	矢島高等学校		所在地	由利本荘市矢島町七日町字助の渕
施設面積	5,439.76	㎡	建設年	平成２１年
構造･階数	ＲＣ造一部木造２階		台帳価格	691,552,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、地理的な背景を踏まえ、今後も校舎一体型の中高連携校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

当面は機能維持のための修繕を行うが、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

矢島高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備改修（設計）	10,817	KHP
R7	空調設備改修（工事）	156,072	KHP
	（　合　計　）	166,889	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,251	2,288	2,342	
運用コスト	10,040	9,389	8,591	
修繕コスト	0	0	994	
その他	0	0	0	
(合計)	12,291	11,677	11,927	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	244	204	198	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

30	施設名	西目高等学校

1 施設の概要

施設名称	西目高等学校		所在地	由利本荘市西目町沼田字新道下
施設面積	15,778.89	㎡	建設年	昭和４９年
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	655,342,044 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数５６年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4　管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築４０年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

西目高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	屋根・外壁改修等	132,049	
R3	屋根・外壁改修等	150,500	
R4	実習施設等解体	38,051	
	R6-R7　大規模改修	200,000	
	（　合　計　）	520,600	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	860	824	779	
運用コスト	12,091	11,446	9,943	
修繕コスト	1,133	3,880	3,457	
その他	0	0	0	
(合計)	14,084	16,150	14,179	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	525	503	466	

【個別票】

更新日：R5.3.31

31	施設名	仁賀保高等学校

1 施設の概要

施設名称	仁賀保高等学校	所在地	にかほ市象潟町字下浜山
施設面積	8,824.68 ㎡	建設年	昭和５２年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	300,699,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしてる。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築３５年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

仁賀保高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,909	
R4	トイレ内壁改修	7,607	R5に繰越
R7	大規模改修	200,000	
	（　合　計　）	211,516	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,006	1,028	
運用コスト	11,255	12,089	11,855	
修繕コスト	1,806	7,566	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,040	20,661	12,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	455	458	442	

【個別票】

更新日：R5.3.31

32	施設名	西仙北高等学校

1 施設の概要

施設名称	西仙北高等学校	所在地	大仙市刈和野字北ノ沢嶋山
施設面積	7,144.24 ㎡	建設年	平成２年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	194,802,014 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、秋田市の生徒の進学先の一つとなっていることや学校配置に係る地理的バランス等も考慮し存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、２５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

西仙北高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根・外壁改修（格技場）	10,941	
R4	体育館屋根防水一部改修	6,000	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	1,244	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	17,947	
	（　合　計　）	36,132	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,000	873	1,090	
運用コスト	7,141	6,703	6,031	
修繕コスト	432	5,331	0	
その他	0	0	0	
(合計)	8,573	12,907	7,121	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	178	201	271	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

33	施設名	大曲農業高等学校

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校		所在地	大仙市大曲金谷町	
施設面積	22,289.25	㎡	建設年	平成２８年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	3,143,299,167	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5　管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

大曲農業高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	農場施設給排水設備改修	20,091	
	（　合　計　）	20,091	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,918	1,941	1,901	
運用コスト	17,369	16,013	13,727	
修繕コスト	0	259	0	
その他	0	0	0	
(合計)	19,287	18,213	15,628	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	563	556	577	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

34	施設名	大曲農業高等学校太田分校

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校太田分校	所在地	大仙市太田町横沢字窪関南
施設面積	2,339.13 ㎡	建設年	昭和６１年
構造･階数	木造１階	台帳価格	2,895,008 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）では、小規模校として機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後１０年程度使用】

建築・設備等の機能維持のための修繕を実施し、使用する。

4　管理上の課題等

現在のところ、安全性等に特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

大規模修繕は実施しない。

6　管理に関する実施計画

大曲農業高等学校太田分校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	管理棟屋根塗装	4,494	
R4	体育館屋根改修	19,433	
	（　合　計　）	23,927	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	189	194	338	
運用コスト	1,503	1,574	1,535	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,692	1,768	1,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109	95	85	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

35	施設名	大曲高等学校

1 施設の概要

施設名称	大曲高等学校		所在地	大仙市大曲栄町	
施設面積	13,202.37	㎡	建設年	昭和４５年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	347,733,004	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【令和３年頃を目処に建替】

築４５年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4　管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5　管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

大曲高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R1-R2 基本・実施設計（改築事業）	323,137	
R3	施設整備（改築事業）	678,300	
R4	施設整備（改築事業）	1,787,077	
R5	施設整備（改築事業）	1,757,742	
R6	施設整備（改築事業）	1,416,483	
R7	施設整備（改築事業）	643,931	
R8	施設整備（改築事業）	697,477	
	（　合　計　）	7,304,147	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,225	1,322	1,379	
運用コスト	14,050	13,733	11,229	
修繕コスト	13,784	2,868	0	
その他	0	0	0	
(合計)	29,059	17,923	12,608	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	731	711	

【個別票】

更新日：R5.3.31

36	施設名	大曲工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	大曲工業高等学校		所在地	大仙市大曲若葉町	
施設面積	16,497.85	㎡	建設年	昭和４７年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	1,447,862,005	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

校舎棟については耐震補強工事を実施しており、安全性に問題はないが、今後、大規模修繕は必要である。

5　管理に関する実施方針

・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大曲工業高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	野球場防球ネット改修	25,938	
R2	武道場屋根塗装	6,506	
R4	地下オイルタンクライニング	5,911	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,401	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	20,210	
	（　合　計　）	59,966	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	1,132	1,069	
運用コスト	13,952	15,543	12,192	
修繕コスト	0	594	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,894	17,269	13,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	473	473	474	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

37	施設名	角館高等学校

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校		所在地	仙北市角館町細越町
施設面積	11,896.78	㎡	建設年	昭和４８年
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	1,057,964,006 円

※台帳価格は定時制を含む

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

平成２６年度に大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

角館高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	0	1,773	
運用コスト	11,412	400	11,259	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	12,652	400	13,032	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	616	0	777	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

38	施設名	角館高等学校（定時制）

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校（定時制）	所在地	仙北市角館町小館
施設面積	4,980.75　㎡	建設年	昭和４４年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年以上使用】

平成２７年度に大規模改修を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

角館高等学校（定時制）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定無し		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	711	958	186	
運用コスト	8,629	10,819	3,790	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,340	11,777	3,976	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	286	790	42	

【個別票】

更新日：R5.3.31

39	施設名	六郷高等学校

1 施設の概要

施設名称	六郷高等学校	所在地	仙北郡美郷町六郷字馬場
施設面積	9,533.37 ㎡	建設年	昭和５６年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	459,609,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、全県唯一の福祉科を有する学校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築３５年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

六郷高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修	24,568	
H30	地下タンク改修等	12,165	
R2	パラペット修繕（危険箇所）	7,773	
R6	大規模修繕（建築・設備）	200,000	
	（　合　計　）	244,506	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	660	678	814	
運用コスト	7,666	7,578	5,870	
修繕コスト	6,000	6,700	16,265	
その他	0	0	0	
(合計)	14,326	14,956	22,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	332	305	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

40	施設名	横手高等学校

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校		所在地	横手市睦成字鶴谷地	
施設面積	12,504.93	㎡	建設年	昭和４５年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	646,237,011	円

※台帳価格は定時制を含む

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【令和２年頃を目処に建替】

築４５年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4　管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5　管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	21,609	
	H30-R1 基本・実施設計（改築事業）	287,525	
R2	施設整備（改築事業）	1,005,267	
R3	施設整備（改築事業）	1,639,655	
R4	施設整備（改築事業）	1,326,477	
R5	施設整備（改築事業）	1,079,858	
R6	施設整備（改築事業）	1,034,288	
R7	施設整備（改築事業）	169,514	
	（　合　計　）	6,564,193	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	761	704	1,050	
運用コスト	13,300	12,035	9,713	
修繕コスト	2,699	3,484	378	
その他	0	0	0	
(合計)	16,760	16,223	11,141	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	777	770	770	

【個別票】

更新日：R5.3.31

41	施設名	横手高等学校　（定時制）

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校　（定時制）	所在地	横手市前郷二番町
施設面積	3,660.05　㎡	建設年	平成２０年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南の定時制基幹校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、県南の定時制基幹校と位置づけている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備改修（設計）	3,701	KHP
R7	空調設備改修（工事）	53,389	KHP
	（　合　計　）	57,090	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

更新日：R5.3.31

42	施設名	横手城南高等学校

1 施設の概要

施設名称	横手城南高等学校		所在地	横手市根岸町	
施設面積	13,363.21	㎡	建設年	平成１０年	
構造･階数	ＲＣ造４階		台帳価格	1,780,210,004	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、１５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

横手城南高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	茶室・華道部室解体	10,107	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,204	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	17,371	
	（　合　計　）	28,682	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,647	1,476	1,414	
運用コスト	12,582	12,580	10,441	
修繕コスト	423	0	2,524	
その他	0	0	0	
(合計)	14,652	14,056	14,379	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	635	615	595	

【個別票】

更新日：R5.3.31

43	施設名	横手清陵学院中学校・高等学校

1 施設の概要

施設名称	横手清陵学院中学校・高等学校	所在地	横手市大沢字前田
施設面積	24,685.40 ㎡	建設年	平成１６年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	2,849,529,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

横手清陵学院中学校・高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	第１・第２体育館屋根改修	54,363	R2に繰越
R4	空調設備改修（設計）	7,495	KHP
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	1,806	KHP
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	26,056	
	空調設備改修（工事）	136,598	KHP
	（　合　計　）	226,318	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,806	2,780	3,041	
運用コスト	26,537	26,109	22,569	
修繕コスト	6,383	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	35,726	28,889	25,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	841	820	746	

【個別票】

更新日：R5.3.31

44	施設名	平成高等学校

1 施設の概要

施設名称	平成高等学校		所在地	横手市平鹿町上吉田字角掛
施設面積	7,836.99	㎡	建設年	平成６年
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	766,509,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、増田高校、雄物川高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、増田高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、２０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

平成高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根塗装他	5,400	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	1,174	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	16,931	
	（　合　計　）	23,505	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,479	1,297	1,895	
運用コスト	8,731	7,682	6,311	
修繕コスト	649	0	2,466	
その他	0	0	0	
(合計)	10,859	8,979	10,672	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	369	366	350	

【個別票】

更新日：R5.3.31

45	施設名	雄物川高等学校

1 施設の概要

施設名称	雄物川高等学校		所在地	横手市雄物川町今宿字まみ袋
施設面積	7,957.61	㎡	建設年	昭和５８年
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	406,282,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、平成高校、増田高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、平成高校、増田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、３０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

雄物川高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	2,711	
R1	ボイラー更新(実施設計)	808	
R2	ボイラー更新(工事)	18,965	
R4	地下タンク改修	5,434	
	消防設備更新（設計）	1,919	
R5	消防設備更新（工事）	27,412	
	（　合　計　）	57,249	

(参考：維持管理経費等の状況)　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,127	1,055	394	
運用コスト	10,337	10,873	9,195	
修繕コスト	0	0	691	
その他	0	0	0	
(合計)	11,464	11,928	10,280	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	374	358	353	

【個別票】

更新日：R5.3.31

46	施設名	増田高等学校

1 施設の概要

施設名称	増田高等学校	所在地	横手市増田町増田字一本柳
施設面積	14,583.46 ㎡	建設年	昭和４８年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	549,597,025 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、平成高校、雄物川高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、平成高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、４０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

第７次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

増田高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	電気室キュービクル更新	3,781	
R4	実習棟屋根塗装	13,795	
	高圧ケーブル更新	4,903	
R5	地下タンク改修	4,732	
	（　合　計　）	27,211	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,003	913	736	
運用コスト	12,191	13,061	10,522	
修繕コスト	12,532	0	900	
その他	0	0	0	
(合計)	25,726	13,974	12,158	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	509	485	484	

【個別票】

更新日：R5.3.31

47	施設名	湯沢高等学校

1 施設の概要

施設名称	湯沢高等学校	所在地	湯沢市字新町
施設面積	12,195.33 ㎡	建設年	昭和４９年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	579,112,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和５年度を目処に建替】

築４０年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が著しいことから、建替えが必要である。

5　管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6　管理に関する実施計画

湯沢高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	297,160	
R5	施設整備（改築事業）	329,943	
R6	施設整備（改築事業）	319,688	
	（　合　計　）	946,791	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	596	679	614	
運用コスト	14,569	13,758	12,263	
修繕コスト	29,737	3,677	1,318	
その他	0	0	0	
(合計)	44,902	18,114	14,195	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	731	730	697	

【個別票】

更新日：R5.3.31

48	施設名	旧湯沢高等学校稲川分校　体育館

1 施設の概要

施設名称	旧湯沢高等学校稲川分校　体育館	所在地	湯沢市稲庭町字大森
施設面積	720.20 ㎡	建設年	昭和６１年
構造･階数	鉄骨１階	台帳価格	27,204,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果		
基本的な方針	廃止	除却処分を実施

「基本的な方針の考え方」

・当施設は平成２９年度末に閉校している。
・施設は昭和６０年代に建築され老朽化が激しく、転用等は難しい。
・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。

3　目標使用年数　【　　】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため解体を検討する。

4　管理上の課題等

・当施設は湯沢高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5　管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6　管理に関する実施計画

旧湯沢高等学校稲川分校体育館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	
運用コスト	－	－	－	
修繕コスト	－	－	－	
その他	－	－	－	
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	－	－	－	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

【個別票】

更新日：R5.3.31

49	施設名	湯沢翔北高等学校

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校	所在地	湯沢市湯ノ原
施設面積	15,606.85 ㎡	建設年	平成２３年
構造･階数	ＲＣ造６階	台帳価格	1,781,436,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

湯沢翔北高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	第二体育館屋外階段屋根改修	5,921	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	2,211	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	31,901	
	（　合　計　）	40,033	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,365	1,404	1,387	
運用コスト	16,941	16,658	14,305	
修繕コスト	965	259	185	
その他	0	0	0	
(合計)	19,271	18,321	15,877	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	753	752	737	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

50	施設名	湯沢翔北高等学校雄勝校

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校雄勝校	所在地	湯沢市下院内字小白岩
施設面積	6,919.90 ㎡	建設年	昭和５３年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	227,118,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、少子化等による生徒数の減少から、１学年１学級規模の湯沢翔北高校の地域校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、少子化等による生徒数の減少から、１学年１学級規模の湯沢翔北高校の地域校にすることとしている。

※　公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

雄勝高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館床改修	5,227	
R7	大規模改修（設計）	100,000	
	（　合　計　）	105,227	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	919	657	424	
運用コスト	5,824	6,156	5,728	
修繕コスト	1,092	15,100	0	
その他	0	0	0	
(合計)	7,835	21,913	6,152	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	264	239	202	

【個別票】

更新日：R5.3.31

51	施設名	羽後高等学校

1 施設の概要

施設名称	羽後高等学校	所在地	雄勝郡羽後町字大戸
施設面積	7,099.21 ㎡	建設年	昭和６１年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	396,757,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、中山間地域の生徒の通学や地区の教育・文化における役割等を考慮し存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、存続等について具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、３０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

羽後高等学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	ボイラー更新（設計）	1,164	
R3	ボイラー更新(工事)	22,406	
R4	職員公舎解体	4,177	
	武道場天井落下防止改修（設計）	1,279	
R5	武道場天井落下防止改修（工事）	18,454	
R7	地下タンク改修	5,000	
	（　合　計　）	52,480	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	719	730	675	
運用コスト	6,457	5,869	4,844	
修繕コスト	0	0	670	
その他	0	0	0	
(合計)	7,176	6,599	6,189	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

・統合が予定されている学校に	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	303	286	259	

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	教育委員会

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（「特別支援学校」）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	視覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	聴覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	比内支援学校	大館市	存続	建替えを実施
4	比内支援学校たかのす校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
5	比内支援学校かづの校	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
6	能代支援学校	能代市	存続	大規模修繕を実施
7	栗田支援学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	大曲支援学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	大曲支援学校せんぼく校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
10	横手支援学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
11	稲川支援学校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
12	ゆり支援学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
13	天王みどり学園	潟上市	存続	大規模修繕を実施
14	秋田きらり支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	視覚支援学校

1 施設の概要

施設名称	視覚支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	3,167.34 ㎡	建設年	平成２２年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	309,901,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

本県における唯一の視覚支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	
運用コスト	－	－	－	
修繕コスト	－	－	－	
その他	－	－	－	
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	聴覚支援学校

1 施設の概要

施設名称	聴覚支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	3,395.09 ㎡	建設年	平成２２年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	309,938,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

本県における唯一の聴覚支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

聴覚支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	
運用コスト	－	－	－	
修繕コスト	－	－	－	
その他	－	－	－	
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	比内支援学校

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校	所在地	大館市比内町達子字前田野
施設面積	8,926.62 ㎡	建設年	昭和４９年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	1,410,242,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

大館地区の知的障害の特別支援学校として存続していく。建築から４０年以上経過しており、建築当時と環境等が大きく変化しており、老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【平成３０年頃を目処に建替】

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

4　管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築４０年以上経っており、教育活動に支障が生じている。

5　管理に関する実施方針

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

6　管理に関する実施計画

比内支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(比内支援学校整備事業)		
	H28-H29　基本・実施設計	133,658	
H30	施設整備	401,468	
R1	施設整備	1,454,597	
R2	施設整備	381,828	
R3	施設整備	628,265	
R4	施設整備	281,534	
R5	施設整備	85,680	
R6	施設整備	53,382	
	(　合　計　)	3,420,412	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,131	1,374	1,073	
運用コスト	14,323	13,324	11,279	
修繕コスト	5,209	3,609	1,521	
その他	0	0	0	
(合計)	20,663	18,307	13,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	188	213	180	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	比内支援学校たかのす校

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校たかのす校		所在地	北秋田市七日市字家向
施設面積	1,471.60	㎡	建設年	昭和６３年
構造･階数	木造１階		台帳価格	46,749,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

北秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

比内支援学校たかのす校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備改修	3,471	
R4	大規模修繕（建築・設備）	63,439	
R6	空調設備改修（設計）	1,572	
R7	空調設備改修（工事）	22,671	
	（　合　計　）	91,153	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	528	472	481	
運用コスト	3,822	2,916	2,694	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	4,350	3,388	3,175	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	72	85	90	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	比内支援学校かづの校

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校かづの校		所在地	鹿角市花輪字案内	
施設面積	1,542.48	㎡	建設年	昭和６１年	
構造･階数	木造１階		台帳価格	103,770,000	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

鹿角地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

比内支援学校かづの校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備改修（設計）	1,104	
R7	空調設備改修（工事）	15,919	
	（　合　計　）	17,023	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	224	158	158	
運用コスト	2,707	2,755	2,637	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	2,931	2,913	2,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	70	75	90	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

6	施設名	能代支援学校

1 施設の概要

施設名称	能代支援学校	所在地	能代市真壁地字トトメキ沢
施設面積	6,477.95 ㎡	建設年	平成６年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	834,742,007 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

能代地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

能代支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	誘導灯改修、電気設備改修	6,920	
H30	校地内通路舗装	1,500	
H30	空調設備更新	140,764	R1に繰越
R4	火災受信機更新	20,030	R5に繰越
	（　合　計　）	169,214	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,415	1,504	1,525	
運用コスト	10,783	10,161	9,219	
修繕コスト	0	5,600	2,129	
その他	0	0	0	
(合計)	12,198	17,265	12,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	200	182	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

7	施設名	栗田支援学校

1 施設の概要

施設名称	栗田支援学校	所在地	秋田市新屋栗田町
施設面積	13,477.44 ㎡	建設年	平成１２年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	1,344,597,002 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【令和５年度を目処に一部建替、長寿命化工事】

小学部棟は地区４０年以上経過したことから長寿命化と増築工事を実施する。また、高等部職業学科棟を本校舎敷地に新築する。既存校舎等(中・高等部棟、寄宿舎棟、体育館棟、厨房・食堂棟)についても、長寿命化の工事を実施する。

4　管理上の課題等

小学部棟については築４０年以上経っていることや、高等部の教室が不足しているなど施設機能に不具合が生じている。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

栗田支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ガス配管等改修	3,498	
H30	ブロック塀改修	42,723	R1に繰越
H30	空調設備更新	207,662	R1に繰越
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	178,060	
R5	施設整備（改築事業）	462,127	
R6	施設整備（改築事業）	85,800	
R7	施設整備（改築事業）	85,800	
R8	施設整備（改築事業）	71,500	
	（　合　計　）	1,137,170	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,448	1,235	1,165	
運用コスト	19,855	18,191	14,207	
修繕コスト	1,456	4,077	15,141	
その他	0	0	0	
（合計）	22,759	23,503	30,513	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	372	388	408	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

8	施設名	大曲支援学校

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校	所在地	大仙市大曲西根字下成沢
施設面積	7,332.15 ㎡	建設年	平成４年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	704,164,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

大仙地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

大曲支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	189,516	H31に繰越
R5-R6	大規模修繕（建築）	200,000	
	（　合　計　）	389,516	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,162	1,087	1,382	
運用コスト	13,798	11,523	10,834	
修繕コスト	1,742	0	27,458	
その他	0	0	0	
(合計)	16,702	12,610	39,674	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	281	271	272	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

9	施設名	大曲支援学校せんぼく校

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校せんぼく校	所在地	仙北市角館町小館７７番地２
施設面積	1,702.62 ㎡	建設年	平成２８年
構造･階数	W造２階	台帳価格	262,491,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

仙北地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	－	－	－	
運用コスト	－	－	－	
修繕コスト	－	－	－	
その他	－	－	－	
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

【個別票】　　更新日：R5.3.31

10	施設名	横手支援学校

1 施設の概要

施設名称	横手支援学校		所在地	横手市赤坂字仁坂	
施設面積	6,249.63	㎡	建設年	昭和５４年	
構造･階数	ＲＣ造２階		台帳価格	420,129,007	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ｉ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

横手地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

高等学部棟は建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。小学部棟は老朽化が著しいことから建替を行う

4　管理上の課題等

建築後、２０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

横手支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	4,365	
	R6-R7　基本・実施設計（改築事業）	200,000	
	（　合　計　）	204,365	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	806	1,055	839	
運用コスト	6,116	6,026	5,788	
修繕コスト	0	2,439	25,852	
その他	0	0	0	
（合計）	6,922	9,520	32,479	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	169	157	167	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

11	施設名	稲川支援学校

1 施設の概要

施設名称	稲川支援学校	所在地	湯沢市駒形町字八面寺下谷地
施設面積	3,403.94 ㎡	建設年	昭和５６年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	227,272,002 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ｉ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

湯沢地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３５年以上経過しており、老朽化が著しいため建替が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、建替と大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

稲川支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	地下タンク改修	5,350	
R4	高架水槽更新	9,885	
	R7-　基本・実施設計（改築事業）	200,000	
	（　合　計　）	215,235	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,103	873	836	
運用コスト	4,439	4,273	3,458	
修繕コスト	771	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	6,313	5,146	4,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	111	124	123	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

12	施設名	ゆり支援学校

1 施設の概要

施設名称	ゆり支援学校	所在地	由利本荘市水林
施設面積	6,256.50 ㎡	建設年	平成１０年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	1,036,426,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

由利本荘地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、１５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

ゆり支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	180,591	R1に繰越
R4	自動火災報知設備更新	38,830	
	(合 計)	219,421	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,427	1,699	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	139	1,410	626	
その他	0	0	0	
(合計)	12,581	13,836	12,762	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

13	施設名	天王みどり学園

1 施設の概要

施設名称	天王みどり学園	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	5,133.06 ㎡	建設年	平成１５年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	795,365,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

男鹿・南秋地区における知的障害特別支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、１０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

天王みどり学園に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	空調設備改修（設計）	3,937	
R5	空調設備改修（工事）	56,814	
	（　合　計　）	60,751	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,045	1,021	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	704	793	0	
その他	0	0	0	
（合計）	12,764	12,541	12,136	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

14	施設名	秋田きらり支援学校

1 施設の概要

施設名称	秋田きらり支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	11,501.51 ㎡	建設年	平成２２年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	1,313,059,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

本県における唯一の肢体不自由支援学校として存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

秋田きらり支援学校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	外構整備	3,964	
	（　合　計　）	3,964	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	8,083	9,112	8,404	
運用コスト	37,993	37,205	34,314	
修繕コスト	1,200	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	47,276	46,317	42,718	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	462	437	437	

【総括表】

更新日：R5.3.31

部局(庁)名	教育委員会

あきた公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」（「教育機関」）

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	総合教育センター	潟上市	存続	大規模修繕を実施
2	自然体験活動センター	八峰町	存続	大規模修繕を実施
3	青少年交流センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
4	県立美術館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	近代美術館	横手市	存続	大規模修繕を実施
6	博物館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
7	奈良家	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	埋蔵文化財センター	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	農業科学館	大仙市	存続	大規模修繕を実施
10	図書館・公文書館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
11	あきた文学資料館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	生涯学習センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
13	大館少年自然の家	大館市	存続	大規模修繕を実施
14	保呂羽山少年自然の家	横手市	存続	大規模修繕を実施
15	岩城少年自然の家	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施

2　施設管理に関する優先順位の方針

・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

【個別票】　　更新日：R5.3.31

1	施設名	総合教育センター

1 施設の概要

施設名称	総合教育センター	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	14,861.00 ㎡	建設年	平成７年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	2,852,286,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・本県における教職員の研修施設として大きな役割を果たしており、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

総合教育センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修等	68,460	
R2	直流電源装置更新	16,816	
R4	非常放送設備更新	15,850	
R5	消防設備改修	44,082	
	(合 計)	145,208	

(参考：維持管理経費等の状況)　　(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	44,039	44,139	45,283	
運用コスト	21,653	23,612	18,348	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
(合計)	65,692	70,381	78,029	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	100	100	110	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

2	施設名	自然体験活動センター

1 施設の概要

施設名称	自然体験活動センター	所在地	山本郡八峰町八森字御所の台
施設面積	2,660.08 ㎡	建設年	平成１９年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	270,006,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・自然体験活動の機会を提供し、青少年の心身の健全な発達と県民の生涯学習の振興に資する施設として位置づけられている。
・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

八峰町を指定管理者としており、公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

八峰町へ譲渡する可能性について、今後検討していく。

※　市町村協働の検討について

現在も八峰町を指定管理者としており、隣接するはたはた館と一体的な運営をしている。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

自然体験活動センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	空調設備更新（設計）	12,267	
R7	空調設備更新（工事）	176,990	
	（　合　計　）	189,257	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,567	3,796	3,638	
運用コスト	5,465	5,401	4,286	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
（合計）	9,032	11,827	22,322	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	15,196	14,879	14,901	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,353	10,114	9,900	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

3	施設名	青少年交流センター

1 施設の概要

施設名称	青少年交流センター	所在地	秋田市寺内神屋敷
施設面積	8,452.60 ㎡	建設年	平成１１年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	1,789,610,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・青少年に対する研修と青少年の交流・学習機会の提供等を行う施設として位置づけられている。
・建設年が比較的新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

現在、（一財）秋田県青年会館を指定管理者としている。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

青少年交流センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修等	21,756	
R1	駐車場舗装修繕	21,018	
	（　合　計　）	42,774	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	19,563	18,434	18,742	
運用コスト	50,503	49,628	45,295	
修繕コスト	882	1,681	2,758	
その他	0	0	0	
（合計）	70,948	69,743	66,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	66,679	69,281	75,354	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85,663	86,616	83,844	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

4	施設名	県立美術館

1 施設の概要

施設名称	県立美術館	所在地	秋田市中通
施設面積	3,746.66 ㎡	建設年	平成２４年
構造･階数	ＲＣ造３階	台帳価格	1,026,547,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県民の美術に関する教養の向上に資するとともに、平野政吉美術財団が所有する藤田嗣治を中心とした美術作品の展示施設として位置づけられている。
・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

現在、（公財）平野政吉美術財団を指定管理者としている。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4　管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要になる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

県立美術館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	県民ギャラリー等改修	79,839	
R4	空調設備改修（設計）	1,511	
R5	空調設備改修（工事）	39,808	
	（　合　計　）	121,158	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,823	10,899	10,859	
運用コスト	24,220	27,522	23,351	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	30,043	38,421	34,210	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,079	38,986	23,091	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	96,890	144,864	124,135	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

5	施設名	近代美術館

1 施設の概要

施設名称	近代美術館		所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	11,166.50	㎡	建設年	平成５年
構造･階数	ＳＲＣ造７階		台帳価格	3,412,832,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県にゆかりのある作家の優れた美術作品を中心に収集・保管・展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う施設と位置づけられている。
・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

近代美術館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	中央監視設備改修	47,063	
H29	企画展示室等改修	83,128	
R4	貨物用エレベーター更新	65,736	
R7	大規模修繕（建築・設備）	300,000	
	（　合　計　）	495,927	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,445	57,559	57,559	
運用コスト	31,809	32,524	30,404	
修繕コスト	25,454	5,562	287	
その他	0	0	0	
（合計）	113,708	95,645	88,250	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,447	11,665	19,877	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	102,677	92,210	141,776	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

6	施設名	博物館

1 施設の概要

施設名称	博物館		所在地	秋田市金足鳰崎字後山	
施設面積	11,952.81	㎡	建設年	昭和４９年	
構造･階数	ＲＣ造３階		台帳価格	1,086,223,001	円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・郷土の自然と人文に関する認識を深め、県民の学術及び文化の発展に寄与する、県内唯一の総合博物館と位置づけられている。
・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、４０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁タイルの改修周期は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

博物館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	空調設備改修（設計）	2,874	
R5	空調設備改修（工事）	41,459	
	（　合　計　）	44,333	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,279	11,203	11,250	
運用コスト	27,858	28,057	25,736	
修繕コスト	2,789	57,542	46,000	
その他	0	0	0	
（合計）	41,926	96,802	82,986	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	8,589	4,605	7,293	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,393	104,036	107,277	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

7	施設名	奈良家

1 施設の概要

施設名称	奈良家	所在地	秋田市金足鳰崎字後山
施設面積	1,465.27 ㎡	建設年	昭和４４年
構造･階数	木造１階	台帳価格	10 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

国指定重要文化財であり、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年以上使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないが、今後、老朽箇所の大規模修繕等が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

奈良家に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	878	765	705	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	878	765	705	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	－	－	－	

※利用者数は博物館に含める

【個別票】　　更新日：R5.3.31

8	施設名	埋蔵文化財センター

1 施設の概要

施設名称	埋蔵文化財センター		所在地	大仙市払田字牛嶋
施設面積	11,910.12	㎡	建設年	昭和５６年
構造･階数	ＲＣ造２階		台帳価格	413,359,005 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県唯一の埋蔵文化財調査機関として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

・建築後、３５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。
・出土品の収蔵スペースに限りがあり、将来的に収蔵庫の増設を検討する必要がある。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

埋蔵文化財センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水設備改修	5,947	
R2	地下タンク改修	4,456	
R4	大規模盛土造成地変動予測調査（旧男鹿高校）	14,256	R5に繰越
	（　合　計　）	24,659	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,458	21,274	1,025	
運用コスト	2,507	3,540	2,345	
修繕コスト	0	0	902	
その他	0	0	0	
（合計）	3,965	24,814	4,272	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,709	8,691	11,261	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

9	施設名	農業科学館

1 施設の概要

施設名称	農業科学館	所在地	大仙市内小友字中沢
施設面積	5,032.93 ㎡	建設年	平成２年
構造･階数	ＲＣ造１階	台帳価格	608,112,006 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・本県の農林業、農村生活の理解を深め、農林業に関する科学技術について学習の機会を提供する施設として位置づけられている。
・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根鉄板葺きの改修周期は３０年、外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

農業科学館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	非常放送設備修繕	6,056	
R2	屋根改修（設計）	2,865	
R3	屋根改修（工事）	80,163	
R4	灌水ポンプ更新	10,179	
R7	大規模修繕（建築・設備）	150,000	
	（　合　計　）	243,207	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,902	10,076	10,046	
運用コスト	11,826	10,794	7,933	
修繕コスト	22,000	10,598	895	
その他	0	0	0	
（合計）	43,728	31,468	18,874	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	72	85	62	貸館分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	88,372	88,982	96,950	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

10	施設名	図書館・公文書館

1 施設の概要

施設名称	図書館・公文書館	所在地	秋田市山王新町
施設面積	12,445.73 ㎡	建設年	平成５年
構造･階数	ＲＣ造４階	台帳価格	2,661,672,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・本県公立図書館の中心的な役割を担い、また唯一の県立図書館として位置づけられている。
・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、２０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6　管理に関する実施計画

図書館・公文書館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	直流電流設備改修	24,261	
R5	照明設備改修（設計）	3,000	
R6	大規模修繕（建築・設備）	149,349	
R7	大規模修繕（建築・設備）	100,294	
	（　合　計　）	276,904	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	27,755	28,692	27,508	
運用コスト	42,255	47,377	43,425	
修繕コスト	945	5,549	22,637	
その他	0	0	0	
（合計）	70,955	81,618	93,570	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	450,106	438,108	421,547	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

11	施設名	あきた文学資料館

1 施設の概要

施設名称	あきた文学資料館	所在地	秋田市中通
施設面積	874.81 ㎡	建設年	平成６年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	110,379,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・秋田にゆかりのある作家の資料等を収集・保存・公開し、併せて県民の多彩な文学活動の拠点として位置づけられている。
・一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

県立図書館と集約化できる可能性があるか、今後検討する。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【今後２０年程度使用】

機能維持のための修繕を実施しながら使用するが、大規模修繕が必要となった場合、県立図書館を含めた他の県有施設と集約化できる可能性があるか検討する。

4　管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5　管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6　管理に関する実施計画

あきた文学資料館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	（　合　計　）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,078	1,029	996	
運用コスト	1,686	1,746	1,659	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,764	2,775	2,655	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,692	7,201	6,922	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

12	施設名	生涯学習センター

1 施設の概要

施設名称	生涯学習センター	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	6,299.60 ㎡	建設年	昭和５５年
構造･階数	ＲＣ造５階	台帳価格	378,129,000 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅰ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・生涯学習に関する調査研究を行うとともに、県民に学習の機会を提供し、生涯学習の振興を図る施設として位置づけられている。
・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

将来的な建替えの際、近隣の県有施設との集約化について検討する。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用するが、老朽化が進んでいることから、将来的な建替えも視野に入れることとする。

4　管理上の課題等

建築後、３５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水の改修周期は２０年、外壁タイルの改修周期は４０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

生涯学習センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	23,233	
H30	視聴覚室空調設備改修	9,729	
R1	ボイラー更新	25,884	
R2	照明設備改修	24,089	R4までの3カ年計画
R3	照明設備改修	17,180	
R4	照明設備改修	17,335	
R5	外壁診断	8,250	
R7	大規模修繕（建築・設備）	400,000	
	（　合　計　）	525,700	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,411	16,411	16,398	
運用コスト	19,435	18,994	17,160	
修繕コスト	1,827	7,000	49	
その他	0	0	0	
（合計）	37,673	42,405	33,607	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,950	2,902	3,026	使用料（貸館）
〃	1,450	1,465	1,368	ｽﾏｰﾄｶﾚｯｼﾞ受講料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,457	109,327	114,608	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

13	施設名	大館少年自然の家

1 施設の概要

施設名称	大館少年自然の家	所在地	大館市東字岩神沢
施設面積	3,244.61 ㎡	建設年	昭和４９年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	137,476,003 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。
・県北地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、４０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

大館少年自然の家に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	17,994	
H30	屋根改修等	8,016	
R1	トイレ洋式化	7,719	
R5	屋上防水改修	5,661	
	（　合　計　）	39,390	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,391	2,543	2,072	
運用コスト	3,628	3,686	3,228	
修繕コスト	0	0	129	
その他	0	0	0	
(合計)	6,019	6,229	5,429	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	163	141	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	26,483	26,080	25,735	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

14	施設名	保呂羽山少年自然の家

1 施設の概要

施設名称	保呂羽山少年自然の家	所在地	横手市大森町八沢木字大木屋
施設面積	3,332.69 ㎡	建設年	昭和５３年
構造･階数	ＲＣ造２階	台帳価格	157,530,002 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。
・県南地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３５年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

保呂羽山少年自然の家に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	17,728	
H30	外壁改修等	4,016	
R4	屋根・外壁改修	8,624	
	（　合　計　）	30,368	

（参考：維持管理経費等の状況）　　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,588	2,645	2,574	
運用コスト	3,447	3,595	3,172	
修繕コスト	654	86	626	
その他				
(合計)	6,689	6,326	6,372	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	130	118	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	17,321	17,790	17,932	

【個別票】　　更新日：R5.3.31

15	施設名	岩城少年自然の家

1 施設の概要

施設名称	岩城少年自然の家	所在地	由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢
施設面積	4,805.00 ㎡	建設年	昭和５８年
構造･階数	ＲＣ造１階	台帳価格	319,056,001 円

2　管理に関する基本的な方針

自己点検･評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。
・中央地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※　集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※　公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※　民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※　市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3　目標使用年数　　【目標使用年数６０年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4　管理上の課題等

建築後、３０年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5　管理に関する実施方針

・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6　管理に関する実施計画

岩城少年自然の家に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	宿泊棟給排水設備等改修	6,449	
R4	地下タンク改修	5,786	R5に繰越
	非常用発電機・キュービクル内高圧機器更新	22,705	
	空調設備改修（設計）	1,158	
R5	空調設備改修（工事）	14,374	
	（　合　計　）	50,472	

（参考：維持管理経費等の状況）　（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,167	4,341	3,814	
運用コスト	5,305	5,922	5,363	
修繕コスト				
その他				
（合計）	9,472	10,263	9,177	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	515	506	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	23,238	22,840	25,854	

秋田県公共施設等総合管理計画推進本部

（事務局：秋田県出納局財産活用課）
〒０１０－８５７０
秋田市山王四丁目１番１号
ＴＥＬ：０１８－８６０－２７３３
ＦＡＸ：０１８－８６０－３９００